

SQL Server 2017+ 用 Microsoft System Center 管理パック ガイドの付録  
Microsoft SQL Server 2017+ の管理パックのオブジェクトとワークフロー

Microsoft Corporation

公開日: 2017 年 11 月

管理パックに関するフィードバックを Operations Manager チーム ([sqlmpsfeedback@microsoft.com](mailto:sqlmpsfeedback@microsoft.com)) にお送りください。

著作権

このドキュメントは現状有姿で提供され、このドキュメントに記載されている情報や見解 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、将来予告なしに変更されることがあります。お客様は、その使用に関するリスクを負うものとします。

ここで使用される例は架空のものであり、説明のためだけに使用されます。実在するものとは一切関係ありません。

このドキュメントは、Microsoft 製品の無体財産権に関する法的な権利をお客さまに許諾するものではありません。内部的な参照目的に限り、このドキュメントを複製して使用することができます。内部的な参照目的に限り、このドキュメントを変更することができます。

© 2017 Microsoft Corporation.All rights reserved.

Microsoft、Active Directory、Windows、および Windows Server は、Microsoft Corporation およびその関連会社の商標です。

その他すべての商標は各社が所有しています。

# **Microsoft SQL Server 2017+ の管理パックのオブジェクトとワークフロー**

このドキュメントは、バージョン 7.0.0.0 RTM の Microsoft SQL Server 2017+ 用管理パックに基づいて作成されました。

Microsoft SQL Server 2017+ 用管理パックで検出されるオブジェクトの種類を、次のセクションで説明します。すべてのオブジェクトが自動的に検出されるとは限りません。自動的に検出されないオブジェクトを検出するには、上書きを使用します。

**Linux 上の MSSQL: エージェント**

Linux 上の Microsoft SQL Server データベース エンジンの一部として実行される SQL Server エージェント コンポーネント。

**Linux 上の MSSQL: エージェント - 検出**

**Linux 上の MSSQL: データベース エンジンの SQL Server エージェントの検出**

このルールは、Linux 上の SQL Server DB エンジンのインスタンスの SQL Server エージェントを検出します。各 DB エンジン インスタンスが持つ SQL Server エージェント インスタンスは 1 つのみです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: エージェント - ユニット モニター**

**長時間実行ジョブ**

このモニターは、SQL Server の長時間実行エージェント ジョブを確認します。  
SQL Server エージェント サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。検出される適切なオブジェクトは存在しません。このモニターは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 重大しきい値 (分) | 値がこのしきい値を超える場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 120 | | Included continuously executed jobs (継続的に実行したジョブを含める) | 一部の SQL エージェント ジョブは、無期限に (エージェントが停止するまで) 実行する場合があります。通常、そのようなジョブのスケジュールの種類は "SQL Server エージェントの開始時に自動的に開始" です。たとえば、SQL Server レプリケーションはそのようなジョブをよく使います。これらのジョブは誤ったアラートになり、既定ではモニターはこれらを考慮しません。ただし、例外的にそのようなジョブの実行時間が短い場合があります。そのようなジョブを監視するには、ジョブの名前のコンマ区切りリストを定義する必要があります。 |  | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 (分) | 警告しきい値。このしきい値を超えると、モニターが少なくとも警告状態に変わります。 | 60 | |  |
|  |  |  |

**SQL Server エージェント サービス**

このモニターは、この SQL Server インスタンスの SQL エージェント サービスの状態を確認します。  
SQL Server エージェントの Linux サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | サービスのスタートアップの種類が [自動] の場合にのみ警告 | この値は、'true' または 'false' にのみ設定できます。 'false' に設定されていると、設定されているスタートアップの種類に関係なく警告が発生します。 既定値は 'true' です。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: エージェント - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**エージェント ジョブのセキュリティ**

すべてのエージェント ジョブ セキュリティ モニターを SQL Server エージェントにロールアップします。

**エージェント ジョブの構成**

すべてのエージェント ジョブ構成モニターを SQL Server エージェントにロールアップします。

**エージェント ジョブの可用性**

すべてのエージェント ジョブ可用性モニターを SQL Server エージェントにロールアップします。

**エージェント ジョブのパフォーマンス**

すべてのエージェント ジョブ パフォーマンス モニターを SQL Server エージェントにロールアップします。

**Linux 上の MSSQL: エージェント - ルール (アラート)**

**Linux 上の MSSQL: 復旧不可能なローカル イベント ログのエラーにより、警告エンジンが停止しました**

SQL Server エージェントがローカル イベント ログを開くことができませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server エージェントが SQL Server に接続できません**

SQL Server エージェント サービスが、SQL Server のインスタンスに接続できませんでした。SQL Server エージェント サービス アカウントが SQL Server の有効なログインを持っていない場合に、このエラーが発生することがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server エージェントは自動終了処理を開始しています**

SQL Server エージェントが SQL Server エージェント サービスをシャットダウンしました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: エージェントに異常があります。この数分間応答がありません**

この動作は、SQL Server Enterprise Manager がレプリケーション エージェントにポーリングしたときに、レプリケーション エージェントがビジー状態で応答できないために発生します。これにより、SQL Server Enterprise Manager はレプリケーション エージェントの状態を検出できず、レプリケーション エージェントが機能しているかどうかを報告できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL ジョブは、正常に完了できませんでした**

SQL Server エージェント ジョブが失敗しました。SQL Server エージェントでは、特定の時刻または間隔で実行されるようにスケジュールされた SQL Server タスクを実行したり、対処用のアクション (ポケベルまたは電子メールでだれかに警告するなど) またはタスクが管理者によって定義された特定の状況が検出されます。また、SQL Server エージェントは、管理者によって定義されたレプリケーション タスクの実行にも使用されます。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ジョブのステップにより、サブシステムで例外が発生しました**

特定のジョブ ステップにより、SQL Server エージェントが Linux アプリケーション ログにエラーを書き込みました。ログに特定のジョブおよびジョブ ステップが示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server エージェントを開始できませんでした**

プロセスまたはユーザーが SQL Server エージェント サービスを開始しようとしましたが、開始されませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: サブシステムを読み込めなかったため、ジョブ ステップを実行できません**

SQL Server エージェント サブシステムが読み込みに失敗したため、SQL Server ジョブを実行できませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ローカル イベント ログを開き直すことができません**

SQL Server エージェントがローカル イベント ログを開くことができませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: エージェント ジョブ**

すべての Linux 上の Microsoft SQL Server エージェント ジョブ。

**Linux 上の MSSQL: エージェント ジョブ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: SQL Server エージェント ジョブの検出**

このルールは、すべての Linux 上の SQL Server エージェント ジョブを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: エージェント ジョブ - ユニット モニター**

**ジョブ期間**

エージェント ジョブ期間を監視します。  
SQL Server エージェントの Linux サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。検出される適切なオブジェクトは存在しません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 重大しきい値 (分) | 値がこのしきい値を超える場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 120 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 (分) | 警告しきい値。このしきい値を超えると、モニターが少なくとも警告状態に変わります。 | 60 | |  |
|  |  |  |

**最終実行状態**

Linux 上の SQL エージェント ジョブの最終実行状態モニター。SQL エージェント ジョブの最終実行状態を監視します。  
SQL Server エージェントの Linux サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。検出される適切なオブジェクトは存在しません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: すべての SQL Server ファイル グループ グループ**

Linux 上のすべての SQL Server ファイル グループ グループには、データベース ファイル グループ、メモリ最適化データ ファイル グループ、Linux 上の FILESTREAM ファイル グループなど、すべての SQL Server ファイル グループが含まれます。

**Linux 上の MSSQL: すべての SQL Server ファイル グループ グループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: すべての SQL Server ファイル グループ グループの検出**

Linux 上のすべての SQL Server ファイル グループ グループの検出。

**Linux 上の MSSQL: すべての SQL Server オブジェクト グループ**

Linux 上の SQL Server のすべての SQL Server オブジェクト グループには、アラートを生成できる SQL Server オブジェクトが含まれます。

**Linux 上の MSSQL: すべての SQL Server オブジェクト グループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: すべての SQL Server オブジェクト グループの検出**

Linux 上の MSSQL のすべての SQL Server オブジェクト グループの検出。

**Linux 上の MSSQL: Always On シード**

このオブジェクトは、Linux 上の特定の Microsoft SQL Server のインストールで Always On コンポーネントが有効になっていることを示します。

**Linux 上の MSSQL: Always On シード - 検出**

**Linux 上の MSSQL: Always On シードの検出**

この検出を使用する目的は、どのインスタンスで Always On を有効にするかを定義することです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ重大ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性グループをファセットとして持ち、エラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ重大ポリシー - 検出**

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On 可用性グループに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ重大ポリシー - ユニット モニター**

**可用性グループ ヘルス ポリシー**

"エラー" 重大状態を持つ 2 状態モニター。可用性グループをファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス**

エージェントの正常性を可用性グループ レベルにロールアップするために使用する、非表示オブジェクト。

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス - 検出**

**Linux 上の MSSQL: 汎用 Always On 検出**

この検出を使用する目的は、どのインスタンスで Always On を有効にするかを定義することです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス - ユニット モニター**

**可用性グループ オンライン モニター**

可用性グループ オンライン

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性グループ自動フェールオーバー モニター**

可用性グループ自動フェールオーバー

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**同期レプリカ データ同期モニター**

同期レプリカ データ同期

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ接続モニター**

可用性レプリカ接続

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ データ同期モニター**

可用性レプリカ データ同期

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ ロール モニター**

可用性レプリカ ロール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス - 集計モニター**

**可用性グループ拡張ヘルス状態**

可用性グループ拡張ヘルス集計状態モニター。

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**可用性グループ重大ポリシー (ロールアップ)**

このモニターは、カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性グループをファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つものすべてに対するロールアップ モニターです。

**可用性グループ警告ポリシー (ロールアップ)**

このモニターは、カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性グループをファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つものすべてに対するロールアップ モニターです。

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ警告ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性グループをファセットとして持ち、警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ警告ポリシー - 検出**

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On 可用性グループに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ警告ポリシー - ユニット モニター**

**可用性グループ ヘルス ポリシー**

"警告" 重大状態を持つ 2 状態モニター。可用性グループをファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ**

このオブジェクトは、可用性レプリカ SMO オブジェクトを表しており、識別と監視に必要なすべてのプロパティを含みます。

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: 汎用 Always On 検出**

この検出を使用する目的は、どのインスタンスで Always On を有効にするかを定義することです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ - ユニット モニター**

**セキュリティ保護可能なリソースの構成の状態**

このモニターは、Linux での Always On セキュリティ保護可能なリソースへのアクセス構成の状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカの参加状態**

このモニターは、可用性レプリカの結合状態を調べます。モニターが異常となるのは、可用性レプリカが可用性グループに追加されているが、適切に結合されていない場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ データ同期**

このモニターは、可用性レプリカ内のすべてのデータベース レプリカのデータ同期状態をロールアップします。モニターが異常となるのは、期待されるデータ同期状態ではないデータベース レプリカが 1 つ以上ある場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ ロール**

このモニターは、可用性レプリカのロールの状態を調べます。モニターが異常となるのは、可用性レプリカのロールがプライマリでもセカンダリでもない場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ接続**

このモニターは、可用性レプリカ間の接続状態を調べます。モニターが異常となるのは、可用性レプリカの接続状態が DISCONNECTED のときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベース レプリカの構成**

すべてのデータベース レプリカ構成モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ重大ポリシーの可用性**

すべての可用性レプリカ重大ポリシー可用性モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ警告ポリシーの構成**

すべての可用性レプリカ警告ポリシー構成モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ重大ポリシーのセキュリティ**

すべての可用性レプリカ重大ポリシー セキュリティ モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ警告ポリシーのパフォーマンス**

すべての可用性レプリカ警告ポリシー パフォーマンス モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ重大ポリシーの構成**

すべての可用性レプリカ重大ポリシー構成モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカのパフォーマンス**

すべてのデータベース レプリカ パフォーマンス モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカのセキュリティ**

すべてのデータベース レプリカ セキュリティ モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ警告ポリシーの可用性**

すべての可用性レプリカ警告ポリシー可用性モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ重大ポリシーのパフォーマンス**

すべての可用性レプリカ重大ポリシー パフォーマンス モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカの可用性**

すべてのデータベース レプリカ可用性モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ警告ポリシーのセキュリティ**

すべての可用性レプリカ警告ポリシー セキュリティ モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ - ルール (アラート)**

**Linux 上の MSSQL: 可用性グループ失敗**

このエラーは、可用性レプリカを可用性グループに参加させる試みが失敗すると発生します。  
注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL Always On: 可用性レプリカ ロールが変更されました**

このエラーは、可用性レプリカのロールが変更されたときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: フロー制御/秒**

このレプリカに対して有効化されたフロー制御の 1 秒あたりの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 再送信メッセージ/秒**

レプリカに送信されたメッセージに対して受け取る受信確認の 1 秒あたりの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: レプリカからの受信/秒**

このレプリカから受信したメッセージの数の可用性グループ合計。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: レプリカへの送信/秒**

このレプリカにネットワーク経由で送信するためにキューに格納されたメッセージの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: トランスポートへの送信/秒**

ネットワークでこのレプリカに送信されるメッセージ数。この数には、このレプリカから送信されるすべてのメッセージ (コントロール メッセージを含む) が含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: フロー制御時間 (ミリ秒/秒)**

過去 1 秒間のうち、このレプリカに対してフロー制御が有効になっていた時間の長さ (ミリ秒)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: レプリカからの受信バイト/秒**

ネットワーク経由でこのレプリカから受信されるバイト数の可用性グループ合計。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: レプリカへの送信バイト数/秒**

ネットワーク経由でこのレプリカに送信するためにキューに格納されるデータベース メッセージのバイト数。このバイト数には、可用性グループのすべてのデータベースに対するメッセージが含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: トランスポートへの送信バイト数/秒**

レプリカにネットワーク経由で送信されるバイト数の合計。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ重大ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性レプリカをファセットとして持ち、エラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ重大ポリシー - 検出**

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On 可用性レプリカに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ重大ポリシー - ユニット モニター**

**可用性レプリカ ヘルス ポリシー**

"エラー" 重大状態を持つ 2 状態モニター。可用性レプリカをファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ警告ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性レプリカをファセットとして持ち、警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ警告ポリシー - 検出**

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On 可用性レプリカに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 可用性レプリカ警告ポリシー - ユニット モニター**

**可用性レプリカ ヘルス ポリシー**

"警告" 重大状態を持つ 2 状態モニター。可用性レプリカをファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: カスタム ユーザー ポリシー**

Linux 上の Microsoft SQL Server カスタム ユーザー ポリシー オブジェクト。

**Linux 上の MSSQL: カスタム ユーザー ポリシー - 検出**

**Linux 上の MSSQL: データベース カスタム ユーザー ポリシーの検出**

このルールは、Linux 上の SQL Server データベースのカスタム ユーザー ポリシーを検出します。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース**

Linux 上の Microsoft SQL Server データベース。

**Linux 上の MSSQL: データベース - 検出**

**Linux 上の MSSQL: データベース エンジンの SQL Server データベースの検出**

このルールは、Linux 上の SQL Server DB エンジンの特定のインスタンスに対して実行されているすべてのデータベースを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース - ユニット モニター**

**自動圧縮構成**

データベースの自動圧縮設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**統計の非同期的自動更新構成**

データベースの統計の非同期的自動更新の設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**DB ディスク書き込み遅延**

データベース ファイルをホストするすべての論理ディスクからのディスク書き込み遅延を監視します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を超える場合、モニターは状態を重大に変更します。 | 25 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**復旧モデルの構成**

データベースの復旧モデル設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | FULL | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**DB ディスク読み取り遅延**

データベース ファイルをホストするすべての論理ディスクからのディスク読み取り遅延を監視します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を超える場合、モニターは状態を重大に変更します。 | 40 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**DB 組み合わせ構成**

データベースの複数データベースの組み合わせ所有権有効設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**統計の自動作成構成**

データベースに関する統計の自動作成設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | ON | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**信頼可能構成**

データベースの信頼可能に関する設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**統計の自動更新構成**

データベースに関する統計の自動更新設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | ON | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ページ確認構成**

データベースのページ確認設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | CHECKSUM | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースの状態**

このモニターは、Microsoft SQL Server から報告されたデータベースの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ログ配布元**

このモニターは、ログ配布構成の一部として定義されているしきい値内でログ配布元がログをバックアップしていない状況を検出します。  
SQL Server Express のいずれのエディションでもログ配布がサポートされないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベース バックアップ状態**

このモニターは、Microsoft SQL Server から報告されたデータベース バックアップの状態を確認します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | バックアップ期間 (日) | ターゲット バックアップ頻度 (日)。回復ポイントの目標 (RPO) に従って設定する必要があります。 | 7 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 86400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ログ配布先**

このモニターは、ログ配布構成の一部として定義されているしきい値内で、ログ配布先がログを復元していない状況を検出します。  
SQL Server Express のいずれのエディションでもログ配布がサポートされないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**自動終了構成**

Linux 上のデータベースの自動終了設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース - 集計モニター**

**DB 空き領域**

データベースの総空き領域の状態を監視します。

**復旧構成**

データベースの集計復旧構成の状態を監視します。

**自動構成**

このモニターは、自動構成モニターの正常性を集計します。

**外部アクセス構成**

データベースの集計外部アクセス構成の状態を監視します。

**Linux 上の MSSQL: データベース - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**DB ログ ファイルのセキュリティ**

すべての DB ログ ファイル セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ログ ファイルのパフォーマンス**

すべての DB ログ ファイル パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**DB メモリ最適化データ ファイル グループのパフォーマンス**

すべての DB メモリ最適化データ ファイル グループ パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース警告ポリシーのパフォーマンス**

すべてのデータベース警告ポリシー パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ファイル グループのセキュリティ**

すべての DB ファイル グループ セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ログ ファイルの構成**

すべての DB ログ ファイル構成モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース重大ポリシーのセキュリティ**

すべてのデータベース重大ポリシー セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース警告ポリシーの構成**

すべてのデータベース警告ポリシー構成モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ファイル グループの構成**

すべての DB ファイル グループ構成モニターをデータベースにロールアップします。

**リソース プールのメモリ消費量 (ロールアップ)**

このモニターは、リソース プールによって使用されるメモリ量がしきい値の設定を上回る場合、重大な状態を報告し、アラートを生成します。しきい値は、指定されたリソース プールのメモリ最適化データ テーブルで使用可能なメモリの割合で表されます。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**DB メモリ最適化データ ファイル グループのセキュリティ**

すべての DB メモリ最適化データ ファイル グループ セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース重大ポリシーのパフォーマンス**

すべてのデータベース重大ポリシー パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ファイル グループのパフォーマンス**

すべての DB ファイル グループ パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ファイル グループの可用性**

すべての DB ファイル グループ可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース警告ポリシーの可用性**

すべてのデータベース警告ポリシー可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**DB メモリ最適化データ ファイル グループの可用性**

すべての DB メモリ最適化データ ファイル グループ可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース重大ポリシーの可用性**

すべてのデータベース重大ポリシー可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース警告ポリシーのセキュリティ**

すべてのデータベース警告ポリシー セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ログ ファイルの可用性**

すべての DB ログ ファイル可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース重大ポリシーの構成**

すべてのデータベース重大ポリシー構成モニターをデータベースにロールアップします。

**DB メモリ最適化データ ファイル グループの構成**

すべての DB メモリ最適化データ ファイル グループ構成モニターをデータベースにロールアップします。

**Linux 上の MSSQL: データベース - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: DB の 1 秒あたりのトランザクション数**

Linux 上の SQL DB の 1 秒あたりのトランザクション数のパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB のアクティブな接続数**

Linux 上の SQL DB のアクティブな接続のパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB のアクティブな要求数**

Linux 上の SQL DB のアクティブな要求のパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB のディスク書き込み遅延 (ミリ秒)**

データベース ファイルをホストするすべての論理ディスクから最大ディスク書き込み遅延を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB のアクティブなトランザクション数**

Linux 上の MSSQL DB のアクティブなトランザクションのパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB のアクティブなセッション数**

Linux 上の SQL DB のアクティブなセッションのパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB のディスク読み取り遅延 (ミリ秒)**

データベース ファイルをホストするすべての論理ディスクから最大ディスク読み取り遅延を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース - タスク**

**ディスクのチェック (DBCC)**

指定したデータベース用のディスク領域の割り当て構造について一貫性をチェックします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースをオフラインに設定します**

データベースをオフラインに設定します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**カタログのチェック (DBCC)**

指定されたデータベース内でのカタログの一貫性をチェックします。データベースはオンラインである必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースを緊急状態に設定します**

データベースを緊急状態に設定します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースのチェック (DBCC)**

指定されたデータベースのすべてのオブジェクトのアロケーション、構造、および論理整合性をチェックします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースをオンラインに設定します**

データベースをオンラインに設定します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース - コンソール タスク**

**SQL Profiler**

**SQL Management Studio**

**Linux 上の MSSQL: データベース重大ポリシー**

Linux 上の Microsoft SQL Server カスタム ユーザー ポリシーのうち、データベースをファセットとして持ち、エラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Linux 上の MSSQL: データベース重大ポリシー - ユニット モニター**

**データベース ヘルス ポリシー**

"エラー" 重大状態を持つ 2 状態モニター。データベースをファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ**

これはデータベース レプリカの状態 SMO オブジェクトの表現です。

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカの検出**

データベース レプリカ Always On オブジェクトの検出。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ - ユニット モニター**

**可用性データベースの参加状態**

このモニターは、データベース レプリカの結合状態を調べます。モニターが異常となるのは、データベース レプリカが結合されていない場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性データベースの中断状態**

このモニターは、データベース レプリカのデータ移動の状態を調べます。モニターが異常となるのは、データ移動が中断されている場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性データベース データ同期**

このモニターは、データベース レプリカのデータ同期状態を調べます。モニターが異常となるのは、データ同期状態が NOT SYNCHRONIZING であるか、状態が SYNCHRONIZED 以外である (同期コミット データベース レプリカの場合) です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベース レプリカ重大ポリシーの可用性**

すべてのデータベース レプリカ重大ポリシー可用性モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ警告ポリシーの構成**

すべてのデータベース レプリカ警告ポリシー構成モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ重大ポリシーのセキュリティ**

すべてのデータベース レプリカ重大ポリシー セキュリティ モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ警告ポリシーのパフォーマンス**

すべてのデータベース レプリカ警告ポリシー パフォーマンス モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ警告ポリシーのセキュリティ**

すべてのデータベース レプリカ警告ポリシー セキュリティ モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ重大ポリシーのパフォーマンス**

すべてのデータベース レプリカ重大ポリシー パフォーマンス モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ警告ポリシーの可用性**

すべてのデータベース レプリカ警告ポリシー可用性モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ重大ポリシーの構成**

すべてのデータベース レプリカ重大ポリシー構成モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ - ルール (アラート)**

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ ロールが変更されました**

このエラーは、データベース レプリカのロールが変更されたときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: 残りの再実行バイト数**

元に戻すフェーズを完了するために再適用が必要なログのバイト数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ブロックされた再実行/秒**

このデータベースがオンラインになった後で、このデータベースで REDO スレッドがブロックされた回数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 復旧キュー**

まだ再実行されていないセカンダリ レプリカのログ ファイル内のログ レコードの量。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログ送信キュー**

このレプリカのログ送信キューのサイズ。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 取り消しが必要な合計ログ**

元に戻す必要のあるログの合計 KB 数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログ適用の準備が完了したキュー**

データベース レプリカへの適用を保留中でその準備が完了しているログ ブロックの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 受信ログ バイト数/秒**

このレプリカによって受信されたログのバイト数。これは、セカンダリ レプリカでのみ有効です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 取り消し対象ログ残り**

取り消しが必要なログの量 (KB)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 受信ファイル バイト数/秒**

セカンダリ データベースのセカンダリ レプリカが最近 1 秒間に受信した FILESTREAM データの量。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 再適用バイト数/秒**

セカンダリ レプリカ上でログ レコードが再適用される速度。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ミラー化書き込みトランザクション/秒**

同期コミットを通して処理されたトランザクションの数。トランザクション遅延をミラー化トランザクションの数で割ると、トランザクションあたりの遅延が得られます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: トランザクション遅延**

トランザクションがセカンダリの受信確認を待った時間の全トランザクション合計。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログの適用を待機しているキュー**

データベース レプリカへの適用を保留中のログ ブロックの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ重大ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、データベース レプリカ状態をファセットとして持ち、エラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ重大ポリシー - 検出**

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On データベース レプリカに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ重大ポリシー - ユニット モニター**

**データベース レプリカ ヘルス ポリシー**

"エラー" 重大状態を持つ 2 状態モニター。データベース レプリカ状態をファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ警告ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、データベース レプリカ状態をファセットとして持ち、警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ警告ポリシー - 検出**

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On データベース レプリカに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース レプリカ警告ポリシー - ユニット モニター**

**データベース レプリカ ヘルス ポリシー**

"警告" 重大状態を持つ 2 状態モニター。データベース レプリカ状態をファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース警告ポリシー**

Linux 上の Microsoft SQL Server カスタム ユーザー ポリシーのうち、データベースをファセットとして持ち、警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Linux 上の MSSQL: データベース警告ポリシー - ユニット モニター**

**データベース ヘルス ポリシー**

"警告" 重大状態を持つ 2 状態モニター。データベースをファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン**

Linux での Microsoft SQL Server データベース エンジンのインストール。データベース エンジンはデータベースと他の SQL Server コンポーネントをホストします。

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン - 検出**

**Linux 上の MSSQL: SQL Server データベース エンジンの検出**

このルールは、Linux 上の SQL Server DB エンジンを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン - ユニット モニター**

**セキュリティ保護可能なリソースの構成の状態**

このモニターは、Linux での SQL Server セキュリティ保護可能なリソースへのアクセス構成の状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**ブロック元のセッション**

Linux 上の SQL インスタンスでブロックされているセッションを監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | ブロックされているセッションの数 | ブロックされたセッションの最大許容数。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 待機時間 (分) | ブロックされた SPID の分析用として判断されるまでの最小処理実行期間。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**SQL フルテキスト フィルター デーモン ランチャー サービス**

このモニターは、SQL フルテキスト フィルター デーモン ランチャー サービスの状態を確認します。SQL フルテキスト検索機能は SQL Server Express with Advanced Services 以外の SQL Server Express エディションでは使用できないことに注意してください。このモニターは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | サービスのスタートアップの種類が [自動] の場合にのみ警告 | この値は、'true' または 'false' にのみ設定できます。 'false' に設定されていると、設定されているスタートアップの種類に関係なく警告が発生します。 既定値は 'true' です。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**平均待機時間**

DB の平均待機時間の監視

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 250 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**マネージ バックアップ ユーザー操作ヘルス ポリシー**

マネージ バックアップ ユーザー操作ヘルス ポリシーは、バックアップの破損などの警告を検証します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Service Pack 準拠**

データベース エンジンの Service Pack レベルを準拠設定に従って監視します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | SQL Server の最小 Service Pack レベル | 企業ポリシーに基づく最小 Service Pack レベル。既定では、0 (整数) にされます。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**流用されたサーバー メモリ**

DB エンジンの流用されたサーバー メモリ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 流用されたサーバー メモリと SQL Server の最大メモリの比率がこのしきい値を超える場合、警告が生成されます。 | 70 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**スレッド数**

DB エンジンのスレッド数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 最小空きスレッド数しきい値 | ワークフローは、スレッドの最大数と各 DB エンジン プロセスのアクティブなスレッド数を判定します。フリー スレッドの数がこのパラメーター以下の場合に、アラートが生成されます。 | 10 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**マネージ バックアップ システム ヘルス ポリシー**

マネージ バックアップ システム ヘルス ポリシーは、SQL 資格情報が欠落している、または無効であるといった重大なエラーや接続エラーを検証し、システムの正常性を報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Buffer Cache Hit Ratio**

DB エンジンのバッファー キャッシュ ヒット率

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 0 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**DB エンジンのヘルス状態**

このモニターは、SQL Server DB エンジンのヘルス状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ページの予測保持期間**

DB エンジンのページの予測保持期間 (秒)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 300 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**SQL 再コンパイル**

DB エンジンの SQL 再コンパイル。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | SQL 再コンパイルと SQL コンパイルの比率がこのしきい値を超える場合、警告が生成されます。 | 25 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベースのセキュリティ**

すべてのデータベース セキュリティ モニターを DB エンジンにロールアップします。

**データベースの構成**

すべてのデータベース構成モニターを DB エンジンにロールアップします。

**データベースのパフォーマンス**

すべてのデータベース パフォーマンス モニターを DB エンジンにロールアップします。

**データベースの可用性**

すべてのデータベース可用性モニターを DB エンジンにロールアップします。

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン - ルール (アラート)**

**Linux 上の MSSQL: キャッシュ内のページのチェックサム エラー**

データベース ページがキャッシュ内に存在するときに予期しない変更が加えられたことが分かりました (ページのチェックサムによって確認)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker のミラーリング ルートを処理中にエラーが発生しました**

このルールは、SQL Server Service Broker のミラーリング ルートを処理中にエラーが発生した場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードの有効期限が切れました**

ユーザーが有効期限切れのパスワードで SQL Server にログインしようとしました。Linux セキュリティ ログのイベント ID 18487 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: RESTORE はデータベースを起動できませんでした**

データベースの RESTORE 中に内部構造を作成できませんでした。これは通常、別のエラーの副作用です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: アドレスが無効です**

アドレス ADDRESS の構造が 4 バイトで整列していません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Ctrl + C または Ctrl + Break シグナルにより、SQL Server がシャットダウンされました**

コマンド プロンプトから sqlservr.exe を使用して SQL Server インスタンスが起動され、今、そのプロンプトから sqlservr.exe アプリケーションを停止するための Ctrl + C または Ctrl + Break コマンドが発行されました。シャットダウン中にチェックポイントは実行されませんでした。このメッセージは、SQL Server エラー ログとアプリケーション イベント ログに書き込まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: OLE DB プロバイダーを使用してステートメント オブジェクトを作成できませんでした**

このルールは、リンク サーバーに接続された OLE DB プロバイダーで SQL Server がステートメント オブジェクトを作成できなかった場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: TEXT、NTEXT、または IMAGE ノードは、無効な型を持っています**

テキスト ノードのテキスト ページ型が間違っています。このノードの親 (所有者) が見つかる場合は、8929 メッセージを伴い、所有者に関する詳細情報を提供します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ファイル グループ ID が、データベースの sys.Filegroups に見つかりませんでした**

テーブルのメタデータには、これまでテーブルで使用された最大の列 ID よりも大きい列 ID が含まれています。メタデータが壊れているとチェックを続行できないため、テーブルがシステム テーブルの場合、これは重大なエラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: オブジェクトの CHECKTABLE 処理でページを 2 回検出しました。内部エラーまたはアロケーション エラーの可能性があります**

スキャンの実行中にページ P\_ID が 2 回検出されました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XTP コンパイラのエラー**

このルールは、イベント 41313 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースの論理ページは既にハッシュされています**

このエラーは、SQL Server がデータベース ID%d の論理ページ %S\_PGID のハッシュを実行しようとし、そのページが SQL Server ハッシュ テーブルに既にある場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: スロット、行が空き領域まで拡張されています**

スロット S\_ID の最後が、保存された空き領域オフセット ADDRESS を越えています。TEST は 'max <= m\_freeData' です。'm\_freeData' は保存された空き領域のオフセットで、'max' はスロット S\_ID の最後です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 内部クエリ プロセッサ エラー: クエリ プロセッサ実行中に予期しないエラーが発生しました**

これは、内部クエリ プロセッサ エラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server は Service Broker タスク マネージャーの起動に必要なメモリを割り当てられませんでした**

SQL Server Service Broker は Service Broker タスク マネージャーを開始できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XTP ディスク領域が不足しています**

このルールは、イベント 41822 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に重大アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XTP バックグラウンド スレッドのエラー ログ**

このルールは、イベント 41355 をリッスンし、このイベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: IAM ページはオブジェクトの IAM チェーンにリンクされています**

インデックスのすべての IAM ページのインデックス ID が同じになっている必要があります。この場合、インデックス I\_ID2 の IAM チェーン内にリンクされた IAM ページのいずれかのインデックス ID が I\_ID1 になっています。このエラーの場合に考えられる 3 つの状態があります。それらはすべて同じことを意味しますが、検出が行われる場所が異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 共通言語ランタイム (CLR) にメモリを割り当てられませんでした**

このルールは、SQL Server が CLR に対してメモリを割り当てることができない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブルで参照されている列名を解決できませんでした**

このエラーは、参照されているテーブル内に存在しなくなった列を参照している外部キーを使用してテーブル内のデータを変更しようとした場合に発生します。列の名前を変更しただけでは、このエラーは発生しません。通常の状況では、外部キーによって参照されている列は削除できないため、このエラーは、サポートされていないシステム テーブルの直接更新が発生したことを示している可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル: 統計のない列は見つかりませんでした**

sp\_createstats を使用して統計を作成する対象となる列が現在のデータベース内にありません。計算列および ntext、text、または image データ型の列は、統計列として指定できません。既に統計が含まれている列は影響を受けません (インデックスの最初の列、または明示的に作成された統計を含む列など)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XML : XML エラー**

このメッセージは、SQL Server 外で生成された XML エラーの後に発生します。"XML エラー:" に続くテキストは異なります。この原因は、発生した XML エラーによって異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクトに割り当てられたページが見つかりませんでした。ページが無効か、またはヘッダーのオブジェクト ID 情報が正しくありません**

ページは指定されたとおりに割り当てられましたが、ヘッダー内にそのオブジェクトまたはインデックス ID が見つかりませんでした。ページのヘッダー内のインデックス ID が異なるため、そのページに対してマッチング 2534 (ページが別のオブジェクトによって割り当てられた) エラーが発生します。2534 エラーは、ページのヘッダー内にあるオブジェクト/インデックス ID に対応します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: クエリ プロセッサは、クエリの並列実行に必要なスレッド リソースを開始できませんでした**

サーバーでスレッド リソースが不足しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server は Service Broker イベント ハンドラーを起動できません**

SQL Server Service Broker は Service Broker イベント ハンドラーを開始できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XTP バックグラウンド スレッドのエラー**

このルールは、イベント 41354 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XTP コンパイルした Dll を読み込むことができません**

このルールは、イベント 41309 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページ ヘッダーのページ ID が正しくありません**

DBCC がページ P\_ID1 を要求しました。このページをディスクから読み取るときに、ヘッダー内のページ ID が P\_ID2 になっていました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server アサーション (17066)**

SQL Server でエラーが生成されました。正常な状況では、SQL Server からログ ディレクトリにポストされたダンプ ファイルを使用して、エラーの直前に実行されたアクションを特定できます。エラーの原因としては、データの破損、クライアント アプリケーションのエラー、SQL Server のエラー、不安定なネットワーク、またはハードウェア障害が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: インデックス ノード ページは子ページと前の子ページを参照していますが、見つかりませんでした**

B-tree 内のインデックス ページ (P\_ID1) に、2 つの近隣の下位レベルのページ (P\_ID2 と P\_ID3) への子参照が含まれていますが、どちらのページも見つかりません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: オペレーティング システム エラーが発生しました**

このメッセージは、オペレーティング システムから SQL Server 内部のプロセスになんらかのエラーが返されたことを示します。メッセージの最初に表示されたプロセスは、オペレーティング システムからエラーを受信した SQL Server 内部の関数を示します。メッセージの最後の、オペレーティング システムの正確なエラー番号とテキストは、オペレーティング システムで発生した問題によって異なります。このエラーは、通常他のエラーと共に見つかります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: サーバーでリモート ログインとして定義されていないので、サーバーに接続できませんでした**

リモート サーバーに対してリモート プロシージャ コール (RPC) を実行するためのセキュリティの設定には、リモート サーバーと、場合によっては Microsoft SQL Server のインスタンスを実行しているローカル サーバーで、ログインのマッピングを設定する作業が含まれます。マッピングは、特定のサーバー\インスタンス名 (通常は、既定のインスタンスの場合は NetBIOS 名、名前付きインスタンスの場合は NetBIOS 名とインスタンス名) に固有です。ログインのマッピングが存在しない場合、または接続文字列に指定されたサーバーの名前が sysremotelogins テーブルの正確な名前と一致せず、ゲスト アカウントのマッピングが sysremotelogins にない場合は、このエラーが表示されます。リモート ユーザーが NULL または空のログイン名を持つことが判明した場合にも、このエラーが表示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの TEXT、NTEXT、または IMAGE ノードは参照されていません**

テキスト ノードは、いずれのヒープまたはクラスター化インデックスのいずれの複合列でも参照されていませんでした。これは、事実上独立しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: I/O request taking longer than 15 seconds to complete (完了に 15 秒以上かかった I/O 要求)**

I/O 要求の完了に 15 秒より長くかかりました。SQL Server の I/O にボトルネックがある可能性があります。SQL Server のパフォーマンスは、ディスクのパフォーマンスに大きく依存します。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 つ以上のインデックスが壊れており、修復または削除する必要があります**

このエラーでは、エラー 8952 で説明されている問題の詳細が提供されます。説明については、そのエラーを参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: IAM チェーン リンケージ エラー**

指定されたインデックスの IAM チェーンが壊れています。ページ P\_ID1 の次のページを指すポインターはページ P\_ID2 を指していますが、ページ P\_ID2 の前のページを指すポインターは別のページ P\_ID3 を指しています。どちらのエラー状態も同じことを示しますが、破損が検出された場所が異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: AppDomain マネージャーを作成できませんでした**

このルールは、SQL Server がアプリケーション ドメイン マネージャーを作成できなかった場合にアラートをトリガーします

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 非ハッシュ化しようとしたときに、データベースのオブジェクトの記述子がハッシュ テーブルに見つかりません**

一時テーブルが見つかりませんでした。特定のオブジェクト ID が、Linux アプリケーション ログでイベント ID 617 として使用できるようになります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースのログは使用できません**

指定されたデータベースで、データ整合性に関する I/O エラーが発生しました。データベースのログまたはデータ部が壊れている可能性があります。SQL Server は、それ以上データ整合性の問題が起きないようにするために、そのデータベースのログを使用できないようにしています。9001 メッセージの原因となった I/O エラーは、SQL Server エラー ログまたは Linux イベント ログ、あるいはその両方に報告されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker メッセージ ディスパッチャーでエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker メッセージ ディスパッチャーでエラーが発生しました。Linux アプリケーション ログまたは SQL Server エラー ログで具体的なエラーが見つかる場合があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 最大接続数に達しています**

既定では、SQL Server はユーザー接続に必要なメモリを動的に管理します。ただし、接続の最大数は user connections 構成オプションを 0 以外の値に設定することにより固定値に設定できます。user connections オプションを 0 以外の値に設定することはお勧めできません。このオプションが 0 以外の値に設定されており、指定された接続数を超えた場合は、追加のログインを試行すると上記のメッセージが表示されて失敗します。値が 1 に設定されていると、SQL Server インスタンスが起動しないことがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: プロセスのワーカーが、スケジューラで応答を停止している可能性があります**

このエラーは、スケジューラの応答していないスレッドに問題があることを示しています。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの親ノードが見つかりませんでした**

ページ P\_ID が B-tree に表示され、属している B-tree のレベルにリンクされています。ただし、子ページとしてそのページへの参照を持つインデックス ページが表示されませんでした。これは、B-tree のいずれのレベルでも発生する可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: プロバイダーが予期しない重大なエラーをレポートしました**

プロバイダーが予期しない重大なエラーをレポートしました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: オペレーティング システム エラーのため、Service Broker マネージャーを起動できません**

このルールは、オペレーティング システム エラーのため、SQL Server が Service Broker マネージャーを起動できない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: 次のポインターがページを参照しています。その親も見つかりませんでした。チェーン リンケージに問題がある可能性があります**

ページ (P\_ID1) がページ間のつながりで次のページ (P\_ID2) を参照していますが、B-Tree にページ P\_ID2 が見つからず、親ページによる参照もありませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページは前ページからの参照がありません。チェーン リンケージに問題がある可能性があります**

ページ チェーン内の近隣のページ (P\_ID1) が前のページのリンクでそれを指しているにもかかわらず、B-tree 内にページ (P\_ID2) が見つかりません。これは、B-tree のいずれのレベルでも発生する可能性があります。どちらのエラー状態も同じことを示しますが、エラーが検出された場所のみが異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server でメモリが不足しています**

SQL Server はクエリを実行するのに十分なメモリ量を割り当てることができませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 復旧しないで起動しています**

SQL Server が復旧せずに起動しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server アサーション (17067)**

SQL Server でエラーが生成されました。正常な状況では、SQL Server からログ ディレクトリにポストされたダンプ ファイルを使用して、エラーの直前に実行されたアクションを特定できます。エラーの原因としては、データの破損、クライアント アプリケーションのエラー、SQL Server のエラー、不安定なネットワーク、またはハードウェア障害が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: フルテキスト検索: 不明なフルテキスト エラーが発生しました**

このエラーは、さまざまな状況で発生することがあります。多くの場合、アクセス許可または見つからないファイルに関連しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker プロシージャの出力結果**

SQL Server Service Broker が内部でアクティブ化したストアド プロシージャが結果を出力しました。内部プロシージャでは結果を出力しません。Linux アプリケーション ログのイベントに、プロシージャ名、キュー名、および出力結果が含まれます。イベントは MSSQLSERVER イベント ID 9724 として記録されます。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース ログ ファイルがいっぱいです。データベースのトランザクション ログのバックアップを作成して、ログ領域を解放してください**

指定されたトランザクション ログ ファイルに空き領域がありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースでログ記録操作を元に戻しているときにエラーが発生しました**

復旧プロセスは、指定されたデータベース内の 1 つ以上のトランザクションを元に戻す (ロールバックする) ことができませんでした。このエラーと共に、SQL Server エラー ログまたはイベント ログにより具体的なエラーが示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server インスタンスのサービス アカウントを特定できません**

このエラーは、Transact-SQL ステートメントに、一致しない一重または二重引用符が含まれているときに発生します。SET QUOTED\_IDENTIFIER 設定によって、有効な一重および二重引用符の組み合わせが判断されます。SET QUOTED\_IDENTIFIER の詳細については、オンライン ブックの「SET QUOTED\_IDENTIFIER」を参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: バックアップ デバイスが失敗しました - オペレーティング システム エラー**

このメッセージは、オペレーティング システムが、BACKUP または RESTORE コマンドで指定されたバックアップ デバイス (ディスク、テープ、またはパイプ) を開く、または閉じることができなかったことを示します。バックアップ デバイスの詳細については、オンライン ブックの「バックアップ デバイス」および「BACKUP」を参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインに失敗しました: この時点では、パスワードを使用できません**

ユーザーがパスワードを変更しようとしましたが、指定したパスワードがその時点で使用できませんでした。Linux セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18463 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートの接続エンドポイントでエラーが発生しました**

SQL Server は、SQL Server インスタンス外との通信に Service Broker およびデータベース ミラーリングのエンドポイントを使用します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインできませんでした。SQL Server アクセスのワークステーション ライセンスの上限に既に達しています**

SQL Server は、ライセンスの上限に達すると、ワークステーションへの接続を提供しなくなります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの low キー値が、親のキー値ではありません**

B-tree ツリー レベルのページには、各子ページのレコードと、その子ページのキー値が含まれています。子ページがリーフ レベル ページ (つまりレベル 0) の場合は、そのページ上のすべてレコードが、親ページ内のキー値以上のキー値を持っている必要があります。子ページがツリー レベル ページの場合 (つまりレベルが > 0 の場合)、親と正確に一致するキー値を持っている必要がある最初のレコードを除いて、すべてのレコードが、親のキー値より大きいキー値を持っている必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブルのバッファーを保持するために解放できるスロットはありません**

このエラーは、SQL Server に内部エラーがある場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: LOB ページへの参照が無効です**

このエラーは、SQL Server が操作中の LOB ページに対して無効な参照を使用した場合に発生します。このエラーは、異なる複数の理由で発生する可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: IO 完了リスナーのワーカーが、ノードで応答を停止している可能性があります**

I/O 完了ポートは、Microsoft SQL Server が、サービスの開始時に作成されたスレッドのプールを使用して非同期 I/O 要求を処理するためのメカニズムです。メッセージには、完了ポートが応答していないノードが示されます。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: CREATE FILE でオペレーティング システム エラーが発生しました**

CREATE FILE でオペレーティング システム エラーが発生しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: フルテキスト検索: フルテキスト カタログは使用できない状態です。このフルテキスト カタログを削除し、再作成してください**

フルテキスト カタログがオフラインになっています。フルテキスト ディレクトリが削除されている、壊れている、またはパスが無効な場所を指しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースのログを読み取り中にエラーが発生しました**

このエラーは、ロールバック、復旧、またはレプリケーション中にトランザクション ログを処理しているときにエラーが発生したことを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ノード上のすべてのスケジューラでデッドロックが生じている可能性があります**

このメッセージは、サーバーが一定時間内に新しいクエリに応答しなかった場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの high キー値が、次のページの親スロットの low キー値より小さくありません**

B-tree ツリー レベルのページには、各子ページのレコードと、その子ページのキー値が含まれています。子ページがリーフ レベル ページの場合は、そのページ上のすべてのレコードが、親ページ内のキー値以上のキー値を持っている必要があります。子ページがツリー レベル ページの場合、親と正確に一致するキー値を持っている必要がある最初のレコードを除いて、すべてのレコードが、親のキー値より大きいキー値を持っている必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker の暗号化操作に失敗しました**

このルールは SQL Server Service Broker の暗号化操作が失敗したときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 別のオブジェクトに属する論理ページを取り出そうとしました**

このエラーは、データベース ページとして保存されたアロケーション ユニットが、特定の操作 (テーブルに対する SELECT ステートメントの実行など) と関連付けられたアロケーション ユニットと一致しないことが、SQL Server によって検出されたときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server アサーション (17065)**

SQL Server でエラーが生成されました。正常な状況では、SQL Server からログ ディレクトリにポストされたダンプ ファイルを使用して、エラーの直前に実行されたアクションを特定できます。エラーの原因としては、データの破損、クライアント アプリケーションのエラー、SQL Server のエラー、不安定なネットワーク、またはハードウェア障害が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XML: XML 解析エラー**

このメッセージは、XML 解析エラーの後に発生します。"XML 解析エラー:" に続くテキストは異なります。この原因は、発生した XML 解析エラーによって異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 参照されているテーブルを開くことができませんでした**

スキーマ安定性ロック (LCK\_M\_SCH\_S または Sch-S) が保持されているテーブルの制約を追加、削除、または変更しようとしています。スキーマ安定性ロックは DDL と互換性がありません。ロックは、このテーブルに関係する、コンパイルに長時間かかるクエリによって保持されている可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベース上で SQL Server Service Broker を起動できません**

このルールは、SQL Server がデータベースで Service Broker を起動できない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XML: クラスのインスタンスを作成できませんでした。SQL Server インストールに Msxml2.dll が存在するか確認してください**

SQL Server がインストールされているコンピューターに Msxml2.dll ファイルがないか、sp\_xml\_preparedocument などの XML 機能の処理中にシステム ディレクトリから Msxml2.dll ファイルを読み込めませんでした。ファイルが存在する場合は、適切に登録されていないか、またはその従属関係の 1 つが存在しない可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: CREATE DATABASE が失敗しました。その名前のディスクに新しいデータベースを割り当てるディスク領域がありません**

このエラーは、デバイス上に model データベースを作成するための領域が不足している場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Service Broker セキュリティ マネージャーを起動できません**

Service Broker セキュリティ マネージャーを起動できませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが起動しました**

SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが開始されました。Linux アプリケーション ログには、エラーが Service Broker またはデータベース ミラーリングのどちらにより記録されたのかが明記されます。このメッセージは、Linux アプリケーション ログに MSSQLSERVER イベント ID 9690 として記録されます。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: B-tree チェーン リンケージが一致しません。**

指定された B-Tree のあるレベルで論理ページ チェーンが切れています (これはリーフ レベルを含むあらゆるレベルで発生する可能性があります)。ページ P\_ID1 の次のページを指すポインターはページ P\_ID2 を指していますが、ページ P\_ID2 の前のページを指すポインターは別のページ P\_ID3 を指しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: 行にテーブルがないかインデックスに無効なキーがあります:**

テーブル (ヒープまたはクラスター化インデックス) 内の各データ行には、そのテーブルに対する各非クラスター化インデックス内の正確に一致するインデックス行が 1 つ含まれている必要があります。このエラーは、クラスター化されていないインデックスに特定のインデックス行が見つからないことを意味します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースを問題ありに設定できませんでした。sysdatabases.dbid での Getnext NC スキャンは失敗しました**

SQL Server 復旧プロセスは、指定されたデータベースの問題ありのフラグをオンにしようとしましたが、sysdatabases に適切な行が見つからなかったか、メモリ内のデータベース情報を更新できませんでした。データベースを問題ありとしてマークする必要がある理由は、SQL Server エラー ログまたはイベント ビューアーの他のメッセージで示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: フルテキスト検索: この操作を完了するには、フルテキスト カタログのディスク領域が不足しています**

フルテキスト カタログを保持するのに十分な空きディスク領域がありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクト チェーンがクロス リンクしています**

DBCC CHECKDB の最初のフェーズで行われるのは、重要なシステム テーブルのデータ ページに対する初期チェックです。エラーが検出された場合は、それを修復できないため、DBCC CHECKDB は直ちに終了します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: トランザクションが、リソースで他のプロセスとデッドロックしました。トランザクションがデッドロックの対象として選択されています。トランザクションを再実行してください**

このエラーは、Microsoft SQL Server でデッドロックが検出されたときに発生します。デッドロックは、2 つ (またはそれ以上) のプロセスが、他のプロセスがロックしているリソースにアクセスしようとするときに発生します。それぞれのプロセスが別のリソースを要求するので、いずれのプロセスも完了できません。デッドロックが検出されると、SQL Server は処理時間が最小のコマンドをロールバックし、エラー メッセージ 1205 をクライアント アプリケーションに返します。このエラーは重大ではなく、バッチが終了される原因にはなりません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポート マネージャーでエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポート マネージャーでエラーが発生しました。Linux アプリケーション ログまたは SQL Server エラー ログで具体的なエラーが見つかる場合があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ファイル グループがいっぱいなので、データベースにオブジェクトの領域を割り当てられませんでした**

指定されたファイル グループに空き領域がありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブルが外部キー制約を持っていることになっていますが、見つかりませんでした**

このエラーは、制約の作成に失敗したが、なんらかの理由でその作成が完全にロールバックされなかったときに発生することがあります。また、これは、メッセージに示されたテーブルが置かれているデータベース内のシステム テーブルでのデータ一貫性の問題によって発生することもあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ページを読み取りまたはラッチできませんでした**

なんらかの理由でページの読み取りに失敗したか (同時に発生したエラーを参照)、またはラッチを取得できませんでした (エラー ログにラッチ タイムアウト メッセージが表示されることもあります)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースの復旧で、テーブルの ID 値の矛盾を検出しました**

データベース復旧プロセスは、指定されたテーブルの現在の ID 値を特定できませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Physical file access error (物理ファイル アクセス エラー)**

ファイルのアクティブ化エラーが発生しました。データベース作成中で物理ファイル名が正しくない可能性があります。  
注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: バックアップ セットの開始を読み取り中に予期しないファイルの終わりを検出しました**

FROM 句に指定されたバックアップ ファイルの一部を読み込めなかったため、RESTORE 操作が失敗しました。通常、このエラーは指定されたファイルが SQL Server 7.0 以前のバックアップであるか、ファイルが壊れていることを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインに失敗しました: アカウントのロックアウト**

ユーザーが、ロックアウトされているアカウントを使用してネットワークにログインしようとしました。Linux セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18486 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XML : サーバーのメモリが不足しているので、XML ドキュメントを作成できませんでした。sp\_xml\_removedocument を使用して、XML ドキュメントを解放してください**

sp\_xml\_preparedocument を実行すると、解析された XML ドキュメントが SQL Server 2000 の内部キャッシュに格納されます。MSXML パーサーでは、SQL Server で利用可能な総メモリの 8 分の 1 までが使用されます。キャッシュの中で MSXML に割り当てられた部分に、sp\_xml\_preparedocument ステートメントで指定されたドキュメントを開くための十分なメモリがありません。これは、指定されたドキュメントが大きすぎるか、またはそのメモリ領域に既にあるドキュメントによって新しいドキュメントに必要な領域が残されていないためである可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 競合テーブルが存在しません**

このエラーは、マージ アーティクルで列を追加または削除しようとしたが、変更されたアーティクルの sysmergearticles で指定された競合テーブルが実際にはデータベースに存在しない場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: エラー ログ ファイルを開くことができませんでした**

Microsoft SQL Server を NTFS パーティションにインストールする場合は、NTFS ファイル アクセス許可で、読み取り/書き込みアクセス権が許可されていることを確認します。そうでない場合、このエラー メッセージが、(インストールが試行されるたびに) Linux のアプリケーション ログに記録されることがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 共通言語ランタイム (CLR) が正しくインストールされていません**

このインストール環境の共通言語ランタイム (CLR) が壊れています。CLR は Microsoft .NET Framework と共にインストールされます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: B-tree レベルが一致しません。ページが親のレベルと一致しません**

B-tree には、親 (P\_ID2) と子 (P\_ID1) としてリンクされた 2 つのページがあります。親ページ (P\_ID2) のレベル (LEVEL2) を考慮すると、子ページ (P\_ID1) のレベル (LEVEL1) は、B-trees のレベル ルールに適合しません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: テストが失敗しました。スロットが前の行とオーバーラップしています**

スロット オフセット配列内のスロット S\_ID のオフセットが、前のスロットの最後と等しいかそれ以上ではないため、スロットが重複しています。TEST は 'sorted [i].offset >= max' です。この式の左辺は ADDRESS で、'max' は前のスロットの最後です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: フルテキスト検索: データベースのフルテキスト インデックスが見つかりませんでした**

指定されたフルテキスト インデックスを利用できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ポートは使用中のため、Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートではそのポートをリッスンできません**

Service Broker またはデータベース ミラーリングのエンドポイントの作成時に、SQL Server は、エンドポイントの構成で指定されているポートの TCP/IP 接続を受け付けられる必要があります。トランスポート セキュリティには、ポートへの接続に認証が必要です。サーバーでファイアウォールを有効にしている場合は、エンドポイントで使用されるポートを送信と受信の両方の接続で使用できるようにファイアウォールを構成する必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 最適化された同時クエリの制限を超えました**

ライセンスによって同時実行クエリ数が制限されているエディションの SQL Server を使用しています。これには、Personal Edition と Desktop Edition が含まれます。これらのエディションには、同時実行ユーザー クエリ数を特定数に、また同時実行システム タスク数をより少ない数に制限する、同時実行ワークロード ガバナーが含まれています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインできませんでした**

無効なパスワードまたはユーザー名を含む認証の失敗によって接続試行が拒否された場合、クライアントには "ユーザー 'user\_name' はログインできませんでした。(Microsoft SQL Server、エラー: 18456)" のようなメッセージが返されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: 列は有効な複合列ではありません**

列は、レコードの可変長列セクションで複合列としてマークされていますが、有効なテキスト ポインターまたは行テキスト ルートではありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ユーザーは、システム テーブルを切り捨てることは許可されていません**

allow updates 構成オプションが有効になっている場合でも、システム テーブルに対して TRUNCATE TABLE ステートメントを発行できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: エクステント オブジェクトがこのデータベースの範囲を超えています**

P\_ID は、(filenum:pageinfile) という形式のページ ID です。このエクステントの <ファイル内のページ> が、データベースの <ファイル番号> のファイルの物理サイズよりも大きいです。エクステントは、指定されたオブジェクトまたはインデックス ID の IAM ページで割り当て済みとしてマークされています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースの復旧中にエラーが発生しました**

このエラーは、SQL Server がオンラインになった際にデータベースを回復できなかったときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 別の Service Broker またはデータベース ミラーリング ホストへの接続中にセキュリティ (SSPI) エラーが発生しました**

Service Broker トランスポート セキュリティで SSPI を使用する際、リモート データベースのサービス アカウントは、master データベースの CONNECT アクセス許可が必要です。リモート SQL Server インスタンスは、リモート ホストによって使用されているアカウントの Linux 認証を許可する必要があります。ログインには、他の権限やどのデータベース内のオブジェクトも所有する必要はありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが無効になっているか、構成されていません**

このルールは、SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが無効になっているか、構成されていないときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 再試行後の I/O 操作は成功しました**

データベース ページまたはトランザクション ログ ブロックの読み取り操作は成功しましたが、操作の再試行が必要でした。 早急に対処する必要はありませんが、エラーの原因を調べてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: tempdb を開くことができませんでした。 続行できません**

tempdb データベースを開くことができませんでした。これには、次の原因が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ページで I/O の実行中に OS エラーが発生しました**

データベース ページの読み取りまたは書き込み中に、オペレーティング システム エラーが発生しました。エラー メッセージには、発生した具体的なオペレーティング システム エラーが記載されています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログに空き領域がないので、データベースに CHECKPOINT レコードを書き込めませんでした**

指定されたデータベースのトランザクション ログが、その容量に達しました。制限は、構成の設定またはこのデータベース用に構成されている 1 つ以上のファイルで使用可能な物理容量によるものであると考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: クエリ プロセッサの内部エラー: クエリ プロセッサは、必要なインターフェイスにアクセスできませんでした**

これは、内部クエリ プロセッサ エラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker ダイアログがエラーを検出しました**

このルールは、SQL Server Service Broker ダイアログがエラーを検出したときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: デバイスでのオペレーティング システム エラー**

バックアップ デバイスを開くことができません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブルが CHECK 制約を持っていることになっていますが、見つかりませんでした**

このエラーは、制約の作成に失敗したが、なんらかの理由でその作成が完全にロールバックされなかったときに発生することがあります。また、これは、メッセージに示されたテーブルが置かれているデータベース内のシステム テーブルでのデータ一貫性の問題によって発生することもあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: FIPS 準拠モードで実行している間、SQL Server Service Broker は RC4 暗号化アルゴリズムを使用できません**

SQL Server Service Broker にはメッセージ交換機能があり、少なくとも 1 つのエンドポイントが RC4 暗号化を使用するように構成されています。また、サーバーは Federal Information Processing Standard (FIPS) 準拠モードに設定されています。FIPS 準拠モードで実行されている場合、RC4 暗号化はサポートされません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの TEXT、NTEXT、または IMAGE ノードが、スキャンで見つからないページによって参照されています**

テキスト ノードは、いずれのヒープまたはクラスター化インデックスのいずれの複合列でも参照されていませんでした。これは、事実上独立しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクトがクロス リンクしています**

ページ P\_ID1 は、親 - 子という方法で、異なるオブジェクト内のページ (P\_ID2) を指しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Service Broker マネージャーを起動できません**

このルールは、SQL Server が Service Broker マネージャーを起動できない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 列をテーブルに追加できませんでした**

sp\_repladdcolumn は、パブリケーション データベースのテーブルに指定された列を追加できませんでした。別のエラーも共に報告される場合は、その別のエラーに列を追加できなかった理由が示されるはずです。他にエラーが報告されなければ、所有者限定テーブルが存在しないこと、またはレプリケートされたテーブルに追加できないデータ型であることが問題の場合があります。新しい列のデータ型は、ID 列、計算列、タイムスタンプ列のいずれかで、NULL が許されるか、または既定値を持つ必要があります。sp\_repladdcolumn の詳細については、オンライン ブックの「パブリケーション データベースでのスキーマの変更」を参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 共通言語ランタイム (CLR) を HRESULT で初期化できませんでした (6512)**

このルールは、アセンブリまたはアプリケーションの開始に失敗し HRESULT エラーがログに記録されるときにアラートをトリガーします。Linux アプリケーション ログに特定の HRESULT に関する情報が含まれることがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: フルテキスト操作を完了できませんでした。ファイル グループが空、読み取り専用、またはオフラインです**

フルテキスト操作を完了できませんでした。ファイル グループが空、読み取り専用、またはオフラインです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Service Broker アクティブ化マネージャーを起動できません**

このルールは、Service Broker がアクティブ化マネージャーを起動できない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログのバックアップを完了できませんでした**

このエラーは、前のエラーのために、指定されたデータベースの BACKUP を Microsoft SQL Server が完了できなかったことを示します。失敗した BACKUP コマンドは、エラー メッセージの最後に示されます。このメッセージは、Linux のアプリケーション ログにも表示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: master データベースを復元できませんでした。SQL Server をシャットダウンしています**

復元している master データベースのバックアップが使用できません。ファイル自体が壊れているか、バックアップが取得された元の master データベースのデータの整合性に問題があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブルから列を削除できませんでした**

sp\_repldropcolumn は、パブリケーション データベースの指定された列の削除に失敗しました。このエラーは、システム テーブルの更新の失敗、または基礎となる ALTER TABLE ステートメントの失敗の結果である可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページには親ノード (不明) と前のノードからの参照がありません。sysindexes のルート エントリが正しくない可能性があります**

ページ P\_ID1 が見つかりましたが、そのページが属していると思われる B-Tree にリンクされていません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページ上の以前へのリンクが、スロットがこのページに期待する前 (親) ページと一致しません**

B-tree は、1 つのレベルにあるページが二重にリンクされたリストで互いを指すような構造になっています。さらに、B-tree のページの親は、それぞれの子のレコードをそのキーとページ ID で保持しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ファイルにアクセスできなかったか、メモリまたはディスク領域が不足しているので、データベースを開けません**

データベースが IsShutdown とマークされていると、エラー 945 が返されます。これは、不足しているファイル、または通常は容易に修正できる他のリソース エラーが原因で、データベースが復旧できない場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ページで I/O を実行後の論理的な一貫性エラー**

データベース ページ、またはトランザクション ログ ブロックの読み取りまたは書き込み時に整合性チェックに失敗しました。エラー メッセージには、失敗した一貫性チェックの具体的な種類が記載されています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: メモリ不足のため、共通言語ランタイム (CLR) を初期化できませんでした**

Linux が Microsoft 共通言語ランタイム (CLR) の初期化に必要なメモリを割り当てられませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: エラー コードが返されたため、AppDomain をアンロードできませんでした**

このルールは、エラーのため、アプリケーション ドメインがアンロードに失敗したときにトリガーされます。Linux アプリケーション ログに、元のエラー コードとその他の診断の詳細に関する情報が含まれることがあります

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードが短すぎます**

ユーザーがパスワードを変更しようとしましたが、指定したパスワードが短すぎました。Linux セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18464 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースまたはトランザクション ログ ファイルを開けませんでした**

データベースのトランザクション ログ ファイルまたはセカンダリ データベース ファイルを開くときに、オペレーティング システム エラーが発生しました。エラー メッセージには、発生した具体的なオペレーティング システム エラーが記載されています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: プライマリ データベース ファイルを開けませんでした**

データベースのプライマリ ファイルを開くときに、オペレーティング システム エラーが発生しました。エラー メッセージには、発生した具体的なオペレーティング システム エラーが記載されています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 例外またはメモリ不足のため、SQL Server Service Broker の送信機能がシャットダウンしました**

このルールは、エラーまたはメモリ不足のために SQL Server Service Broker の送信機能が停止したときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースの新しいページを割り当てられません。ファイル グループで使用できるページはありません。**

オブジェクトの削除、別のファイルの追加、またはファイル拡張の許可を実行して領域を作成してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: 予期しないページ型**

ページ P\_ID のページの種類が、それを解釈しようとしているコードで予期していないものになっていました。このページは、割り当て済みとしてマークされますが、そのために DBCC コードがこれを解釈しようとしています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XTP でコンパイラを呼び出せない**

このルールは、イベント 41312 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Service Broker マネージャーでエラーが発生しました**

このルールは、SQL Server Service Broker マネージャーでエラーが発生したときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースのログ スキャンに渡された LSN は無効です**

起動時に SQL Server プロセスがデータベースの復旧を試行しているときに、または ATTACH ステートメントの結果としてこのメッセージが表示される場合は、データベースのログ ファイルが壊れています。復元処理中にこのメッセージが表示される場合は、バックアップ ファイルが壊れています。レプリケーション処理中にこのメッセージが表示される場合は、レプリケーション メタデータが壊れている可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクトがクロス リンクしています: オブジェクトの親ページが次に参照するページが同じオブジェクトにありません**

指定されたオブジェクトの B-tree 内のページ P\_ID2 の次のページを指すポインターとページ P\_ID1 の子ページを指すポインターが、別のオブジェクトのページ (P\_ID3) を指しています。さらに、ページ P\_ID1 および P\_ID2 自体が異なるオブジェクトにある可能性もあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーの暗号化呼び出しが失敗しました**

SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーが、オペレーティング システムの暗号化関数を呼び出そうとしましたが、暗号化関数からエラーが返されました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: .NET Framework ランタイムで致命的なエラーが発生しました**

このルールは、エラーが原因で .NET Framework がシャットダウンするときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクト、インデックス、ページのテストに失敗しました。スロット - オフセットが無効です**

指定されたスロットで、スロット配列に対応させると無効なオフセット (ADDRESS) がページ内にあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースに既定のフルテキスト カタログが存在しないか、ユーザーにこの操作を実行するアクセス許可がありません**

フルテキスト カタログが存在しないか、カタログにフルテキスト インデックスを作成できる適切な権限をユーザーが持っていません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: アロケーション ページに無効なページ ヘッダー値が含まれています。**

指定されたページのページ ヘッダーが無効です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 共通言語ランタイム (CLR) を HRESULT で初期化できませんでした (6511)**

このルールは、アセンブリまたはアプリケーションの開始に失敗し HRESULT エラーがログに記録されるときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XML: Msxml2.dll を読み込めませんでした**

SQL Server がインストールされているコンピューターに Msxml2.dll ファイルがないか、sp\_xml\_preparedocument などの XML 機能の処理中にシステム ディレクトリから Msxml2.dll ファイルを読み込めませんでした。ファイルが存在する場合は、適切に登録されていないか、またはその従属関係の 1 つが存在しない可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: オブジェクトでアクセス許可が拒否されました**

Microsoft SQL Server ユーザーが、適切な特権を持たないテーブルに対して、ストアド プロシージャの実行、またはテーブルの読み取りや変更などの操作を試行した場合に、このエラーが発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートの操作中に、SNI 呼び出しが失敗しました**

このルールは、Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートの操作中に、SNI 呼び出しが失敗したときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ファイルを作成できません**

ファイルは既に存在するため、SQL Server はファイルを作成できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: バックアップ デバイスを開けません。**

BACKUP または RESTORE コマンドで指定された 1 つ以上のファイルを開くことができませんでした。これには次の原因が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクトがクロス リンクしています。ページ PGID->next が同じインデックスではありません**

ページ P\_ID がページ P\_ID2 にリンクされていますが、2 つのページは別のインデックスまたはオブジェクトに割り当てられています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードが簡単すぎます**

ユーザーがパスワードを作成しようとしましたが、指定したパスワードが Linux のパスワードの複雑さの要件を満たしていませんでした。これは、“パスワードは、複雑さの要件を満たす必要がある“ ポリシー設定に定義されています。Linux セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18466 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードを変更してください**

ユーザーが、MUST\_CHANGE オプションに設定されたパスワードで SQL Server にログインしようとしました。Linux セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18488 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードが長すぎます**

ユーザーがパスワードを作成しようとしましたが、指定したパスワードが長すぎました。Linux セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18465 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: インデックス付きビューには、ビュー定義で生成された行の一部が含まれていません。**

このエラーの詳細については、オンライン ブックを参照してください。ただしこのことが、このデータベースのデータとの整合性の問題になっているとは限りません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: システムのシャットダウンにより SQL Server が終了します**

サーバーがシャットダウンしているため、SQL Server がシャットダウンしています。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースのバックアップは完了しませんでした**

BACKUP はコマンドの完了に失敗しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Service Broker が暗号化操作にメモリを割り当てられませんでした**

このルールは、SQL Service Broker が暗号化操作にメモリを割り当てられない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: 余分または無効なキーです**

テーブル (ヒープまたはクラスター化インデックス) 内の各データ行には、そのテーブルに対する各非クラスター化インデックス内の正確に一致するインデックス行が 1 つ含まれている必要があります。このエラーは、クラスター化されていないインデックスにデータ行と一致しないインデックス行があることを意味します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: エラーが発生したため、SQL Server Service Broker の接続が閉じられました**

このルールは、エラーのため、SQL Server Service Broker のメッセージ交換が終了した場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: エラーが発生したため、Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートで接続をリッスンできませんでした**

このルールは、Service Broker が指定されたポートでリッスンできないときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: フルテキスト検索: フルテキスト カタログの検索に失敗し、不明な結果が返されました**

フルテキスト クエリは、不明な理由のため失敗しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ユーザーの既定データベースを開けません。ログインに失敗しました**

クライアントがデータベース コンテキストを指定せずに SQL Server インスタンスに接続すると、ログイン用に定義された既定のデータベースが使用されます。そのデータベースがなんらかの理由で利用できない場合に、上記のメッセージが表示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: B-tree ページが 2 つの親ノードを持っています**

ページ P\_ID1 が B-tree の上位にある 2 つのページ P\_ID2 および P\_ID3 のスロットによって子ページとして参照されているため、B-tree 構造が破損しています。ページは、1 つの親によってのみ参照できます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: サーバーがビジー状態のため、バックアップまたは復元操作を実行できません**

使用可能なスレッドがないか、実行されているサブプロセスが多すぎるため、サブプロセス (並列クエリまたは並列 I/O) を開始できませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: CHECKTABLE を終了しました。情報の収集中にエラーが発生しました。**

tempdb の領域が不足しているか、システム テーブルの一貫性が損なわれている可能性があります。以前に発生したエラーを調べてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XML: FOR XML EXPLICIT スタックがオーバーフローしました。親タグの循環リレーションシップは許可されません**

XML は、レベルをネストする要素タグがテーブル内の列数を超えているか、1 つ以上のタグが自己参照しているか、またはその両方であるため、整形式ではありません。FOR XML EXPLICIT の詳細については、オンライン ブックの「EXPLICIT モードの使用」を参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログインに失敗しました: 検証中にエラーが発生しました**

ユーザーが SQL Server にログインしようとしました。検証中に予期しないエラーが発生しました。Linux セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18468 にユーザー名とエラー ID が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: クエリ プロセッサの内部エラー: クエリ プロセッサの内部制限値をオーバーフローしました**

これは、内部クエリ プロセッサ エラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: 親および前のページが参照しているページがスキャンで見つかりませんでした。以前のエラーを確認してください**

B-tree 内のページ (P\_ID1) が、インデックス ページ (P\_ID2) でそれを子ページとして指し、ページ チェーン内の前のページ (P\_ID3) でチェーン内の次のページとしてそれを指しているにもかかわらず、見つかりませんでした。これは、B-tree のいずれのレベルでも発生する可能性があります。どちらのエラー状態も同じことを示しますが、エラーが検出された場所のみが異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server の Service Broker またはデータベース ミラーリングは、FIPS 準拠モードで実行されています**

このルールは、SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリングが FIPS 準拠モードで実行されているときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: タイマー イベント キャッシュでエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker のトランスポート層のタイマー イベント キャッシュでエラーが発生しました。Linux アプリケーション ログまたは SQL Server エラー ログで具体的なエラーが見つかる場合があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XML: ストリームから要求されたデータ チャンクのサイズが、許可されている上限を超えています**

SQL Server が、制限値を超えている XML ドキュメントを受信しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: クエリ プロセッサの内部エラー: クエリ プロセッサは、クエリの最適化実行中にスタック領域不足になりました**

クエリ プロセッサがクエリを最適化するときに、限度内で大量のメモリ スタックを使用しています。たとえばクエリの引数に 100,000 の定数を含むような極端な状況では、大規模なクエリのためにスタック サイズがその限度に達することがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: トランザクションの結果を解決できないので、データベースを復旧できませんでした**

復旧プロセスは、指定されたデータベースで保留しているトランザクションを検出しました。これらのトランザクションは、Microsoft 分散トランザクション コーディネーター (MS DTC) を使用した分散トランザクションか、単一インスタンスのデータベース間トランザクションのいずれかです。これらのトランザクションのうち 1 つ以上を復旧プロセスでコミットまたはロールバックするのに十分な情報がありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ファイル ID への参照が無効です**

このエラーは、SQL Server が、なんらかの操作を実行中に無効なファイル ID を使用したときに発生します。このエラーは、複数の異なるシナリオで発生する可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: MSSQLServer サービスが予期せず終了しました**

このエラーは、SQL Server エージェント サービスによって、SQL Server が自動再起動されたときに報告されます。SQL Server エージェントが SQL Server を自動再起動するのは、ユーザーまたはアプリケーションからの明示的な停止コマンド以外の理由で SQL Server が停止した場合と、SQL Server エージェントの詳細プロパティで [予期しない停止時に SQL Server を自動的に再起動する] オプションが選択されている場合のみです。SQL Server の再起動中、SQL Server エージェントは、SQL Server をホストしているコンピューターのアプリケーション イベント ログにこのメッセージを書き込みます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 強制終了されたプロセスのクリーンアップを行えませんでした**

このエラー メッセージは、別のエラーによってユーザー接続が異常終了したときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースの一貫性エラーが見つかりました**

このメッセージは、データベース整合性確認でエラーが見つかり、エラーがまったく修復されなかったか、一部しか修復されなかったことを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker がレジストリから FIPS 準拠モード フラグを照会できませんでした**

このルールは、SQL Server Service Broker がレジストリから FIPS 準拠モード フラグを照会できなかった場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: master データベースを復旧できません。終了しています。**

master データベースが復旧可能な状態にありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースの一貫性エラーが見つかり、修復されました**

このメッセージは、データベース整合性確認でエラーが見つかり、すべてのエラーが修復されたことを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ページはこのデータベースの範囲外です**

指定されたページは、割り当て済みとしてマークされていますが、それが置かれているファイルの使用中の部分を越えています (以下に説明する特定の状態を除きます)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースの一貫性チェックがエラーなく実行されました**

このメッセージは、データベース整合性確認が実行されており、エラーが見つかっていないことを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが停止しました**

このルールは、SQL Server Service Broker のメッセージ交換で、少なくとも 1 つのエンドポイントにより、接続のリッスンが停止されたときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル エラー: ヘッダーのページは別のオブジェクトによって割り当てられています**

ページにオブジェクトおよびインデックス ID が指定されていますが、そのインデックスの IAM ページによって割り当てられていません。このページのヘッダーに不適切なオブジェクトまたはインデックス ID があるため、そのページに対して、マッチング 2533 (ページが割り当てられているのに見つからない) エラーが発生します。2533 エラーは、ページが実際に割り当てられたインデックスに対応します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 内部クエリ プロセッサ エラー: リモート クエリ フェーズを処理中に、クエリ プロセッサで予期しないエラーが発生しました**

これは、内部クエリ プロセッサ エラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 物理ファイルを開くことができません**

SQL Server は物理ファイルを開くことができませんでした.

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker マネージャーがシャットダウンしました**

このルールは、SQL Server Service Broker マネージャーがシャットダウンしたときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker が、サポートされていない暗号化アルゴリズムを使用しようとしました**

このルールは、SQL Server Service Broker が、サポートされていない暗号化アルゴリズムを使用しようとした場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: このクエリの推定コストが設定されたしきい値を超えたので、クエリは取り消されました。システム管理者に問い合わせてください**

query governor cost limit オプションの構成の設定が、SQL Server オプティマイザーによって推定されたクエリの見積もりコストよりも小さくなっています。既定では、query governor cost limit オプションは 0 に設定され、これによりすべてのクエリの実行が許可されます。しかし、この SQL Server のインスタンス上では、このオプションを 0 より大きい数に設定することで上限が指定されています。予想されるコストがこの値より大きいクエリ計画は開始されません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: OLE DB プロバイダーのインスタンスを作成できませんでした**

このルールは、SQL Server が OLE DB プロバイダーのインスタンスを作成してリンク サーバーに接続できなかったときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: データベースを排他的にロックできませんでした**

CREATE DATABASE ステートメントを発行したときに model データベースが使用中だった場合、model データベースのロックを取得できなかったことを示すこのエラーが表示されることがあります。新しいデータベースは、model データベースからコピーされるため、model データベースはまったく使用されない状態になっている必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Service Broker キュー ロールバック ハンドラーでエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker は、ロールバック中にエラーが発生して Service Broker でキューを無効にできない場合に、MSSQLSERVER イベント ID 8405 を生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL Server Service Broker のメッセージ送信機能でエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker メッセージ送信機能がエラーを検出しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 一意テーブル計算に失敗しました**

一意テーブルは、SQL Server 用の Microsoft Access ドライバーなどのデータベース クライアント ドライバーによって更新可能なクエリを構築するのに使用されます。特定の SELECT ステートメントで、一意テーブルは、行の値が結果セットに最大でも 1 回表示されるテーブルを特定します。結果セットから行を再選択すると、一意テーブルのキー列の値により、行を特定することができます。このエラーは、サーバーが一意テーブルを計算できない場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブル: 次の列の統計を作成しています**

sp\_createstats は、現在のデータベース内で適切な各列の統計を生成しました。計算列および ntext、text、または image データ型の列は、統計列として指定できません。既に統計が含まれている列は影響を受けません (インデックスの最初の列、または明示的に作成された統計を含む列など)。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: フルテキスト検索: 現在のデータベースではフルテキスト検索が有効になっていません。sp\_fulltext\_database を使用してフルテキスト検索を有効にしてください**

フルテキスト インデックスが有効になっていないデータベースでフルテキスト インデックスを実行しようとしました。データベースは、フルテキストが有効にされたことがないか、あるいは復元またはアタッチされた可能性があります。後者の場合、フルテキスト インデックスは自動的に無効になります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: AppDomain を作成できませんでした**

このルールは、アプリケーションがアプリケーション ドメインを作成しようとしたが失敗したときに、アラートをトリガーします。アプリケーション ドメインを開始するのに十分なメモリがないことが原因として考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン - ルール (アラート)**

**Linux 上の MSSQL: SQL Server DB エンジンの再起動**

SQL Server DB エンジンの再起動を検出します。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 使用できない時間 (秒) | ワークフローでは、イベント サービスの停止後、この時間内にサービス開始イベントをキャッチしようとします。 | 900 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのクレジット不足による待機数**

XTP IO レート ガバナーについて Linux の "1 秒あたりのクレジット不足による待機数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Write Comp (書き込み完了 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Write Comp" (書き込み完了 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント受信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント受信数" (Message Fragment Receives/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン - スレッド数**

SQL DB エンジンのスレッド数のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのトランザクション作成数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりのトランザクション作成数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル書き込み競合数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりのカーソル書き込み競合数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作された期限切れの行数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりに操作された期限切れの行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Enqueued Messages Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Enqueued Messages Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのログイン数**

開始されるログインの秒単位の総数。これには、プールされた接続は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (ファントムによる)**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Linux の "1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (ファントムによる)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに開始されたカーソル スキャンの数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりに開始されたカーソル スキャンの数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの送信 I/O のバイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの送信 I/O のバイト数" (Send I/O bytes/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの操作されたファントム行数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Linux の "1 秒あたりに操作されたファントム行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Read Comp (読み取り完了 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Read Comp" (読み取り完了 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Message Fragment Receive Size Average (平均メッセージ フラグメント受信サイズ)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Message Fragment Receive Size Average" (平均メッセージ フラグメント受信サイズ) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Pending Message Fragments for Receive I/O (受信 I/O の保留メッセージ フラグメント数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Pending Message Fragments for Receive I/O" (受信 I/O の保留メッセージ フラグメント数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 受信 I/O の現在のバイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 受信 I/O の現在のバイト数" (Current Bytes for Recv I/O) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのログ ブロック数**

XTP IO レート ガバナーについて、Linux の "1 秒あたりのログ ブロック数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの送信 I/O 数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの送信 I/O 数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Bytes/Transfer (転送あたりの平均バイト数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Bytes/Transfer" (転送あたりの平均バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Message Discarded Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Message Discarded Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O のバイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O のバイト数" (Receive I/O bytes/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Transfers per Second (1 秒あたりの転送数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Transfers per Second" (1 秒あたりの転送数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに開始されたファントム スキャン数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Linux の "1 秒あたりに開始されたファントム スキャン数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P6 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P6 送信数" (Message Fragment P6 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジンの流用されたサーバー メモリ (MB)**

Linux での SQL DB エンジンの流用されたサーバー メモリ (MB) のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのロック待機数**

Linux 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Linux の "1 秒あたりのロック待機数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作されたファントム期限切れ間近の行数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Linux の "1 秒あたりに操作されたファントム期限切れ間近の行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Read Bytes per Second (1 秒あたりの読み取りバイト数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Read Bytes per Second" (1 秒あたりの読み取りバイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 未解決のマージ要求数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Linux の "未解決のマージ要求数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Dropped Messages Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Dropped Messages Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Bytes/Read (読み取りあたりの平均バイト数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Bytes/Read" (読み取りあたりの平均バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P7 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P7 送信数" (Message Fragment P7 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた TransmissionQ メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた TransmissionQ メッセージ数" (Enqueued TransmissionQ Msgs/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作された仮削除行の数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりに操作された仮削除行の数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Message Bytes per Second (1 秒あたりの転送メッセージ バイト数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Message Bytes per Second" (1 秒あたりの転送メッセージ バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたローカル メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたローカル メッセージ数" (Enqueued Local Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P8 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P8 メッセージ数" (Enqueued P8 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数 (リンク解除のマークが付いたもの)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりの処理行数 (リンク解除のマークが付いたもの)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: インストールされたマージ数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Linux の "インストールされたマージ数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P3 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P3 送信数" (Message Fragment P3 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのセーブ ポイント ロールバック数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりのセーブ ポイント ロールバック数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Send I/O Len Average (平均送信 I/O 長)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Send I/O Len Average" (平均送信 I/O 長) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P10 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P10 メッセージ数" (Enqueued P10 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O 数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O 数" (Receive I/Os/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 発行されたレート オブジェクトの合計数**

XTP IO レート ガバナーについて、Linux の "発行されたレート オブジェクトの合計数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのデキューされた TransmissionQ メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのデキューされた TransmissionQ メッセージ数" (Broker Statistics: Dequeued TransmissionQ Messages per Second) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのデッドロック数**

Linux 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Linux の "1 秒あたりのデッドロック数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのセーブ ポイント更新数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりのセーブ ポイント更新数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: 1 秒あたりの読み取り数**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: 1 秒あたりの読み取り数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル削除数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりのカーソル削除数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたトランスポート メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Enqueued Transport Msgs/sec" (1 秒あたりのエンキューされたトランスポート メッセージ数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Receive I/O Len Average (平均受信 I/O 長)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Receive I/O Len Average" (平均受信 I/O 長) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P2 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P2 送信数" (Message Fragment P2 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 送信 I/O の現在のバイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 送信 I/O の現在のバイト数" (Current Bytes for Send I/O) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P5 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P5 メッセージ数" (Enqueued P5 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに準備された読み取り専用トランザクション数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりに準備された読み取り専用トランザクション数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: 1 秒あたりの書き込み数**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: 1 秒あたりの書き込み数" (Writes per Second) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 完了したコア マージ数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Linux の "完了したコア マージ数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: マージされたファイルの合計数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Linux の "マージされたファイルの合計数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのメイン GC 作業項目数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりのメイン GC 作業項目数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク制限到達回数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク制限到達回数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: エンキューされたトランスポート メッセージの合計数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: エンキューされたトランスポート メッセージの合計数" (Enqueued Transport Msgs Total) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Broker Transaction Rollbacks**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Broker Transaction Rollbacks" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク中断回数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク中断回数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのロック タイムアウト数**

Linux 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Linux の "1 秒あたりのロック タイムアウト数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Read (読み取り 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Read" (読み取り 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Activation Errors Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Activation Errors Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P1 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P1 メッセージ数" (Enqueued P1 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P5 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P5 送信数" (Message Fragment P5 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: エンキューされたローカル メッセージの合計数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: エンキューされたローカル メッセージの合計数" (Enqueued Local Messages Total) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのログ書き込みレコード数**

SQL Server の XTP トランザクション ロギングについて、Linux の "1 秒あたりのログ書き込みレコード数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P4 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P4 メッセージ数" (Enqueued P4 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: SQL Send Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: SQL Send Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Write (書き込み 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Write" (書き込み 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数 (最初にバケットに存在したもの)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりの処理行数 (最初にバケットに存在したもの)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたトランスポート メッセージ フラグメント数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたトランスポート メッセージ フラグメント数" (Enqueued Transport Msg Frags/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの SQL の再コンパイル数**

Linux 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Linux の "1 秒あたりの SQL の再コンパイル数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (GC による)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (GC による)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのトランザクション中断数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりのトランザクション中断数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: クレジット スロットの不足数**

XTP IO レート ガバナーについて、Linux の "クレジット スロットの不足数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたメッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたメッセージ数" (Enqueued Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのログ書き込みバイト数**

SQL Server の XTP トランザクション ロギングについて、Linux の "1 秒あたりのログ書き込みバイト数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの並列 GC 作業項目数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりの並列 GC 作業項目数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 完了したチェックポイント数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Linux の "完了したチェックポイント数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: HTTP Storage I/O Retry per Second (1 秒あたりの HTTP ストレージ I/O 再試行回数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: HTTP Storage I/O Retry per Second" (1 秒あたりの HTTP ストレージ I/O 再試行回数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: Tasks Running**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: Tasks Running" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Current Message Fragments for Send I/O (送信 I/O の現在のメッセージ フラグメント数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Current Message Fragments for Send I/O" (送信 I/O の現在のメッセージ フラグメント数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: タスク制限到達**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: タスク制限到達" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Pending Bytes for Send I/O**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Pending Bytes for Send I/O" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 破棄されたマージ数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Linux の "破棄されたマージ数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P8 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P8 送信数" (Message Fragment P8 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに削除された期限切れの行数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりに削除された期限切れの行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりにユーザーにより中断されたトランザクションの数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりにユーザーにより中断されたトランザクションの数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりの処理行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのトランザクション数合計**

Linux 上の SQL DB エンジンの各インスタンスの、データベース パフォーマンス オブジェクトの \_Total インスタンスについて、Linux の "1 秒あたりのトランザクション数合計" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの削除されたファントム期限切れの行数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Linux の "1 秒あたりの削除されたファントム期限切れの行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 開いている接続の数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 開いている接続の数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Messages Discarded per Second (1 秒あたりの転送メッセージ破棄数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Messages Discarded per Second" (1 秒あたりの転送メッセージ破棄数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Write Bytes per Second (1 秒あたりの書き込みバイト数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Write Bytes per Second" (1 秒あたりの書き込みバイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Total Bytes per Second (1 秒あたりの合計バイト数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Total Bytes per Second" (1 秒あたりの合計バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P3 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P3 メッセージ数" (Enqueued P3 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Pending Message Count (転送済み保留メッセージ数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Pending Message Count" (転送済み保留メッセージ数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作されたスウィープ行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりに操作されたスウィープ行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: SQL Receive Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: SQL Receive Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント送信数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Corrupted Messages Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Corrupted Messages Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P6 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P6 メッセージ数" (Enqueued P6 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Messages per Second (1 秒あたりの転送メッセージ数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Message per Second" (1 秒あたりの転送メッセージ数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Bytes/Write (書き込みあたりの平均バイト数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Bytes/Write" (書き込みあたりの平均バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Pending Bytes for Receive I/O (受信 I/O の保留中バイト数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Pending Bytes for Receive I/O" (受信 I/O の保留中バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作されたスウィープ期限切れの行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりに操作されたスウィープ期限切れの行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作された行数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりに操作された行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの操作されたファントム期限切れの行数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Linux の "1 秒あたりの操作されたファントム期限切れの行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに作成されたセープ ポイント数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりに作成されたセープ ポイント数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに削除されたスウィープ期限切れの行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりに削除されたスウィープ期限切れの行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Pending Message Bytes (転送済み保留メッセージ バイト数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Pending Message Bytes" (転送済み保留メッセージ バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: エンキューされたトランスポート メッセージ フラグメント合計数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: エンキューされたトランスポート メッセージ フラグメント合計数" (Enqueued Transport Msg Frag Tot) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P7 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P7 メッセージ数" (Enqueued P7 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: マージ ポリシー評価数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Linux の "マージ ポリシー評価数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P4 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P4 送信数" (Message Fragment P4 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: 1 秒間に呼び出されたストアド プロシージャ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: 1 秒間に呼び出されたストアド プロシージャ数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル ユニーク違反数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりのカーソル ユニーク違反数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの SQL のコンパイル数**

Linux 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Linux の "1 秒あたりの SQL のコンパイル数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル挿入数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりのカーソル挿入数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジンのページの予測保持期間 (秒)**

Linux 上の SQL DB エンジンのページの予測保持期間 (秒) のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの検証に失敗したトランザクション数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりの検証に失敗したトランザクション数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに開始されたスウィープ スキャン数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりに開始されたスウィープ スキャン数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりの SQL SEND 数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりの SQL SEND 数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの古いレート オブジェクトの待機数**

XTP IO レート ガバナーについて、Linux の "1 秒あたりの古いレート オブジェクトの待機数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作された、スウィープ期限切れ間近の行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりに操作された、スウィープ期限切れ間近の行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P1 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P1 送信数" (Message Fragment P1 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: バッファー キャッシュ ヒット率**

Linux 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Linux の "バッファー キャッシュ ヒット率" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数 (最初にバケットに存在し、削除されたもの)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりの処理行数 (最初にバケットに存在し、削除されたもの)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジンの平均待機時間 (ミリ秒)**

Linux 上の SQL DB エンジンの平均待機時間のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: HTTP Storage I/O Failed per Second (1 秒あたりの HTTP ストレージ I/O 失敗回数)**

監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: HTTP Storage I/O Failed per Second" (1 秒あたりの HTTP ストレージ I/O 失敗回数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの発行された IO 数**

XTP IO レート ガバナーについて、Linux の "1 秒あたりの発行された IO 数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりの SQL RECEIVE 数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりの SQL RECEIVE 数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: 未解決 HTTP ストレージ I/O**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: 未解決 HTTP ストレージ I/O" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル更新数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりのカーソル更新数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Pending Message Fragments for Send I/O (送信 I/O の保留メッセージ フラグメント数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Pending Message Fragments for Send I/O" (送信 I/O の保留メッセージ フラグメント数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのカスケード中断の数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりのカスケード中断の数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 閉じられたチェックポイント数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Linux の "閉じられたチェックポイント数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P10 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P10 送信数" (Message Fragment P10 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: SQL ユーザー接続**

SQL Server に現在接続しているユーザー数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数 (スウィープが不要なもの)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Linux の "1 秒あたりの処理行数 (スウィープが不要なもの)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 受信 I/O バッファー コピー回数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 受信 I/O バッファー コピー回数" (Recv I/O Buffer Copies Count) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P2 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P2 メッセージ数" (Enqueued P2 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O バッファー コピー バイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O バッファー コピー バイト数" (Recv I/O Buffer Copies bytes/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Message Byte Total (合計転送メッセージ バイト数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Message Byte Total" (合計転送メッセージ バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Message Fragment Send Size Average (平均メッセージ フラグメント送信サイズ)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Message Fragment Send Size Average" (平均メッセージ フラグメント送信サイズ) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P9 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P9 メッセージ数" (Enqueued P9 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりの取得されたコミット依存関係の数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Linux の "1 秒あたりの取得されたコミット依存関係の数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのロック要求数**

Linux 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Linux の "1 秒あたりのロック要求数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Dialog Timer Event Count**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Dialog Timer Event Count" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (ユーザーによる)**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (ユーザーによる)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 1 秒あたりに返された行数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Linux の "1 秒あたりに返された行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Transfer (転送 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Transfer" (転送 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク開始回数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク開始回数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P9 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P9 送信数" (Message Fragment P9 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Messages Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Messages Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン - タスク**

**グローバル構成設定**

グローバル構成設定。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB エンジン - コンソール タスク**

**SQL Management Studio**

**SQL Profiler**

**Linux 上の MSSQL: DB ファイル**

Linux 上の Microsoft SQL Server データベース ファイル。

**Linux 上の MSSQL: DB ファイル - 検出**

**Linux 上の MSSQL: SQL Server DB ファイルの検出**

このルールは、Linux 上の各 SQL Server データベースのファイル情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ファイル - ユニット モニター**

**DB ファイルの残り空き領域**

モニターは、空き領域 (割り当て済みの領域と、メディア上の空き領域の両方を含む) が警告しきい値の設定を下回った場合に警告を報告します。このしきい値は、データ サイズとディスクの空き領域の合計に対する割合で表されます。このモニターは、空き領域が重大しきい値を下回った場合に重大アラートを報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | モニターは、値がこのしきい値を下回ると状態を警告に変更します。 | 20 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ファイル - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: DB ファイルの空き領域の合計 (MB)**

ファイル内の残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB File Allocated Free Space (%) (DB ファイル割り当て済み空き領域 (%))**

ファイル内の残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB File Allocated Free Space (MB) (DB ファイル割り当て済み空き領域 (MB))**

ファイル内の残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ファイルの空き領域の合計 (%)**

ファイル内の残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ファイル グループ**

Linux 上の Microsoft SQL Server データベース ファイル グループ。

**Linux 上の MSSQL: DB ファイル グループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: SQL Server DB ファイル グループの検出**

このルールは、Linux 上の各 SQL Server データベースのファイル グループ情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ファイル グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**DB ファイルのパフォーマンス**

すべての DB ファイル パフォーマンス モニターを DB ファイル グループにロールアップします。

**DB ファイルの可用性**

すべての DB ファイル可用性モニターを DB ファイル グループにロールアップします。

**DB ファイルの構成**

すべての DB ファイル構成モニターを DB ファイル グループにロールアップします。

**DB ファイルのセキュリティ**

すべての DB ファイル セキュリティ モニターを DB ファイル グループにロールアップします。

**Linux 上の MSSQL: DB FILESTREAM ファイル グループ**

Linux 上の Microsoft SQL Server FILESTREAM ファイル グループ。

**Linux 上の MSSQL: DB FILESTREAM ファイル グループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: FILESTREAM ファイル グループの検出**

このルールは、Linux 上の各 SQL Server データベースの DB FILESTREAM ファイル グループ情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ログ ファイル**

Linux 上の Microsoft SQL Server データベース トランザクション ログ ファイル。

**Linux 上の MSSQL: DB ログ ファイル - 検出**

**Linux 上の MSSQL: SQL Server トランザクション ログ ファイルの検出**

このルールは、Linux 上の各 SQL Server データベースのトランザクション ログ ファイルを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ログ ファイル - ユニット モニター**

**DB ログ ファイルの残り空き領域**

モニターは、空き領域 (割り当て済みの領域と、メディア上の空き領域の両方を含む) が警告しきい値の設定を下回った場合に警告を報告します。このしきい値は、データ サイズとディスクの空き領域の合計に対する割合で表されます。このモニターは、空き領域が重大しきい値を下回った場合に重大アラートを報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | モニターは、値がこのしきい値を下回ると状態を警告に変更します。 | 20 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ログ ファイル - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: DB Log File Allocated Free Space (%) (DB ログ ファイル割り当て済み空き領域 (%))**

このデータベースのすべてのログ ファイルに対する、残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB Log File Allocated Free Space (MB) (DB ログ ファイル割り当て済み空き領域 (MB))**

このデータベースのすべてのログ ファイルに対する、残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ログ ファイルの空き領域の合計 (MB)**

このデータベースのすべてのログ ファイルに対する、残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB ログ ファイルの空き領域の合計 (%)**

このデータベースのすべてのログ ファイルに対する、残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ コンテナー**

Linux 上の Microsoft SQL Server データベース メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナー。

**Linux 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ コンテナー - 検出**

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーの検出**

このルールは、Linux 上の各 SQL Server データベースのコンテナー情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ コンテナー - ユニット モニター**

**メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーの空き領域**

このモニターは、メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーの使用可能なディスク領域が警告のしきい値設定 (メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーのサイズとディスクの空き領域の合計に対する割合で表される) を下回るときに、警告を出します。このモニターは、空き領域が重大しきい値を下回った場合に重大アラートを報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を重大に変更します。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を警告に変更します。 | 20 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ コンテナー - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナー空き領域 (%)**

メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーの使用可能な空き領域の量を収集し、ディスクの空き領域とメモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーに保存されるデータのサイズの合計に対する割合で表します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナー空き領域 (MB)**

メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーで使用可能な空き領域の量を収集します (メガバイト単位)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ**

Linux 上の Microsoft SQL Server データベース メモリ最適化データ ファイル グループ。

**Linux 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ ファイル グループの検出**

このルールは、Linux 上の各 SQL Server データベースのメモリ最適化データ ファイル グループ情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ - ユニット モニター**

**ハッシュ バケット内の行チェーンの平均の長さ**

このモニターは、SQL データベース内ハッシュ インデックスの空のバケット数と行チェーンの平均の長さを確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 平均チェーン長しきい値 | ハッシュ バケット内の行チェーンの平均の長さを示す平均チェーン長のしきい値。 | 100 | | 表示インデックス数 | ベスト プラクティスに従って構成されていないインデックスの表示数。 | 5 | | 空のバケットの割合しきい値 | ハッシュ インデックス内の空のバケットの数を示す空のバケットの割合のしきい値です。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**XTP 構成**

このモニターは、SQL データベース XTP 構成の状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**メモリ最適化データの古いチェックポイント ファイル ペア率**

メモリ最適化データ ファイル グループの古いチェックポイント ファイル ペアの比率が指定されたしきい値を上回った場合、モニターは警告状態を報告し、アラートをトリガーします。  
アラートは、対応するデータベースがかなり大きい (合計で 300 以上のチェックポイント ファイル) 場合にのみ生成されますのでご注意ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | チェックポイント ファイル ペアのしきい値 | チェックポイント ファイル ペアの合計数がチェックポイント ファイル ペアのしきい値以上の場合、アラートが生成されます。 | 300 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された比率はこのパラメーターと比較されます。 | 60 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ハッシュ インデックス内の空のバケットの割合**

このモニターは、SQL データベースのハッシュ インデックスの空のバケット数を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 表示インデックス数 | ベスト プラクティスに従って構成されていないインデックスの表示数。 | 5 | | 空のバケットの割合しきい値 | ハッシュ インデックス内の空のバケットの数を示す空のバケットの割合のしきい値です。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**コンテナーのセキュリティ**

すべてのコンテナー セキュリティ モニターを DB メモリ最適化データ ファイル グループにロールアップします。

**コンテナーのパフォーマンス**

すべてのコンテナー パフォーマンス モニターを DB メモリ最適化データ ファイル グループにロールアップします。

**コンテナーの可用性**

すべてのコンテナー可用性モニターを DB メモリ最適化データ ファイル グループにロールアップします。

**コンテナーの構成**

すべてのコンテナー構成モニターを DB メモリ最適化データ ファイル グループにロールアップします。

**Linux 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: 使用された XTP メモリ (KB)**

メモリ最適化テーブルが含まれる SQL データベースについて、Linux の "使用された XTP メモリ (KB)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ログの切り捨て処理を待機するチェックポイント ファイル ペア**

メモリ最適化データ ファイル グループのログの切り捨てを待機中のチェックポイント ファイルの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: インデックスによって使用されているメモリ (MB)**

Linux 上の指定された SQL Server データベースのメモリ最適化テーブルで定義されたインデックスに割り当てられたメモリ量を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 事前に作成されたチェックポイント ファイル**

メモリ最適化データ ファイル グループの事前作成されたチェックポイント ファイルの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XTP コントローラーの DLC 待機時間/フェッチ**

メモリ最適化テーブルが含まれる SQL データベースについて、Linux の "XTP コントローラーの DLC 待機時間/フェッチ" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: アクティブ チェックポイント ファイル ペア**

メモリ最適化データ ファイル グループのアクティブ チェックポイント ファイル ペアの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: マージ ターゲット チェックポイント ファイル ペア**

メモリ最適化データ ファイル グループのマージ ターゲット チェックポイント ファイル ペアの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XTP コントローラーの DLC ピーク待機時間**

メモリ最適化テーブルが含まれる SQL データベースについて、Linux の "XTP コントローラーの DLC ピーク待機時間" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 作成中のチェックポイント ファイル ペア**

メモリ最適化データ ファイル グループの作成中のチェックポイント ファイル ペアの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: テーブルによって使用されているメモリ (MB)**

Linux 上の指定された SQL Server データベースのメモリ最適化テーブルに割り当てられたメモリ量を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: XTP コントローラーの処理ログ数/秒**

メモリ最適化テーブルが含まれる SQL データベースについて、Linux の "XTP コントローラーの処理ログ数/秒" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 既定のリソース プール**

Linux 上の Microsoft SQL Server の既定のリソース プール。

**Linux 上の MSSQL: 既定のリソース プール - 検出**

**Linux 上の MSSQL: データベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、SQL Server DB エンジンの特定のインスタンスに対するすべてのリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | メモリ最適化データのないプールは無視します | "True" または "False" を指定する必要があります。このプロパティを true に設定すると、検出はバインドされたデータベースのあるプールのみを検出します。データベースは、sys.sp\_xtp\_bind\_db\_resource\_pool 関数を使ってプールにバインドできます。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ リソースを管理するデータベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、対象の SQL Server データベースのメモリ最適化データ リソースおよびリソース プールとデータベースの間の関係を管理するリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: Linux 可用性レプリカのグループ**

Linux 可用性レプリカのグループです。

**Linux 上の MSSQL: Linux 可用性レプリカのグループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: Linux 可用性レプリカのグループの設定**

Linux 可用性レプリカのグループを設定します。

**Linux 上の MSSQL: Linux データベース レプリカのグループ**

Linux データベース レプリカのグループです。

**Linux 上の MSSQL: Linux データベース レプリカのグループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: Linux データベース レプリカのグループの設定**

Linux データベース レプリカのグループを設定します。

**Linux 上の MSSQL: 内部リソース プール**

Linux 上の Microsoft SQL Server の内部リソース プール。

**Linux 上の MSSQL: 内部リソース プール - 検出**

**Linux 上の MSSQL: データベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、SQL Server DB エンジンの特定のインスタンスに対するすべてのリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | メモリ最適化データのないプールは無視します | "True" または "False" を指定する必要があります。このプロパティを true に設定すると、検出はバインドされたデータベースのあるプールのみを検出します。データベースは、sys.sp\_xtp\_bind\_db\_resource\_pool 関数を使ってプールにバインドできます。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ リソース プール グループ**

Linux 上の SQL Server メモリ最適化データ リソース プール グループには、Linux 上のメモリ最適化データ リソースを管理するすべての SQL Server リソース プールが含まれています。

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ リソース プール グループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: SQL Server メモリ最適化データ リソース プール グループ検出**

SQL Server メモリ最適化データ リソース プール グループの検出。

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ スコープ グループ**

Linux 上の SQL Server メモリ最適化データ スコープ グループには、Linux 上のメモリ最適化データ ファイル グループ、コンテナー、リソース プールなどの、すべての SQL Server メモリ最適化データ オブジェクトが含まれます。

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ スコープ グループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ スコープ グループ検出**

Linux 上の SQL Server メモリ最適化データ スコープ グループの検出。

**Linux 上の MSSQL: 監視プール アラート コレクション**

Linux 上の Microsoft SQL Server の監視プール アラート コレクション。このオブジェクトは、SQL Server 監視プールのメンバーであるノードのイベント ログから Linux モジュールのエラーと警告を収集するために使用されます。

**Linux 上の MSSQL: 監視プール アラート コレクション - 検出**

**Linux 上の MSSQL: SQL Server 監視プール アラート コレクションの検出**

このルールは、Linux 上の MSSQL の監視プール アラート コレクションを検出します。このオブジェクトは、SQL Server 監視プールのメンバーであるノードのイベント ログからモジュールのエラーと警告を収集するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 監視プール アラート コレクション - ルール (アラート)**

**Linux 上の MSSQL: 監視の警告**

このルールでは監視ワークフローの警告を追跡し、警告アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 監視のエラー**

このルールでは監視ワークフローのエラーを追跡し、エラー アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 検出の警告**

このルールでは検出ワークフローの警告を追跡し、警告アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 検出のエラー**

このルールでは検出ワークフローのエラーを追跡し、エラー アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: リソース プール**

Linux 上の Microsoft SQL Server リソース プール抽象クラス。

**Linux 上の MSSQL: リソースプール - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: キャッシュ メモリの現在のメモリ ターゲット (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Cache memory target (KB)" (キャッシュ メモリ ターゲット (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: リソース プールでメモリ許可を待機しているクエリの数。**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Pending memory grants count" (保留中のメモリ許可数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: リソース プールで許可されたメモリの合計数 (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Active memory grants count" (アクティブ メモリ許可の数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: リソース プールでのクエリ メモリ許可の数**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Active Memory grant amount (KB)" (アクティブ メモリ許可の数 (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: リソース プールで発生している 1 秒あたりのクエリ メモリ許可の数**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Memory grants/sec" (メモリ許可/秒) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: リソース プールで発生している 1 秒あたりのクエリ メモリ許可タイムアウトの数**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Memory grant timeouts/sec" (メモリ許可タイムアウト/秒) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 設定とサーバーの状態に基づいて、リソース プールに設定できる最大メモリ量 (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Max memory (KB)" (最大メモリ (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: リソース プールで使用されているメモリ量 (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Used memory (KB)" (使用されているメモリ (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: クエリ コンパイルの現在のメモリ ターゲット (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Compile Memory Target (KB)" (コンパイル メモリ ターゲット (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: 設定とサーバーの状態に基づいてリソース プールで取得しようとしている目標メモリ量 (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Target memory (KB)" (ターゲット メモリ (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: クエリ実行メモリ許可の現在のメモリ ターゲット (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Linux の "Query exec memory target (KB)" (クエリ実行メモリ ターゲット (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ユーザー リソース プール**

Linux 上の Microsoft SQL Server ユーザー リソース プールの抽象クラス。

**Linux 上の MSSQL: ユーザー リソース プール - ユニット モニター**

**リソース プールのメモリ消費量**

このモニターは、リソース プールによって使用されるメモリ量がしきい値の設定を上回る場合、重大な状態を報告し、アラートを生成します。しきい値は、指定されたリソース プールのメモリ最適化データ テーブルで使用可能なメモリの割合で表されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 90 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ユーザー リソースプール - ルール (非アラート)**

**Linux 上の MSSQL: ユーザー リソース プールのメモリ消費量 (%)**

リソース プールで使用されるメモリ量を収集します。これは、指定されたリソース プールのメモリ最適化データ テーブルで使用可能なメモリの割合で表されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ユーザー リソース プールのメモリ消費量 (MB)**

リソース プールで使用されるメモリ量を収集します (メガバイト単位)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: ユーザー定義のリソース プール**

Linux 上の Microsoft SQL Server ユーザー定義のリソース プール。

**Linux 上の MSSQL: ユーザー定義のリソース プール - 検出**

**Linux 上の MSSQL: データベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、SQL Server DB エンジンの特定のインスタンスに対するすべてのリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | メモリ最適化データのないプールは無視します | "True" または "False" を指定する必要があります。このプロパティを true に設定すると、検出はバインドされたデータベースのあるプールのみを検出します。データベースは、sys.sp\_xtp\_bind\_db\_resource\_pool 関数を使ってプールにバインドできます。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Linux 上の MSSQL: メモリ最適化データ リソースを管理するデータベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、対象の SQL Server データベースのメモリ最適化データ リソースおよびリソース プールとデータベースの間の関係を管理するリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**SQL Server 可用性グループ**

このオブジェクトは、可用性グループ SMO オブジェクトを表しており、識別と監視に必要なすべてのプロパティを含みます。

**SQL Server 可用性グループ - 検出**

**Linux 上の MSSQL: 汎用 Always On 検出**

この検出を使用する目的は、どのインスタンスで Always On を有効にするかを定義することです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**SQL Server 可用性グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**可用性グループ オンライン (Linux ロールアップ)**

このモニターは、可用性グループの状態がオンラインかオフラインかを調べます。モニターが異常状態となってアラートが生成されるのは、可用性グループのクラスター リソースがオフラインであるか、可用性グループにプライマリ レプリカがない場合です。モニター状態が正常となるのは、可用性グループのクラスター リソースがオンラインであり、かつ可用性グループにプライマリ レプリカがある場合です。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**可用性グループ自動フェールオーバー (Linux ロールアップ)**

このモニターは、可用性グループの中にフェールオーバーの準備ができたセカンダリ レプリカが 1 つ以上あるかどうかを調べます。モニターが異常となってアラートが登録されるのは、プライマリ レプリカのフェールオーバー モードが自動であるにもかかわらず、可用性グループのセカンダリ レプリカがいずれも自動フェールオーバーの準備ができていないときです。モニターが正常になるのは、自動フェールオーバーの準備ができているセカンダリ レプリカが 1 つ以上あるときです。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**可用性グループ拡張ヘルス状態 (Linux ロールアップ)**

これは、すべての拡張ヘルス モニターに対するロールアップ モニターです。拡張ヘルス モニターは、Linux 上の SQL サーバー インスタンス内の既存のヘルス ポリシーを検出することによって自動的に生成されます。

**可用性レプリカ データ同期 (Linux ロールアップ)**

このモニターは、すべての可用性レプリカのデータ同期状態をロールアップし、期待される同期状態にない可用性レプリカがあるかどうかを調べます。モニターが異常になるのは、SYNCHRONIZING 状態ではない非同期レプリカが 1 つ以上あり、SYNCHRONIZED 状態ではない同期レプリカが 1 つ以上あるときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**可用性レプリカ接続 (Linux ロールアップ)**

このモニターは、すべての可用性レプリカの接続状態をロールアップし、DISCONNECTED の可用性レプリカがあるかどうかを調べます。モニターが異常となるのは、DISCONNECTED の可用性レプリカが 1 つ以上あるときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**可用性レプリカ ロール (Linux ロールアップ)**

このモニターは、すべての可用性レプリカのロールの状態をロールアップし、正常ロールではない可用性レプリカがあるかどうかを調べます。モニターが異常となるのは、プライマリでもセカンダリでもない可用性レプリカが 1 つ以上あるときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**同期レプリカ データ同期 (Linux ロールアップ)**

このモニターは、すべての可用性レプリカのデータ同期状態をロールアップし、期待される同期状態にない可用性レプリカがあるかどうかを調べます。モニターが異常になるのは、SYNCHRONIZING 状態ではない非同期レプリカが 1 つ以上あり、SYNCHRONIZED 状態ではない同期レプリカが 1 つ以上あるときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**Windows 上の MSSQL: エージェント**

Windows 上の Microsoft SQL Server データベース エンジンの一部として実行される SQL Server エージェント コンポーネント。

**Windows 上の MSSQL: エージェント - 検出**

**Windows 上の MSSQL: データベース エンジンの SQL Server エージェントの検出**

このルールは、Windows 上の SQL Server DB エンジンのインスタンスの SQL Server エージェントを検出します。各 DB エンジン インスタンスが持つ SQL Server エージェント インスタンスは 1 つのみです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: エージェント - ユニット モニター**

**SQL Server エージェント サービス**

このモニターは、この SQL Server インスタンスの SQL エージェント サービスの状態を確認します。  
SQL Server エージェントの Windows サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | サービスのスタートアップの種類が [自動] の場合にのみ警告 | この値は、'true' または 'false' にのみ設定できます。 'false' に設定されていると、設定されているスタートアップの種類に関係なく警告が発生します。 既定値は 'true' です。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**長時間実行ジョブ**

このモニターは、SQL Server の長時間実行エージェント ジョブを確認します。  
SQL Server エージェント サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。検出される適切なオブジェクトは存在しません。このモニターは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 重大しきい値 (分) | 値がこのしきい値を超える場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 120 | | Included continuously executed jobs (継続的に実行したジョブを含める) | 一部の SQL エージェント ジョブは、無期限に (エージェントが停止するまで) 実行する場合があります。通常、そのようなジョブのスケジュールの種類は "SQL Server エージェントの開始時に自動的に開始" です。たとえば、SQL Server レプリケーションはそのようなジョブをよく使います。これらのジョブは誤ったアラートになり、既定ではモニターはこれらを考慮しません。ただし、例外的にそのようなジョブの実行時間が短い場合があります。そのようなジョブを監視するには、ジョブの名前のコンマ区切りリストを定義する必要があります。 |  | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 (分) | 警告しきい値。このしきい値を超えると、モニターが少なくとも警告状態に変わります。 | 60 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: エージェント - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**エージェント ジョブの構成**

すべてのエージェント ジョブ構成モニターを SQL Server エージェントにロールアップします。

**エージェント ジョブのセキュリティ**

すべてのエージェント ジョブ セキュリティ モニターを SQL Server エージェントにロールアップします。

**エージェント ジョブの可用性**

すべてのエージェント ジョブ可用性モニターを SQL Server エージェントにロールアップします。

**エージェント ジョブのパフォーマンス**

すべてのエージェント ジョブ パフォーマンス モニターを SQL Server エージェントにロールアップします。

**Windows 上の MSSQL: エージェント - ルール (アラート)**

**Windows 上の MSSQL: サブシステムを読み込めなかったため、ジョブ ステップを実行できません**

SQL Server エージェント サブシステムが読み込みに失敗したため、SQL Server ジョブを実行できませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | プロキシの許可 | ComputerName パラメーターで指定されているコンピューターからのものではないイベントをモジュールが収集する必要があるかどうかを指定します。 | オプション | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ジョブのステップにより、サブシステムで例外が発生しました**

特定のジョブ ステップにより、SQL Server エージェントが Windows アプリケーション ログにエラーを書き込みました。ログに特定のジョブおよびジョブ ステップが示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | プロキシの許可 | ComputerName パラメーターで指定されているコンピューターからのものではないイベントをモジュールが収集する必要があるかどうかを指定します。 | オプション | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server エージェントが SQL Server に接続できません**

SQL Server エージェント サービスが、SQL Server のインスタンスに接続できませんでした。SQL Server エージェント サービス アカウントが SQL Server の有効なログインを持っていない場合に、このエラーが発生することがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | プロキシの許可 | ComputerName パラメーターで指定されているコンピューターからのものではないイベントをモジュールが収集する必要があるかどうかを指定します。 | オプション | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server エージェントは自動終了処理を開始しています**

SQL Server エージェントが SQL Server エージェント サービスをシャットダウンしました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | プロキシの許可 | ComputerName パラメーターで指定されているコンピューターからのものではないイベントをモジュールが収集する必要があるかどうかを指定します。 | オプション | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL ジョブは、正常に完了できませんでした**

SQL Server エージェント ジョブが失敗しました。SQL Server エージェントでは、特定の時刻または間隔で実行されるようにスケジュールされた SQL Server タスクを実行したり、対処用のアクション (ポケベルまたは電子メールでだれかに警告するなど) またはタスクが管理者によって定義された特定の状況が検出されます。また、SQL Server エージェントは、管理者によって定義されたレプリケーション タスクの実行にも使用されます。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | プロキシの許可 | ComputerName パラメーターで指定されているコンピューターからのものではないイベントをモジュールが収集する必要があるかどうかを指定します。 | オプション | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server エージェントを開始できませんでした**

プロセスまたはユーザーが SQL Server エージェント サービスを開始しようとしましたが、開始されませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | プロキシの許可 | ComputerName パラメーターで指定されているコンピューターからのものではないイベントをモジュールが収集する必要があるかどうかを指定します。 | オプション | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ローカル イベント ログを開き直すことができません**

SQL Server エージェントがローカル イベント ログを開くことができませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | プロキシの許可 | ComputerName パラメーターで指定されているコンピューターからのものではないイベントをモジュールが収集する必要があるかどうかを指定します。 | オプション | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: エージェントに異常があります。この数分間応答がありません**

この動作は、SQL Server Enterprise Manager がレプリケーション エージェントにポーリングしたときに、レプリケーション エージェントがビジー状態で応答できないために発生します。これにより、SQL Server Enterprise Manager はレプリケーション エージェントの状態を検出できず、レプリケーション エージェントが機能しているかどうかを報告できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | プロキシの許可 | ComputerName パラメーターで指定されているコンピューターからのものではないイベントをモジュールが収集する必要があるかどうかを指定します。 | オプション | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 復旧不可能なローカル イベント ログのエラーにより、警告エンジンが停止しました**

SQL Server エージェントがローカル イベント ログを開くことができませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | プロキシの許可 | ComputerName パラメーターで指定されているコンピューターからのものではないイベントをモジュールが収集する必要があるかどうかを指定します。 | オプション | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: エージェント ジョブ**

Windows 上のすべての Microsoft SQL Server エージェント ジョブ。

**Windows 上の MSSQL: エージェント ジョブ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: SQL Server エージェント ジョブの検出**

このルールは、Windows 上のすべての SQL Server エージェント ジョブを検出します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: エージェント ジョブ - ユニット モニター**

**最終実行状態**

Windows 上の SQL エージェント ジョブの最終実行状態モニター。SQL エージェント ジョブの最終実行状態を監視します。  
SQL Server エージェントの Windows サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。検出される適切なオブジェクトは存在しません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ジョブ期間**

エージェント ジョブ期間を監視します。  
SQL Server エージェントの Windows サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。検出される適切なオブジェクトは存在しません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 重大しきい値 (分) | 値がこのしきい値を超える場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 120 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 (分) | 警告しきい値。このしきい値を超えると、モニターが少なくとも警告状態に変わります。 | 60 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: すべての SQL Server ファイル グループ グループ**

Windows 上のすべての SQL Server ファイル グループ グループには、データベース ファイル グループ、メモリ最適化データ ファイル グループ、Windows 上の FILESTREAM ファイル グループなど、すべての SQL Server ファイル グループが含まれます。

**Windows 上の MSSQL: すべての SQL Server ファイル グループ グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: すべての SQL Server ファイル グループ グループの検出**

Windows 上のすべての SQL Server ファイル グループ グループの検出。

**Windows 上の MSSQL: すべての SQL Server オブジェクト グループ**

Windows 上の SQL Server のすべての SQL Server オブジェクト グループには、アラートを生成できる SQL Server オブジェクトが含まれます。

**Windows 上の MSSQL: すべての SQL Server オブジェクト グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: すべての SQL Server オブジェクト グループの検出**

Windows 上の MSSQL のすべての SQL Server オブジェクト グループの検出。

**Windows 上の MSSQL: Always On シード**

このオブジェクトは、Windows 上の特定の Microsoft SQL Server のインストールで Always On コンポーネントが有効になっていることを示します。

**Windows 上の MSSQL: Always On シード - 検出**

**Windows 上の MSSQL: Always On シードの検出**

この検出を使用する目的は、どのインスタンスで Always On を有効にするかを定義することです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ重大ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性グループをファセットとして持ち、エラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ重大ポリシー - 検出**

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On 可用性グループに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ重大ポリシー - ユニット モニター**

**可用性グループ ヘルス ポリシー**

"エラー" 重大状態を持つ 2 状態モニター。可用性グループをファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス**

エージェントの正常性を可用性グループ レベルにロールアップするために使用する、非表示オブジェクト。

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス - 検出**

**Windows 上の MSSQL: 汎用 Always On 検出**

この検出を使用する目的は、どのインスタンスで Always On を有効にするかを定義することです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス - ユニット モニター**

**可用性グループ オンライン モニター**

可用性グループ オンライン

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ接続モニター**

可用性レプリカ接続

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ データ同期モニター**

可用性レプリカ データ同期

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性グループ自動フェールオーバー モニター**

可用性グループ自動フェールオーバー

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**同期レプリカ データ同期モニター**

同期レプリカ データ同期

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ ロール モニター**

可用性レプリカ ロール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス - 集計モニター**

**可用性グループ拡張ヘルス状態**

可用性グループ拡張ヘルス集計状態モニター。

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ ヘルス - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**可用性グループ警告ポリシー (ロールアップ)**

このモニターは、カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性グループをファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つものすべてに対するロールアップ モニターです。

**可用性グループ重大ポリシー (ロールアップ)**

このモニターは、カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性グループをファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つものすべてに対するロールアップ モニターです。

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ警告ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性グループをファセットとして持ち、警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ警告ポリシー - 検出**

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On 可用性グループに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ警告ポリシー - ユニット モニター**

**可用性グループ ヘルス ポリシー**

"警告" 重大状態を持つ 2 状態モニター。可用性グループをファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ**

このオブジェクトは、可用性レプリカ SMO オブジェクトを表しており、識別と監視に必要なすべてのプロパティを含みます。

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: 汎用 Always On 検出**

この検出を使用する目的は、どのインスタンスで Always On を有効にするかを定義することです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ - ユニット モニター**

**セキュリティ保護可能なリソースの構成の状態**

このモニターは、Windows での Always On セキュリティ保護可能なリソースへのアクセス構成の状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ ロール**

このモニターは、可用性レプリカのロールの状態を調べます。モニターが異常となるのは、可用性レプリカのロールがプライマリでもセカンダリでもない場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカの参加状態**

このモニターは、可用性レプリカの結合状態を調べます。モニターが異常となるのは、可用性レプリカが可用性グループに追加されているが、適切に結合されていない場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ接続**

このモニターは、可用性レプリカ間の接続状態を調べます。モニターが異常となるのは、可用性レプリカの接続状態が DISCONNECTED のときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性レプリカ データ同期**

このモニターは、可用性レプリカ内のすべてのデータベース レプリカのデータ同期状態をロールアップします。モニターが異常となるのは、期待されるデータ同期状態ではないデータベース レプリカが 1 つ以上ある場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベース レプリカのセキュリティ**

すべてのデータベース レプリカ セキュリティ モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカのパフォーマンス**

すべてのデータベース レプリカ パフォーマンス モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ警告ポリシーの構成**

すべての可用性レプリカ警告ポリシー構成モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ重大ポリシーの構成**

すべての可用性レプリカ重大ポリシー構成モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ重大ポリシーのセキュリティ**

すべての可用性レプリカ重大ポリシー セキュリティ モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ警告ポリシーの可用性**

すべての可用性レプリカ警告ポリシー可用性モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ重大ポリシーの可用性**

すべての可用性レプリカ重大ポリシー可用性モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカの構成**

すべてのデータベース レプリカ構成モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ警告ポリシーのセキュリティ**

すべての可用性レプリカ警告ポリシー セキュリティ モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ警告ポリシーのパフォーマンス**

すべての可用性レプリカ警告ポリシー パフォーマンス モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカの可用性**

すべてのデータベース レプリカ可用性モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**可用性レプリカ重大ポリシーのパフォーマンス**

すべての可用性レプリカ重大ポリシー パフォーマンス モニターを可用性レプリカにロールアップします。

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ - ルール (アラート)**

**Windows 上の MSSQL: 可用性グループ失敗**

このエラーは、可用性レプリカを可用性グループに参加させる試みが失敗すると発生します。  
注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ ロールが変更されました**

このエラーは、可用性レプリカのロールが変更されたときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: レプリカからの受信バイト/秒**

ネットワーク経由でこのレプリカから受信されるバイト数の可用性グループ合計。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: フロー制御/秒**

このレプリカに対して有効化されたフロー制御の 1 秒あたりの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: レプリカからの受信/秒**

このレプリカから受信したメッセージの数の可用性グループ合計。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: トランスポートへの送信/秒**

ネットワークでこのレプリカに送信されるメッセージ数。この数には、このレプリカから送信されるすべてのメッセージ (コントロール メッセージを含む) が含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: レプリカへの送信バイト数/秒**

ネットワーク経由でこのレプリカに送信するためにキューに格納されるデータベース メッセージのバイト数。このバイト数には、可用性グループのすべてのデータベースに対するメッセージが含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: レプリカへの送信/秒**

このレプリカにネットワーク経由で送信するためにキューに格納されたメッセージの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: フロー制御時間 (ミリ秒/秒)**

過去 1 秒間のうち、このレプリカに対してフロー制御が有効になっていた時間の長さ (ミリ秒)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 再送信メッセージ/秒**

レプリカに送信されたメッセージに対して受け取る受信確認の 1 秒あたりの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: トランスポートへの送信バイト数/秒**

レプリカにネットワーク経由で送信されるバイト数の合計。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ - コンソール タスク**

**強制フェールオーバー**

SQLPS コンソールを開き、対象の可用性レプリカにフェールオーバーします。このレプリカが可用性グループの新しいプライマリになります。このタスクでは、-AllowDataLoss パラメーターを使用します。

**SQL Server PowerShell**

SQLPS コンソールを開き、対象の可用性レプリカに接続します。

**手動フェールオーバー**

SQLPS コンソールを開き、対象の可用性レプリカにフェールオーバーします。このレプリカが可用性グループの新しいプライマリになります。

**SQL Server Management Studio**

SQL Server Management Studio を開き、対象の可用性レプリカに接続します。

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ重大ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性レプリカをファセットとして持ち、エラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ重大ポリシー - 検出**

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On 可用性レプリカに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ重大ポリシー - ユニット モニター**

**可用性レプリカ ヘルス ポリシー**

"エラー" 重大状態を持つ 2 状態モニター。可用性レプリカをファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ警告ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、可用性レプリカをファセットとして持ち、警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ警告ポリシー - 検出**

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On 可用性レプリカに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 可用性レプリカ警告ポリシー - ユニット モニター**

**可用性レプリカ ヘルス ポリシー**

"警告" 重大状態を持つ 2 状態モニター。可用性レプリカをファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: カスタム ユーザー ポリシー**

Windows 上の Microsoft SQL Server カスタム ユーザー ポリシー オブジェクト。

**Windows 上の MSSQL: カスタム ユーザー ポリシー - 検出**

**Windows 上の MSSQL: データベース カスタム ユーザー ポリシーの検出**

このルールは、Windows 上の SQL Server データベースのカスタム ユーザー ポリシーを検出します。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース**

Windows 上の Microsoft SQL Server データベース。

**Windows 上の MSSQL: データベース - 検出**

**Windows 上の MSSQL: データベース エンジンの SQL Server データベースの検出**

このルールは、Windows 上の SQL Server DB エンジンの特定のインスタンスに対して実行されているすべてのデータベースを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース - ユニット モニター**

**DB ディスク読み取り遅延**

データベース ファイルをホストするすべての論理ディスクからのディスク読み取り遅延を監視します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を超える場合、モニターは状態を重大に変更します。 | 40 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**ページ確認構成**

データベースのページ確認設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | CHECKSUM | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**DB 空き領域比率の変化**

多くのサンプル期間中、データベースの空き領域に大きな減少があるかどうかを監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を超える場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 45 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 5 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | 警告しきい値 | 警告しきい値。このしきい値を超えると、モニターが少なくとも警告状態に変わります。 | 25 | |  |
|  |  |  |

**DB 残り空き領域**

データベースと、データベースをホストしているメディアで、利用可能な空き領域の割合を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、有効にしてください。このモニターでは、FILESTREAM およびメモリ最適化データ ファイル グループの空き領域はカウントしません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | 警告しきい値 | モニターは、値がこのしきい値を下回ると状態を警告に変更します。 | 20 | |  |
|  |  |  |

**自動終了構成**

Windows 上のデータベースの自動終了設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**復旧モデルの構成**

データベースの復旧モデル設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | FULL | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**統計の自動作成構成**

データベースに関する統計の自動作成設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | ON | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**統計の自動更新構成**

データベースに関する統計の自動更新設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | ON | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ログ配布元**

このモニターは、ログ配布構成の一部として定義されているしきい値内でログ配布元がログをバックアップしていない状況を検出します。  
SQL Server Express のいずれのエディションでもログ配布がサポートされないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースの状態**

このモニターは、Microsoft SQL Server から報告されたデータベースの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベース バックアップ状態**

このモニターは、Microsoft SQL Server から報告されたデータベース バックアップの状態を確認します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | バックアップ期間 (日) | ターゲット バックアップ頻度 (日)。回復ポイントの目標 (RPO) に従って設定する必要があります。 | 7 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 86400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**信頼可能構成**

データベースの信頼可能に関する設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**DB 組み合わせ構成**

データベースの複数データベースの組み合わせ所有権有効設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**自動圧縮構成**

データベースの自動圧縮設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**DB ディスク書き込み遅延**

データベース ファイルをホストするすべての論理ディスクからのディスク書き込み遅延を監視します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を超える場合、モニターは状態を重大に変更します。 | 25 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**ログ配布先**

このモニターは、ログ配布構成の一部として定義されているしきい値内で、ログ配布先がログを復元していない状況を検出します。  
SQL Server Express のいずれのエディションでもログ配布がサポートされないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**トランザクション ログの空き領域 (%)**

Windows 上の SQL DB のトランザクション ログの空き領域 (%) の監視。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 10 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | |  |
|  |  |  |

**統計の非同期的自動更新構成**

データベースの統計の非同期的自動更新の設定を監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 予期された値 | データベースの構成設定の予期値。適用される値のセットを表示するには、このモニターのサポート技術情報の記事の「構成」セクションを参照してください。 | OFF | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース - 集計モニター**

**外部アクセス構成**

データベースの集計外部アクセス構成の状態を監視します。

**復旧構成**

データベースの集計復旧構成の状態を監視します。

**自動構成**

このモニターは、自動構成モニターの正常性を集計します。

**DB 空き領域**

データベースの総空き領域の状態を監視します。

**Windows 上の MSSQL: データベース - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**DB メモリ最適化データ ファイル グループの構成**

すべての DB メモリ最適化データ ファイル グループ構成モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース警告ポリシーのセキュリティ**

すべてのデータベース警告ポリシー セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ログ ファイルの構成**

すべての DB ログ ファイル構成モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ファイル グループのパフォーマンス**

すべての DB ファイル グループ パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース警告ポリシーの可用性**

すべてのデータベース警告ポリシー可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**DB メモリ最適化データ ファイル グループのパフォーマンス**

すべての DB メモリ最適化データ ファイル グループ パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**DB FILESTREAM ファイル グループの構成**

すべての DB FILESTREAM ファイル グループ構成モニターをデータベースにロールアップします。

**DB FILESTREAM ファイル グループのパフォーマンス**

すべての DB FILESTREAM ファイル グループ パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**DB FILESTREAM ファイル グループの可用性**

すべての DB FILESTREAM ファイル グループ可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ログ ファイルのパフォーマンス**

すべての DB ログ ファイル パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ファイル グループの構成**

すべての DB ファイル グループ構成モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ファイル グループの可用性**

すべての DB ファイル グループ可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース重大ポリシーのパフォーマンス**

すべてのデータベース重大ポリシー パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース警告ポリシーのパフォーマンス**

すべてのデータベース警告ポリシー パフォーマンス モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース重大ポリシーの可用性**

すべてのデータベース重大ポリシー可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ログ ファイルの可用性**

すべての DB ログ ファイル可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ファイル グループのセキュリティ**

すべての DB ファイル グループ セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース警告ポリシーの構成**

すべてのデータベース警告ポリシー構成モニターをデータベースにロールアップします。

**DB メモリ最適化データ ファイル グループのセキュリティ**

すべての DB メモリ最適化データ ファイル グループ セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**データベース重大ポリシーの構成**

すべてのデータベース重大ポリシー構成モニターをデータベースにロールアップします。

**DB ログ ファイルのセキュリティ**

すべての DB ログ ファイル セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**リソース プールのメモリ消費量 (ロールアップ)**

このモニターは、リソース プールによって使用されるメモリ量がしきい値の設定を上回る場合、重大な状態を報告し、アラートを生成します。しきい値は、指定されたリソース プールのメモリ最適化データ テーブルで使用可能なメモリの割合で表されます。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**データベース重大ポリシーのセキュリティ**

すべてのデータベース重大ポリシー セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**DB メモリ最適化データ ファイル グループの可用性**

すべての DB メモリ最適化データ ファイル グループ可用性モニターをデータベースにロールアップします。

**DB FILESTREAM ファイル グループのセキュリティ**

すべての DB FILESTREAM ファイル グループ セキュリティ モニターをデータベースにロールアップします。

**Windows 上の MSSQL: データベース - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: DB の割り当て済み空き領域 (MB)**

Windows 上の SQL DB の割り当て済み空き領域 (MB) のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB のディスク読み取り遅延 (ミリ秒)**

データベース ファイルをホストするすべての論理ディスクから最大ディスク読み取り遅延を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB の 1 秒あたりのトランザクション数**

Windows 上の SQL DB の 1 秒あたりのトランザクション数のパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB のアクティブなセッション数**

Windows 上の SQL DB のアクティブなセッションのパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB 割り当て領域 (MB)**

データベースに割り当てられているサイズを収集します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB の空き領域合計 (MB)**

このデータベースのすべてのファイル グループにあるすべてのファイルに対する、データベース内の残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。  
このルールは ROWS データのメトリックのみを収集することに注意してください。FILESTREAM およびメモリ最適化データのデータのメトリックは無視されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB のアクティブな接続数**

Windows 上の SQL DB のアクティブな接続のパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB のアクティブなトランザクション数**

Windows 上の MSSQL DB のアクティブなトランザクションのパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB の使用されている割り当て領域 (MB)**

Windows 上の SQL DB の使用されている割り当て領域 (MB) のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB の空き領域の合計 (%)**

このデータベースのすべてのファイル グループにあるすべてのファイルに対する、データベース内の残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。  
このルールは ROWS データのメトリックのみを収集することに注意してください。FILESTREAM およびメモリ最適化データのデータのメトリックは無視されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB トランザクション ログの空き領域の合計 (%)**

SQL Server によって報告されたトランザクション ログの未使用領域をトランザクション ログ領域の合計に対する割合として収集します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB の使用可能な外部スペース (MB)**

Windows 上の SQL DB の外部空き領域 (MB) のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB のアクティブな要求数**

Windows 上の SQL DB のアクティブな要求のパフォーマンスの収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB のディスク書き込み遅延 (ミリ秒)**

データベース ファイルをホストするすべての論理ディスクから最大ディスク書き込み遅延を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース - タスク**

**ディスクのチェック (DBCC)**

指定したデータベース用のディスク領域の割り当て構造について一貫性をチェックします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースを緊急状態に設定します**

データベースを緊急状態に設定します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースをオンラインに設定します**

データベースをオンラインに設定します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースのチェック (DBCC)**

指定されたデータベースのすべてのオブジェクトのアロケーション、構造、および論理整合性をチェックします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**データベースをオフラインに設定します**

データベースをオフラインに設定します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**カタログのチェック (DBCC)**

指定されたデータベース内でのカタログの一貫性をチェックします。データベースはオンラインである必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース - コンソール タスク**

**SQL Profiler**

**SQL Management Studio**

**Windows 上の MSSQL: データベース重大ポリシー**

Windows 上の Microsoft SQL Server カスタム ユーザー ポリシーのうち、データベースをファセットとして持ち、エラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Windows 上の MSSQL: データベース重大ポリシー - ユニット モニター**

**データベース ヘルス ポリシー**

"エラー" 重大状態を持つ 2 状態モニター。データベースをファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ**

これはデータベース レプリカの状態 SMO オブジェクトの表現です。

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカの検出**

データベース レプリカ Always On オブジェクトの検出。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ - ユニット モニター**

**可用性データベースの中断状態**

このモニターは、データベース レプリカのデータ移動の状態を調べます。モニターが異常となるのは、データ移動が中断されている場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性データベースの参加状態**

このモニターは、データベース レプリカの結合状態を調べます。モニターが異常となるのは、データベース レプリカが結合されていない場合です。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**可用性データベース データ同期**

このモニターは、データベース レプリカのデータ同期状態を調べます。モニターが異常となるのは、データ同期状態が NOT SYNCHRONIZING であるか、状態が SYNCHRONIZED 以外である (同期コミット データベース レプリカの場合) です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベース レプリカ重大ポリシーの構成**

すべてのデータベース レプリカ重大ポリシー構成モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ警告ポリシーの構成**

すべてのデータベース レプリカ警告ポリシー構成モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ重大ポリシーのセキュリティ**

すべてのデータベース レプリカ重大ポリシー セキュリティ モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ警告ポリシーのパフォーマンス**

すべてのデータベース レプリカ警告ポリシー パフォーマンス モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ警告ポリシーの可用性**

すべてのデータベース レプリカ警告ポリシー可用性モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ重大ポリシーのパフォーマンス**

すべてのデータベース レプリカ重大ポリシー パフォーマンス モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ重大ポリシーの可用性**

すべてのデータベース レプリカ重大ポリシー可用性モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**データベース レプリカ警告ポリシーのセキュリティ**

すべてのデータベース レプリカ警告ポリシー セキュリティ モニターをデータベース レプリカにロールアップします。

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ - ルール (アラート)**

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ ロールが変更されました**

このエラーは、データベース レプリカのロールが変更されたときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: ミラー化書き込みトランザクション/秒**

同期コミットを通して処理されたトランザクションの数。トランザクション遅延をミラー化トランザクションの数で割ると、トランザクションあたりの遅延が得られます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ブロックされた再実行/秒**

このデータベースがオンラインになった後で、このデータベースで REDO スレッドがブロックされた回数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 受信ログ バイト数/秒**

このレプリカによって受信されたログのバイト数。これは、セカンダリ レプリカでのみ有効です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログの適用を待機しているキュー**

データベース レプリカへの適用を保留中のログ ブロックの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 残りの再実行バイト数**

元に戻すフェーズを完了するために再適用が必要なログのバイト数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: トランザクション遅延**

トランザクションがセカンダリの受信確認を待った時間の全トランザクション合計。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 受信ファイル バイト数/秒**

セカンダリ データベースのセカンダリ レプリカが最近 1 秒間に受信した FILESTREAM データの量。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 復旧キュー**

まだ再実行されていないセカンダリ レプリカのログ ファイル内のログ レコードの量。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 再適用バイト数/秒**

セカンダリ レプリカ上でログ レコードが再適用される速度。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 取り消しが必要な合計ログ**

元に戻す必要のあるログの合計 KB 数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 取り消し対象ログ残り**

取り消しが必要なログの量 (KB)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログ適用の準備が完了したキュー**

データベース レプリカへの適用を保留中でその準備が完了しているログ ブロックの数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログ送信キュー**

このレプリカのログ送信キューのサイズ。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ - コンソール タスク**

**SQL Server PowerShell**

SQLPS コンソールを開き、対象のデータベース レプリカの可用性レプリカに接続します。

**SQL Server Management Studio**

SQL Server Management Studio を開き、対象のデータベース レプリカの可用性レプリカに接続します。

**データ移動の中断**

SQLPS コンソールを開き、対象のデータベース レプリカのデータ移動を中断します。

**データ移動の再開**

SQLPS コンソールを開き、対象のデータベース レプリカのデータ移動を再開します。

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ重大ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、データベース レプリカ状態をファセットとして持ち、エラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ重大ポリシー - 検出**

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On データベース レプリカに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ重大ポリシー - ユニット モニター**

**データベース レプリカ ヘルス ポリシー**

"エラー" 重大状態を持つ 2 状態モニター。データベース レプリカ状態をファセットとして持ち、定義済みのエラー カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ警告ポリシー**

カスタム ユーザー ポリシーのうち、データベース レプリカ状態をファセットとして持ち、警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ警告ポリシー - 検出**

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ カスタム ユーザー ポリシーの検出**

Always On データベース レプリカに対するカスタム ユーザー ポリシーの検出。注: この検出は、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース レプリカ警告ポリシー - ユニット モニター**

**データベース レプリカ ヘルス ポリシー**

"警告" 重大状態を持つ 2 状態モニター。データベース レプリカ状態をファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース警告ポリシー**

Windows 上の Microsoft SQL Server カスタム ユーザー ポリシーのうち、データベースをファセットとして持ち、警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つもの。

**Windows 上の MSSQL: データベース警告ポリシー - ユニット モニター**

**データベース ヘルス ポリシー**

"警告" 重大状態を持つ 2 状態モニター。データベースをファセットとして持ち、定義済みの警告カテゴリの 1 つをポリシー カテゴリとして持つカスタム ユーザー ポリシーの状態を反映するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジン**

Windows 上の MSSQL データベース エンジンのインストール。データベース エンジンはデータベースと他の SQL Server コンポーネントをホストします。

**Windows 上の MSSQL: DB エンジン - 検出**

**Windows 上の MSSQL: SQL Server データベース エンジンの検出**

このルールは、Windows 上の SQL Server DB エンジンを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジン - ユニット モニター**

**SQL フルテキスト フィルター デーモン ランチャー サービス**

このモニターは、SQL フルテキスト フィルター デーモン ランチャー サービスの状態を確認します。SQL フルテキスト検索機能は SQL Server Express with Advanced Services 以外の SQL Server Express エディションでは使用できないことに注意してください。このモニターは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | サービスのスタートアップの種類が [自動] の場合にのみ警告 | この値は、'true' または 'false' にのみ設定できます。 'false' に設定されていると、設定されているスタートアップの種類に関係なく警告が発生します。 既定値は 'true' です。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 600 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**マネージ バックアップ システム ヘルス ポリシー**

マネージ バックアップ システム ヘルス ポリシーは、SQL 資格情報が欠落している、または無効であるといった重大なエラーや接続エラーを検証し、システムの正常性を報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**CPU 使用率 (%)**

MSSQL DB エンジンの CPU 使用率 (%)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 90 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Buffer Cache Hit Ratio**

DB エンジンのバッファー キャッシュ ヒット率

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 0 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Service Pack 準拠**

データベース エンジンの Service Pack レベルを準拠設定に従って監視します

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | SQL Server の最小 Service Pack レベル | 企業ポリシーに基づく最小 Service Pack レベル。既定では、0 (整数) にされます。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**SQL 再コンパイル**

DB エンジンの SQL 再コンパイル。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | SQL 再コンパイルと SQL コンパイルの比率がこのしきい値を超える場合、警告が生成されます。 | 25 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ページの予測保持期間**

DB エンジンのページの予測保持期間 (秒)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 300 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ブロック元のセッション**

Windows 上の SQL インスタンスでブロックされているセッションを監視します。注: このモニターは、既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | ブロックされているセッションの数 | ブロックされたセッションの最大許容数。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 待機時間 (分) | ブロックされた SPID の分析用として判断されるまでの最小処理実行期間。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**スレッド数**

DB エンジンのスレッド数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 最小空きスレッド数しきい値 | ワークフローは、スレッドの最大数と各 DB エンジン プロセスのアクティブなスレッド数を判定します。フリー スレッドの数がこのパラメーター以下の場合に、アラートが生成されます。 | 10 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**DB エンジンのヘルス状態**

このモニターは、SQL Server DB エンジンのヘルス状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**平均待機時間**

DB の平均待機時間の監視

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 250 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**マネージ バックアップ ユーザー操作ヘルス ポリシー**

マネージ バックアップ ユーザー操作ヘルス ポリシーは、バックアップの破損などの警告を検証します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**セキュリティ保護可能なリソースの構成の状態**

このモニターは、Windows での SQL Server セキュリティ保護可能なリソースへのアクセス構成の状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**流用されたサーバー メモリ**

DB エンジンの流用されたサーバー メモリ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 流用されたサーバー メモリと SQL Server の最大メモリの比率がこのしきい値を超える場合、警告が生成されます。 | 70 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジン - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**データベースの構成**

すべてのデータベース構成モニターを DB エンジンにロールアップします。

**データベースのセキュリティ**

すべてのデータベース セキュリティ モニターを DB エンジンにロールアップします。

**データベースの可用性**

すべてのデータベース可用性モニターを DB エンジンにロールアップします。

**データベースのパフォーマンス**

すべてのデータベース パフォーマンス モニターを DB エンジンにロールアップします。

**Windows 上の MSSQL: DB エンジン - ルール (アラート)**

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクトがクロス リンクしています**

ページ P\_ID1 は、親 - 子という方法で、異なるオブジェクト内のページ (P\_ID2) を指しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 復旧しないで起動しています**

SQL Server が復旧せずに起動しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Service Broker マネージャーでエラーが発生しました**

このルールは、SQL Server Service Broker マネージャーでエラーが発生したときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースを復旧中にエラーが発生しました。トランザクションの完了状態を調べるために MSDTC に接続できませんでした**

MS DTC を使用して複数のサーバーにわたる分散トランザクションを管理しているときに接続の切断が発生した場合は、分散トランザクションが不明または "インダウト" 状態のままになります。中断の一般的な原因を示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Service Broker キュー ロールバック ハンドラーでエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker は、ロールバック中にエラーが発生して Service Broker でキューを無効にできない場合に、MSSQLSERVER イベント ID 8405 を生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ユーザーは、システム テーブルを切り捨てることは許可されていません**

allow updates 構成オプションが有効になっている場合でも、システム テーブルに対して TRUNCATE TABLE ステートメントを発行できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: オペレーティング システム エラーのため、Service Broker マネージャーを起動できません**

このルールは、オペレーティング システム エラーのため、SQL Server が Service Broker マネージャーを起動できない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブルで参照されている列名を解決できませんでした**

このエラーは、参照されているテーブル内に存在しなくなった列を参照している外部キーを使用してテーブル内のデータを変更しようとした場合に発生します。列の名前を変更しただけでは、このエラーは発生しません。通常の状況では、外部キーによって参照されている列は削除できないため、このエラーは、サポートされていないシステム テーブルの直接更新が発生したことを示している可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: サーバーがビジー状態のため、バックアップまたは復元操作を実行できません**

使用可能なスレッドがないか、実行されているサブプロセスが多すぎるため、サブプロセス (並列クエリまたは並列 I/O) を開始できませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースを排他的にロックできませんでした**

CREATE DATABASE ステートメントを発行したときに model データベースが使用中だった場合、model データベースのロックを取得できなかったことを示すこのエラーが表示されることがあります。新しいデータベースは、model データベースからコピーされるため、model データベースはまったく使用されない状態になっている必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: トランザクションの結果を解決できないので、データベースを復旧できませんでした**

復旧プロセスは、指定されたデータベースで保留しているトランザクションを検出しました。これらのトランザクションは、Microsoft 分散トランザクション コーディネーター (MS DTC) を使用した分散トランザクションか、単一インスタンスのデータベース間トランザクションのいずれかです。これらのトランザクションのうち 1 つ以上を復旧プロセスでコミットまたはロールバックするのに十分な情報がありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: アロケーション ページに無効なページ ヘッダー値が含まれています。**

指定されたページのページ ヘッダーが無効です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: LOB ページへの参照が無効です**

このエラーは、SQL Server が操作中の LOB ページに対して無効な参照を使用した場合に発生します。このエラーは、異なる複数の理由で発生する可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページ上の以前へのリンクが、スロットがこのページに期待する前 (親) ページと一致しません**

B-tree は、1 つのレベルにあるページが二重にリンクされたリストで互いを指すような構造になっています。さらに、B-tree のページの親は、それぞれの子のレコードをそのキーとページ ID で保持しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 別の Service Broker またはデータベース ミラーリング ホストへの接続中にセキュリティ (SSPI) エラーが発生しました**

Service Broker トランスポート セキュリティで SSPI を使用する際、リモート データベースのサービス アカウントは、master データベースの CONNECT アクセス許可が必要です。リモート SQL Server インスタンスは、リモート ホストによって使用されているアカウントの Windows 認証を許可する必要があります。ログインには、他の権限やどのデータベース内のオブジェクトも所有する必要はありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 列をテーブルに追加できませんでした**

sp\_repladdcolumn は、パブリケーション データベースのテーブルに指定された列を追加できませんでした。別のエラーも共に報告される場合は、その別のエラーに列を追加できなかった理由が示されるはずです。他にエラーが報告されなければ、所有者限定テーブルが存在しないこと、またはレプリケートされたテーブルに追加できないデータ型であることが問題の場合があります。新しい列のデータ型は、ID 列、計算列、タイムスタンプ列のいずれかで、NULL が許されるか、または既定値を持つ必要があります。sp\_repladdcolumn の詳細については、オンライン ブックの「パブリケーション データベースでのスキーマの変更」を参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: B-tree チェーン リンケージが一致しません。**

指定された B-Tree のあるレベルで論理ページ チェーンが切れています (これはリーフ レベルを含むあらゆるレベルで発生する可能性があります)。ページ P\_ID1 の次のページを指すポインターはページ P\_ID2 を指していますが、ページ P\_ID2 の前のページを指すポインターは別のページ P\_ID3 を指しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: B-tree ページが 2 つの親ノードを持っています**

ページ P\_ID1 が B-tree の上位にある 2 つのページ P\_ID2 および P\_ID3 のスロットによって子ページとして参照されているため、B-tree 構造が破損しています。ページは、1 つの親によってのみ参照できます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: クエリ プロセッサの内部エラー: クエリ プロセッサの内部制限値をオーバーフローしました**

これは、内部クエリ プロセッサ エラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの TEXT、NTEXT、または IMAGE ノードは参照されていません**

テキスト ノードは、いずれのヒープまたはクラスター化インデックスのいずれの複合列でも参照されていませんでした。これは、事実上独立しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースを問題ありに設定できませんでした。sysdatabases.dbid での Getnext NC スキャンは失敗しました**

SQL Server 復旧プロセスは、指定されたデータベースの問題ありのフラグをオンにしようとしましたが、sysdatabases に適切な行が見つからなかったか、メモリ内のデータベース情報を更新できませんでした。データベースを問題ありとしてマークする必要がある理由は、SQL Server エラー ログまたはイベント ビューアーの他のメッセージで示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインできませんでした。SQL Server アクセスのワークステーション ライセンスの上限に既に達しています**

SQL Server は、ライセンスの上限に達すると、ワークステーションへの接続を提供しなくなります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XML: クラスのインスタンスを作成できませんでした。SQL Server インストールに Msxml2.dll が存在するか確認してください**

SQL Server がインストールされているコンピューターに Msxml2.dll ファイルがないか、sp\_xml\_preparedocument などの XML 機能の処理中にシステム ディレクトリから Msxml2.dll ファイルを読み込めませんでした。ファイルが存在する場合は、適切に登録されていないか、またはその従属関係の 1 つが存在しない可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Service Broker マネージャーを起動できません**

このルールは、SQL Server が Service Broker マネージャーを起動できない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: フルテキスト検索: フルテキスト カタログの検索に失敗し、不明な結果が返されました**

フルテキスト クエリは、不明な理由のため失敗しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: AppDomain を作成できませんでした**

このルールは、アプリケーションがアプリケーション ドメインを作成しようとしたが失敗したときに、アラートをトリガーします。アプリケーション ドメインを開始するのに十分なメモリがないことが原因として考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: バックアップ デバイスを開けません。**

BACKUP または RESTORE コマンドで指定された 1 つ以上のファイルを開くことができませんでした。これには次の原因が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ページで I/O を実行後の論理的な一貫性エラー**

データベース ページ、またはトランザクション ログ ブロックの読み取りまたは書き込み時に整合性チェックに失敗しました。エラー メッセージには、失敗した一貫性チェックの具体的な種類が記載されています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XML: FOR XML EXPLICIT スタックがオーバーフローしました。親タグの循環リレーションシップは許可されません**

XML は、レベルをネストする要素タグがテーブル内の列数を超えているか、1 つ以上のタグが自己参照しているか、またはその両方であるため、整形式ではありません。FOR XML EXPLICIT の詳細については、オンライン ブックの「EXPLICIT モードの使用」を参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ノード上のすべてのスケジューラでデッドロックが生じている可能性があります**

このメッセージは、サーバーが一定時間内に新しいクエリに応答しなかった場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker がレジストリから FIPS 準拠モード フラグを照会できませんでした**

このルールは、SQL Server Service Broker がレジストリから FIPS 準拠モード フラグを照会できなかった場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: バックアップ デバイスが失敗しました - オペレーティング システム エラー**

このメッセージは、オペレーティング システムが、BACKUP または RESTORE コマンドで指定されたバックアップ デバイス (ディスク、テープ、またはパイプ) を開く、または閉じることができなかったことを示します。バックアップ デバイスの詳細については、オンライン ブックの「バックアップ デバイス」および「BACKUP」を参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 内部 MSDTC トランザクションのコミットに失敗しました**

このルールは、内部 MSDTC トランザクションのコミットに失敗した場合にエラーをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブルから列を削除できませんでした**

sp\_repldropcolumn は、パブリケーション データベースの指定された列の削除に失敗しました。このエラーは、システム テーブルの更新の失敗、または基礎となる ALTER TABLE ステートメントの失敗の結果である可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページ ヘッダーのページ ID が正しくありません**

DBCC がページ P\_ID1 を要求しました。このページをディスクから読み取るときに、ヘッダー内のページ ID が P\_ID2 になっていました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: フルテキスト検索: 現在のデータベースではフルテキスト検索が有効になっていません。sp\_fulltext\_database を使用してフルテキスト検索を有効にしてください**

フルテキスト インデックスが有効になっていないデータベースでフルテキスト インデックスを実行しようとしました。データベースは、フルテキストが有効にされたことがないか、あるいは復元またはアタッチされた可能性があります。後者の場合、フルテキスト インデックスは自動的に無効になります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker のミラーリング ルートを処理中にエラーが発生しました**

このルールは、SQL Server Service Broker のミラーリング ルートを処理中にエラーが発生した場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: エクステント オブジェクトがこのデータベースの範囲を超えています**

P\_ID は、(filenum:pageinfile) という形式のページ ID です。このエクステントの <ファイル内のページ> が、データベースの <ファイル番号> のファイルの物理サイズよりも大きいです。エクステントは、指定されたオブジェクトまたはインデックス ID の IAM ページで割り当て済みとしてマークされています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの low キー値が、親のキー値ではありません**

B-tree ツリー レベルのページには、各子ページのレコードと、その子ページのキー値が含まれています。子ページがリーフ レベル ページ (つまりレベル 0) の場合は、そのページ上のすべてレコードが、親ページ内のキー値以上のキー値を持っている必要があります。子ページがツリー レベル ページの場合 (つまりレベルが > 0 の場合)、親と正確に一致するキー値を持っている必要がある最初のレコードを除いて、すべてのレコードが、親のキー値より大きいキー値を持っている必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: フルテキスト検索: 不明なフルテキスト エラーが発生しました**

このエラーは、さまざまな状況で発生することがあります。多くの場合、アクセス許可または見つからないファイルに関連しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 競合テーブルが存在しません**

このエラーは、マージ アーティクルで列を追加または削除しようとしたが、変更されたアーティクルの sysmergearticles で指定された競合テーブルが実際にはデータベースに存在しない場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server アサーション (17066)**

SQL Server でエラーが生成されました。正常な状況では、SQL Server からログ ディレクトリにポストされたダンプ ファイルを使用して、エラーの直前に実行されたアクションを特定できます。エラーの原因としては、データの破損、クライアント アプリケーションのエラー、SQL Server のエラー、不安定なネットワーク、またはハードウェア障害が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログのバックアップを完了できませんでした**

このエラーは、前のエラーのために、指定されたデータベースの BACKUP を Microsoft SQL Server が完了できなかったことを示します。失敗した BACKUP コマンドは、エラー メッセージの最後に示されます。このメッセージは、Windows のアプリケーション ログにも表示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの high キー値が、次のページの親スロットの low キー値より小さくありません**

B-tree ツリー レベルのページには、各子ページのレコードと、その子ページのキー値が含まれています。子ページがリーフ レベル ページの場合は、そのページ上のすべてのレコードが、親ページ内のキー値以上のキー値を持っている必要があります。子ページがツリー レベル ページの場合、親と正確に一致するキー値を持っている必要がある最初のレコードを除いて、すべてのレコードが、親のキー値より大きいキー値を持っている必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースの論理ページは既にハッシュされています**

このエラーは、SQL Server がデータベース ID%d の論理ページ %S\_PGID のハッシュを実行しようとし、そのページが SQL Server ハッシュ テーブルに既にある場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: IAM チェーン リンケージ エラー**

指定されたインデックスの IAM チェーンが壊れています。ページ P\_ID1 の次のページを指すポインターはページ P\_ID2 を指していますが、ページ P\_ID2 の前のページを指すポインターは別のページ P\_ID3 を指しています。どちらのエラー状態も同じことを示しますが、破損が検出された場所が異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XTP バックグラウンド スレッドのエラー**

このルールは、イベント 41354 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: このクエリの推定コストが設定されたしきい値を超えたので、クエリは取り消されました。システム管理者に問い合わせてください**

query governor cost limit オプションの構成の設定が、SQL Server オプティマイザーによって推定されたクエリの見積もりコストよりも小さくなっています。既定では、query governor cost limit オプションは 0 に設定され、これによりすべてのクエリの実行が許可されます。しかし、この SQL Server のインスタンス上では、このオプションを 0 より大きい数に設定することで上限が指定されています。予想されるコストがこの値より大きいクエリ計画は開始されません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 最適化された同時クエリの制限を超えました**

ライセンスによって同時実行クエリ数が制限されているエディションの SQL Server を使用しています。これには、Personal Edition と Desktop Edition が含まれます。これらのエディションには、同時実行ユーザー クエリ数を特定数に、また同時実行システム タスク数をより少ない数に制限する、同時実行ワークロード ガバナーが含まれています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクトに割り当てられたページが見つかりませんでした。 ページが無効か、またはヘッダーのオブジェクト ID 情報が正しくありません**

ページは指定されたとおりに割り当てられましたが、ヘッダー内にそのオブジェクトまたはインデックス ID が見つかりませんでした。ページのヘッダー内のインデックス ID が異なるため、そのページに対してマッチング 2534 (ページが別のオブジェクトによって割り当てられた) エラーが発生します。2534 エラーは、ページのヘッダー内にあるオブジェクト/インデックス ID に対応します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: IO 完了リスナーのワーカーが、ノードで応答を停止している可能性があります**

I/O 完了ポートは、Microsoft SQL Server が、サービスの開始時に作成されたスレッドのプールを使用して非同期 I/O 要求を処理するためのメカニズムです。メッセージには、完了ポートが応答していないノードが示されます。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 つ以上のインデックスが壊れており、修復または削除する必要があります**

このエラーでは、エラー 8952 で説明されている問題の詳細が提供されます。説明については、そのエラーを参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートの接続エンドポイントでエラーが発生しました**

SQL Server は、SQL Server インスタンス外との通信に Service Broker およびデータベース ミラーリングのエンドポイントを使用します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XML: XML 解析エラー**

このメッセージは、XML 解析エラーの後に発生します。"XML 解析エラー:" に続くテキストは異なります。この原因は、発生した XML 解析エラーによって異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: master データベースを復元できませんでした。SQL Server をシャットダウンしています**

復元している master データベースのバックアップが使用できません。ファイル自体が壊れているか、バックアップが取得された元の master データベースのデータの整合性に問題があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースのバックアップは完了しませんでした**

BACKUP はコマンドの完了に失敗しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが起動しました**

SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが開始されました。Windows アプリケーション ログには、エラーが Service Broker またはデータベース ミラーリングのどちらにより記録されたのかが明記されます。このメッセージは、Windows アプリケーション ログに MSSQLSERVER イベント ID 9690 として記録されます。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの TEXT、NTEXT、または IMAGE ノードが、スキャンで見つからないページによって参照されています**

テキスト ノードは、いずれのヒープまたはクラスター化インデックスのいずれの複合列でも参照されていませんでした。これは、事実上独立しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードが簡単すぎます**

ユーザーがパスワードを作成しようとしましたが、指定したパスワードが Windows のパスワードの複雑さの要件を満たしていませんでした。これは、“パスワードは、複雑さの要件を満たす必要がある“ ポリシー設定に定義されています。Windows セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18466 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: tempdb を開くことができませんでした。 続行できません**

tempdb データベースを開くことができませんでした。これには、次の原因が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: オペレーティング システム エラーが発生しました**

このメッセージは、オペレーティング システムから SQL Server 内部のプロセスになんらかのエラーが返されたことを示します。メッセージの最初に表示されたプロセスは、オペレーティング システムからエラーを受信した SQL Server 内部の関数を示します。メッセージの最後の、オペレーティング システムの正確なエラー番号とテキストは、オペレーティング システムで発生した問題によって異なります。このエラーは、通常他のエラーと共に見つかります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 例外またはメモリ不足のため、SQL Server Service Broker の送信機能がシャットダウンしました**

このルールは、エラーまたはメモリ不足のために SQL Server Service Broker の送信機能が停止したときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインに失敗しました: 検証中にエラーが発生しました**

ユーザーが SQL Server にログインしようとしました。検証中に予期しないエラーが発生しました。Windows セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18468 にユーザー名とエラー ID が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: システムのシャットダウンにより SQL Server が終了します**

サーバーがシャットダウンしているため、SQL Server がシャットダウンしています。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: エラー コードが返されたため、AppDomain をアンロードできませんでした**

このルールは、エラーのため、アプリケーション ドメインがアンロードに失敗したときにトリガーされます。Windows アプリケーション ログに、元のエラー コードとその他の診断の詳細に関する情報が含まれることがあります

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログに空き領域がないので、データベースに CHECKPOINT レコードを書き込めませんでした**

指定されたデータベースのトランザクション ログが、その容量に達しました。制限は、構成の設定またはこのデータベース用に構成されている 1 つ以上のファイルで使用可能な物理容量によるものであると考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker が、サポートされていない暗号化アルゴリズムを使用しようとしました**

このルールは、SQL Server Service Broker が、サポートされていない暗号化アルゴリズムを使用しようとした場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: 列は有効な複合列ではありません**

列は、レコードの可変長列セクションで複合列としてマークされていますが、有効なテキスト ポインターまたは行テキスト ルートではありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: インデックス ノード ページは子ページと前の子ページを参照していますが、見つかりませんでした**

B-tree 内のインデックス ページ (P\_ID1) に、2 つの近隣の下位レベルのページ (P\_ID2 と P\_ID3) への子参照が含まれていますが、どちらのページも見つかりません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XTP コンパイルした Dll を読み込むことができません**

このルールは、イベント 41309 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブルのバッファーを保持するために解放できるスロットはありません**

このエラーは、SQL Server に内部エラーがある場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Physical file access error (物理ファイル アクセス エラー)**

ファイルのアクティブ化エラーが発生しました。データベース作成中で物理ファイル名が正しくない可能性があります。  
注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XTP バックグラウンド スレッドのエラー ログ**

このルールは、イベント 41355 をリッスンし、このイベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: TEXT、NTEXT、または IMAGE ノードは、無効な型を持っています**

テキスト ノードのテキスト ページ型が間違っています。このノードの親 (所有者) が見つかる場合は、8929 メッセージを伴い、所有者に関する詳細情報を提供します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページは前ページからの参照がありません。チェーン リンケージに問題がある可能性があります**

ページ チェーン内の近隣のページ (P\_ID1) が前のページのリンクでそれを指しているにもかかわらず、B-tree 内にページ (P\_ID2) が見つかりません。これは、B-tree のいずれのレベルでも発生する可能性があります。どちらのエラー状態も同じことを示しますが、エラーが検出された場所のみが異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Service Broker アクティブ化マネージャーを起動できません**

このルールは、Service Broker がアクティブ化マネージャーを起動できない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ファイルにアクセスできなかったか、メモリまたはディスク領域が不足しているので、データベースを開けません**

データベースが IsShutdown とマークされていると、エラー 945 が返されます。これは、不足しているファイル、または通常は容易に修正できる他のリソース エラーが原因で、データベースが復旧できない場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XTP でコンパイラを呼び出せない**

このルールは、イベント 41312 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ファイル グループがいっぱいなので、データベースにオブジェクトの領域を割り当てられませんでした**

指定されたファイル グループに空き領域がありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | 指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合、ワークフローは失敗し、イベントが登録されます。 | 90 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブルが CHECK 制約を持っていることになっていますが、見つかりませんでした**

このエラーは、制約の作成に失敗したが、なんらかの理由でその作成が完全にロールバックされなかったときに発生することがあります。また、これは、メッセージに示されたテーブルが置かれているデータベース内のシステム テーブルでのデータ一貫性の問題によって発生することもあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースのログを読み取り中にエラーが発生しました**

このエラーは、ロールバック、復旧、またはレプリケーション中にトランザクション ログを処理しているときにエラーが発生したことを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ヘッダーのページは別のオブジェクトによって割り当てられています**

ページにオブジェクトおよびインデックス ID が指定されていますが、そのインデックスの IAM ページによって割り当てられていません。このページのヘッダーに不適切なオブジェクトまたはインデックス ID があるため、そのページに対して、マッチング 2533 (ページが割り当てられているのに見つからない) エラーが発生します。2533 エラーは、ページが実際に割り当てられたインデックスに対応します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクト、インデックス、ページのテストに失敗しました。スロット - オフセットが無効です**

指定されたスロットで、スロット配列に対応させると無効なオフセット (ADDRESS) がページ内にあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブルが外部キー制約を持っていることになっていますが、見つかりませんでした**

このエラーは、制約の作成に失敗したが、なんらかの理由でその作成が完全にロールバックされなかったときに発生することがあります。また、これは、メッセージに示されたテーブルが置かれているデータベース内のシステム テーブルでのデータ一貫性の問題によって発生することもあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ユーザーの既定データベースを開けません。ログインに失敗しました**

クライアントがデータベース コンテキストを指定せずに SQL Server インスタンスに接続すると、ログイン用に定義された既定のデータベースが使用されます。そのデータベースがなんらかの理由で利用できない場合に、上記のメッセージが表示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 内部クエリ プロセッサ エラー: クエリ プロセッサ実行中に予期しないエラーが発生しました**

これは、内部クエリ プロセッサ エラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: CREATE DATABASE が失敗しました。その名前のディスクに新しいデータベースを割り当てるディスク領域がありません**

このエラーは、デバイス上に model データベースを作成するための領域が不足している場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server でメモリが不足しています**

SQL Server はクエリを実行するのに十分なメモリ量を割り当てることができませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: サーバーでリモート ログインとして定義されていないので、サーバーに接続できませんでした**

リモート サーバーに対してリモート プロシージャ コール (RPC) を実行するためのセキュリティの設定には、リモート サーバーと、場合によっては Microsoft SQL Server のインスタンスを実行しているローカル サーバーで、ログインのマッピングを設定する作業が含まれます。マッピングは、特定のサーバー\インスタンス名 (通常は、既定のインスタンスの場合は NetBIOS 名、名前付きインスタンスの場合は NetBIOS 名とインスタンス名) に固有です。ログインのマッピングが存在しない場合、または接続文字列に指定されたサーバーの名前が sysremotelogins テーブルの正確な名前と一致せず、ゲスト アカウントのマッピングが sysremotelogins にない場合は、このエラーが表示されます。リモート ユーザーが NULL または空のログイン名を持つことが判明した場合にも、このエラーが表示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Service Broker セキュリティ マネージャーを起動できません**

Service Broker セキュリティ マネージャーを起動できませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースの復旧中にエラーが発生しました**

このエラーは、SQL Server がオンラインになった際にデータベースを回復できなかったときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: 余分または無効なキーです**

テーブル (ヒープまたはクラスター化インデックス) 内の各データ行には、そのテーブルに対する各非クラスター化インデックス内の正確に一致するインデックス行が 1 つ含まれている必要があります。このエラーは、クラスター化されていないインデックスにデータ行と一致しないインデックス行があることを意味します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: 予期しないページ型**

ページ P\_ID のページの種類が、それを解釈しようとしているコードで予期していないものになっていました。このページは、割り当て済みとしてマークされますが、そのために DBCC コードがこれを解釈しようとしています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ページで I/O の実行中に OS エラーが発生しました**

データベース ページの読み取りまたは書き込み中に、オペレーティング システム エラーが発生しました。エラー メッセージには、発生した具体的なオペレーティング システム エラーが記載されています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: クエリ プロセッサの内部エラー: クエリ プロセッサは、必要なインターフェイスにアクセスできませんでした**

これは、内部クエリ プロセッサ エラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 別のオブジェクトに属する論理ページを取り出そうとしました**

このエラーは、データベース ページとして保存されたアロケーション ユニットが、特定の操作 (テーブルに対する SELECT ステートメントの実行など) と関連付けられたアロケーション ユニットと一致しないことが、SQL Server によって検出されたときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: フルテキスト検索: データベースのフルテキスト インデックスが見つかりませんでした**

指定されたフルテキスト インデックスを利用できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Ctrl + C または Ctrl + Break シグナルにより、SQL Server がシャットダウンされました**

コマンド プロンプトから sqlservr.exe を使用して SQL Server インスタンスが起動され、今、そのプロンプトから sqlservr.exe アプリケーションを停止するための Ctrl + C または Ctrl + Break コマンドが発行されました。シャットダウン中にチェックポイントは実行されませんでした。このメッセージは、SQL Server エラー ログとアプリケーション イベント ログに書き込まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ポートは使用中のため、Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートではそのポートをリッスンできません**

Service Broker またはデータベース ミラーリングのエンドポイントの作成時に、SQL Server は、エンドポイントの構成で指定されているポートの TCP/IP 接続を受け付けられる必要があります。トランスポート セキュリティには、ポートへの接続に認証が必要です。サーバーでファイアウォールを有効にしている場合は、エンドポイントで使用されるポートを送信と受信の両方の接続で使用できるようにファイアウォールを構成する必要があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 共通言語ランタイム (CLR) にメモリを割り当てられませんでした**

このルールは、SQL Server が CLR に対してメモリを割り当てることができない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 内部クエリ プロセッサ エラー: リモート クエリ フェーズを処理中に、クエリ プロセッサで予期しないエラーが発生しました**

これは、内部クエリ プロセッサ エラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: キャッシュ内のページのチェックサム エラー**

データベース ページがキャッシュ内に存在するときに予期しない変更が加えられたことが分かりました (ページのチェックサムによって確認)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: CHECKTABLE を終了しました。情報の収集中にエラーが発生しました。**

tempdb の領域が不足しているか、システム テーブルの一貫性が損なわれている可能性があります。以前に発生したエラーを調べてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: RESTORE はデータベースを起動できませんでした**

データベースの RESTORE 中に内部構造を作成できませんでした。これは通常、別のエラーの副作用です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: エラーが発生したため、SQL Server Service Broker の接続が閉じられました**

このルールは、エラーのため、SQL Server Service Broker のメッセージ交換が終了した場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: master データベースを復旧できません。終了しています。**

master データベースが復旧可能な状態にありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースでログ記録操作を元に戻しているときにエラーが発生しました**

復旧プロセスは、指定されたデータベース内の 1 つ以上のトランザクションを元に戻す (ロールバックする) ことができませんでした。このエラーと共に、SQL Server エラー ログまたはイベント ログにより具体的なエラーが示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server は Service Broker タスク マネージャーの起動に必要なメモリを割り当てられませんでした**

SQL Server Service Broker は Service Broker タスク マネージャーを開始できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページには親ノード (不明) と前のノードからの参照がありません。sysindexes のルート エントリが正しくない可能性があります**

ページ P\_ID1 が見つかりましたが、そのページが属していると思われる B-Tree にリンクされていません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XML: Msxml2.dll を読み込めませんでした**

SQL Server がインストールされているコンピューターに Msxml2.dll ファイルがないか、sp\_xml\_preparedocument などの XML 機能の処理中にシステム ディレクトリから Msxml2.dll ファイルを読み込めませんでした。ファイルが存在する場合は、適切に登録されていないか、またはその従属関係の 1 つが存在しない可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XTP コンパイラのエラー**

このルールは、イベント 41313 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に警告アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 非ハッシュ化しようとしたときに、データベースのオブジェクトの記述子がハッシュ テーブルに見つかりません**

一時テーブルが見つかりませんでした。特定のオブジェクト ID が、Windows アプリケーション ログでイベント ID 617 として使用できるようになります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースの一貫性チェックがエラーなく実行されました**

このメッセージは、データベース整合性確認が実行されており、エラーが見つかっていないことを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: バックアップ セットの開始を読み取り中に予期しないファイルの終わりを検出しました**

FROM 句に指定されたバックアップ ファイルの一部を読み込めなかったため、RESTORE 操作が失敗しました。通常、このエラーは指定されたファイルが SQL Server 7.0 以前のバックアップであるか、ファイルが壊れていることを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker のメッセージ送信機能でエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker メッセージ送信機能がエラーを検出しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: B-tree レベルが一致しません。ページが親のレベルと一致しません**

B-tree には、親 (P\_ID2) と子 (P\_ID1) としてリンクされた 2 つのページがあります。親ページ (P\_ID2) のレベル (LEVEL2) を考慮すると、子ページ (P\_ID1) のレベル (LEVEL1) は、B-trees のレベル ルールに適合しません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーの暗号化呼び出しが失敗しました**

SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーが、オペレーティング システムの暗号化関数を呼び出そうとしましたが、暗号化関数からエラーが返されました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 'lock pages in memory' 特権が許可されていなかったので、Address Windowing Extensions を使用できませんでした**

このルールは、'lock pages in memory' 特権が許可されていなかったため、SQL Server が Address Windowing Extensions を使用できない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: オブジェクトでアクセス許可が拒否されました**

Microsoft SQL Server ユーザーが、適切な特権を持たないテーブルに対して、ストアド プロシージャの実行、またはテーブルの読み取りや変更などの操作を試行した場合に、このエラーが発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページはこのデータベースの範囲外です**

指定されたページは、割り当て済みとしてマークされていますが、それが置かれているファイルの使用中の部分を越えています (以下に説明する特定の状態を除きます)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポート マネージャーでエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポート マネージャーでエラーが発生しました。Windows アプリケーション ログまたは SQL Server エラー ログで具体的なエラーが見つかる場合があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: OLE DB プロバイダーのインスタンスを作成できませんでした**

このルールは、SQL Server が OLE DB プロバイダーのインスタンスを作成してリンク サーバーに接続できなかったときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server インスタンスのサービス アカウントを特定できません**

このエラーは、Transact-SQL ステートメントに、一致しない一重または二重引用符が含まれているときに発生します。SET QUOTED\_IDENTIFIER 設定によって、有効な一重および二重引用符の組み合わせが判断されます。SET QUOTED\_IDENTIFIER の詳細については、オンライン ブックの「SET QUOTED\_IDENTIFIER」を参照してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースに既定のフルテキスト カタログが存在しないか、ユーザーにこの操作を実行するアクセス許可がありません**

フルテキスト カタログが存在しないか、カタログにフルテキスト インデックスを作成できる適切な権限をユーザーが持っていません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: メモリ不足のため、共通言語ランタイム (CLR) を初期化できませんでした**

Windows が Microsoft 共通言語ランタイム (CLR) の初期化に必要なメモリを割り当てられませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートの操作中に、SNI 呼び出しが失敗しました**

このルールは、Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートの操作中に、SNI 呼び出しが失敗したときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 強制終了されたプロセスのクリーンアップを行えませんでした**

このエラー メッセージは、別のエラーによってユーザー接続が異常終了したときに発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: フルテキスト検索: フルテキスト カタログは使用できない状態です。このフルテキスト カタログを削除し、再作成してください**

フルテキスト カタログがオフラインになっています。フルテキスト ディレクトリが削除されている、壊れている、またはパスが無効な場所を指しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: ページの親ノードが見つかりませんでした**

ページ P\_ID が B-tree に表示され、属している B-tree のレベルにリンクされています。ただし、子ページとしてそのページへの参照を持つインデックス ページが表示されませんでした。これは、B-tree のいずれのレベルでも発生する可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが停止しました**

このルールは、SQL Server Service Broker のメッセージ交換で、少なくとも 1 つのエンドポイントにより、接続のリッスンが停止されたときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース ログ ファイルがいっぱいです。データベースのトランザクション ログのバックアップを作成して、ログ領域を解放してください**

指定されたトランザクション ログ ファイルに空き領域がありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードを変更してください**

ユーザーが、MUST\_CHANGE オプションに設定されたパスワードで SQL Server にログインしようとしました。Windows セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18488 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: デバイスでのオペレーティング システム エラー**

バックアップ デバイスを開くことができません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースの新しいページを割り当てられません。ファイル グループで使用できるページはありません。**

オブジェクトの削除、別のファイルの追加、またはファイル拡張の許可を実行して領域を作成してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインできませんでした**

無効なパスワードまたはユーザー名を含む認証の失敗によって接続試行が拒否された場合、クライアントには "ユーザー 'user\_name' はログインできませんでした。(Microsoft SQL Server、エラー: 18456)" のようなメッセージが返されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: フルテキスト検索: この操作を完了するには、フルテキスト カタログのディスク領域が不足しています**

フルテキスト カタログを保持するのに十分な空きディスク領域がありません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: FIPS 準拠モードで実行している間、SQL Server Service Broker は RC4 暗号化アルゴリズムを使用できません**

SQL Server Service Broker にはメッセージ交換機能があり、少なくとも 1 つのエンドポイントが RC4 暗号化を使用するように構成されています。また、サーバーは Federal Information Processing Standard (FIPS) 準拠モードに設定されています。FIPS 準拠モードで実行されている場合、RC4 暗号化はサポートされません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server は Service Broker イベント ハンドラーを起動できません**

SQL Server Service Broker は Service Broker イベント ハンドラーを開始できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: 行にテーブルがないかインデックスに無効なキーがあります:**

テーブル (ヒープまたはクラスター化インデックス) 内の各データ行には、そのテーブルに対する各非クラスター化インデックス内の正確に一致するインデックス行が 1 つ含まれている必要があります。このエラーは、クラスター化されていないインデックスに特定のインデックス行が見つからないことを意味します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: インデックス付きビューには、ビュー定義で生成された行の一部が含まれていません。**

このエラーの詳細については、オンライン ブックを参照してください。ただしこのことが、このデータベースのデータとの整合性の問題になっているとは限りません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: トランザクションが、リソースで他のプロセスとデッドロックしました。トランザクションがデッドロックの対象として選択されています。トランザクションを再実行してください**

このエラーは、Microsoft SQL Server でデッドロックが検出されたときに発生します。デッドロックは、2 つ (またはそれ以上) のプロセスが、他のプロセスがロックしているリソースにアクセスしようとするときに発生します。それぞれのプロセスが別のリソースを要求するので、いずれのプロセスも完了できません。デッドロックが検出されると、SQL Server は処理時間が最小のコマンドをロールバックし、エラー メッセージ 1205 をクライアント アプリケーションに返します。このエラーは重大ではなく、バッチが終了される原因にはなりません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: テストが失敗しました。スロットが前の行とオーバーラップしています**

スロット オフセット配列内のスロット S\_ID のオフセットが、前のスロットの最後と等しいかそれ以上ではないため、スロットが重複しています。TEST は 'sorted [i].offset >= max' です。この式の左辺は ADDRESS で、'max' は前のスロットの最後です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 参照されているテーブルを開くことができませんでした**

スキーマ安定性ロック (LCK\_M\_SCH\_S または Sch-S) が保持されているテーブルの制約を追加、削除、または変更しようとしています。スキーマ安定性ロックは DDL と互換性がありません。ロックは、このテーブルに関係する、コンパイルに長時間かかるクエリによって保持されている可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 分散トランザクションは MSDTC によって中断されました**

このルールは、分散トランザクションが MSDTC によって中断された場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: プロセスのワーカーが、スケジューラで応答を停止している可能性があります**

このエラーは、スケジューラの応答していないスレッドに問題があることを示しています。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが無効になっているか、構成されていません**

このルールは、SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリング トランスポートが無効になっているか、構成されていないときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインに失敗しました: この時点では、パスワードを使用できません**

ユーザーがパスワードを変更しようとしましたが、指定したパスワードがその時点で使用できませんでした。Windows セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18463 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server アサーション (17067)**

SQL Server でエラーが生成されました。正常な状況では、SQL Server からログ ディレクトリにポストされたダンプ ファイルを使用して、エラーの直前に実行されたアクションを特定できます。エラーの原因としては、データの破損、クライアント アプリケーションのエラー、SQL Server のエラー、不安定なネットワーク、またはハードウェア障害が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: タイマー イベント キャッシュでエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker のトランスポート層のタイマー イベント キャッシュでエラーが発生しました。Windows アプリケーション ログまたは SQL Server エラー ログで具体的なエラーが見つかる場合があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: クエリ プロセッサの内部エラー: クエリ プロセッサは、クエリの最適化実行中にスタック領域不足になりました**

クエリ プロセッサがクエリを最適化するときに、限度内で大量のメモリ スタックを使用しています。たとえばクエリの引数に 100,000 の定数を含むような極端な状況では、大規模なクエリのためにスタック サイズがその限度に達することがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker マネージャーがシャットダウンしました**

このルールは、SQL Server Service Broker マネージャーがシャットダウンしたときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクトがクロス リンクしています。ページ PGID->next が同じインデックスではありません**

ページ P\_ID がページ P\_ID2 にリンクされていますが、2 つのページは別のインデックスまたはオブジェクトに割り当てられています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードの有効期限が切れました**

ユーザーが有効期限切れのパスワードで SQL Server にログインしようとしました。Windows セキュリティ ログのイベント ID 18487 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: I/O request taking longer than 15 seconds to complete (完了に 15 秒以上かかった I/O 要求)**

I/O 要求の完了に 15 秒より長くかかりました。SQL Server の I/O にボトルネックがある可能性があります。SQL Server のパフォーマンスは、ディスクのパフォーマンスに大きく依存します。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースのログは使用できません**

指定されたデータベースで、データ整合性に関する I/O エラーが発生しました。データベースのログまたはデータ部が壊れている可能性があります。SQL Server は、それ以上データ整合性の問題が起きないようにするために、そのデータベースのログを使用できないようにしています。9001 メッセージの原因となった I/O エラーは、SQL Server エラー ログまたは Windows イベント ログ、あるいはその両方に報告されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: エラーが発生したため、Service Broker/データベース ミラーリング トランスポートで接続をリッスンできませんでした**

このルールは、Service Broker が指定されたポートでリッスンできないときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースの一貫性エラーが見つかりました**

このメッセージは、データベース整合性確認でエラーが見つかり、エラーがまったく修復されなかったか、一部しか修復されなかったことを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース上で SQL Server Service Broker を起動できません**

このルールは、SQL Server がデータベースで Service Broker を起動できない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker メッセージ ディスパッチャーでエラーが発生しました**

SQL Server Service Broker メッセージ ディスパッチャーでエラーが発生しました。Windows アプリケーション ログまたは SQL Server エラー ログで具体的なエラーが見つかる場合があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: スロット、行が空き領域まで拡張されています**

スロット S\_ID の最後が、保存された空き領域オフセット ADDRESS を越えています。TEST は 'max <= m\_freeData' です。'm\_freeData' は保存された空き領域のオフセットで、'max' はスロット S\_ID の最後です。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードがパスワード フィルター DLL の要件を満たしていません**

ユーザーが、パスワード フィルター DLL の要件を満たしていないパスワードで SQL Server にアクセスしようとしました。Windows セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18467 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: 親および前のページが参照しているページがスキャンで見つかりませんでした。以前のエラーを確認してください**

B-tree 内のページ (P\_ID1) が、インデックス ページ (P\_ID2) でそれを子ページとして指し、ページ チェーン内の前のページ (P\_ID3) でチェーン内の次のページとしてそれを指しているにもかかわらず、見つかりませんでした。これは、B-tree のいずれのレベルでも発生する可能性があります。どちらのエラー状態も同じことを示しますが、エラーが検出された場所のみが異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル: 統計のない列は見つかりませんでした**

sp\_createstats を使用して統計を作成する対象となる列が現在のデータベース内にありません。計算列および ntext、text、または image データ型の列は、統計列として指定できません。既に統計が含まれている列は影響を受けません (インデックスの最初の列、または明示的に作成された統計を含む列など)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクト チェーンがクロス リンクしています**

DBCC CHECKDB の最初のフェーズで行われるのは、重要なシステム テーブルのデータ ページに対する初期チェックです。エラーが検出された場合は、それを修復できないため、DBCC CHECKDB は直ちに終了します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | 指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合、ワークフローは失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 共通言語ランタイム (CLR) を HRESULT で初期化できませんでした (6511)**

このルールは、アセンブリまたはアプリケーションの開始に失敗し HRESULT エラーがログに記録されるときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースのログ スキャンに渡された LSN は無効です**

起動時に SQL Server プロセスがデータベースの復旧を試行しているときに、または ATTACH ステートメントの結果としてこのメッセージが表示される場合は、データベースのログ ファイルが壊れています。復元処理中にこのメッセージが表示される場合は、バックアップ ファイルが壊れています。レプリケーション処理中にこのメッセージが表示される場合は、レプリケーション メタデータが壊れている可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ユーザー コードにより、.NET Framework ランタイムがシャットダウンされました**

このルールは、アセンブリのユーザー定義型、ユーザー定義関数、またはユーザー定義プロパティに問題のあるコードが含まれているときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル: 次の列の統計を作成しています**

sp\_createstats は、現在のデータベース内で適切な各列の統計を生成しました。計算列および ntext、text、または image データ型の列は、統計列として指定できません。既に統計が含まれている列は影響を受けません (インデックスの最初の列、または明示的に作成された統計を含む列など)。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Windows NT グループ/ユーザーに関する情報を取得できませんでした**

xp\_logininfo ストアド プロシージャ、スケジュールされたジョブ、またはレプリケーション エージェントなど、SQL Server 内または SQL Server エージェントから実行されたプロセスは、Windows で認証されたログインの資格情報を確認する必要があります。ドメイン上でこれらの資格情報を取得しようとする試みは、特定できない原因のため失敗しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ファイルを作成できません**

ファイルは既に存在するため、SQL Server はファイルを作成できません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: AppDomain マネージャーを作成できませんでした**

このルールは、SQL Server がアプリケーション ドメイン マネージャーを作成できなかった場合にアラートをトリガーします

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: オブジェクトの CHECKTABLE 処理でページを 2 回検出しました。内部エラーまたはアロケーション エラーの可能性があります**

スキャンの実行中にページ P\_ID が 2 回検出されました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: .NET Framework ランタイムで致命的なエラーが発生しました**

このルールは、エラーが原因で .NET Framework がシャットダウンするときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Service Broker が暗号化操作にメモリを割り当てられませんでした**

このルールは、SQL Service Broker が暗号化操作にメモリを割り当てられない場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 一意テーブル計算に失敗しました**

一意テーブルは、SQL Server 用の Microsoft Access ドライバーなどのデータベース クライアント ドライバーによって更新可能なクエリを構築するのに使用されます。特定の SELECT ステートメントで、一意テーブルは、行の値が結果セットに最大でも 1 回表示されるテーブルを特定します。結果セットから行を再選択すると、一意テーブルのキー列の値により、行を特定することができます。このエラーは、サーバーが一意テーブルを計算できない場合に発生します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースの復旧で、テーブルの ID 値の矛盾を検出しました**

データベース復旧プロセスは、指定されたテーブルの現在の ID 値を特定できませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードが長すぎます**

ユーザーがパスワードを作成しようとしましたが、指定したパスワードが長すぎました。Windows セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18465 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: プライマリ データベース ファイルを開けませんでした**

データベースのプライマリ ファイルを開くときに、オペレーティング システム エラーが発生しました。エラー メッセージには、発生した具体的なオペレーティング システム エラーが記載されています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: フルテキスト操作を完了できませんでした。ファイル グループが空、読み取り専用、またはオフラインです**

フルテキスト操作を完了できませんでした。ファイル グループが空、読み取り専用、またはオフラインです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XTP ディスク領域が不足しています**

このルールは、イベント 41822 をリッスンし、イベントがログに追加された場合に重大アラートを発生させます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: 次のポインターがページを参照しています。その親も見つかりませんでした。チェーン リンケージに問題がある可能性があります**

ページ (P\_ID1) がページ間のつながりで次のページ (P\_ID2) を参照していますが、B-Tree にページ P\_ID2 が見つからず、親ページによる参照もありませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースの一貫性エラーが見つかり、修復されました**

このメッセージは、データベース整合性確認でエラーが見つかり、すべてのエラーが修復されたことを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 最大接続数に達しています**

既定では、SQL Server はユーザー接続に必要なメモリを動的に管理します。ただし、接続の最大数は user connections 構成オプションを 0 以外の値に設定することにより固定値に設定できます。user connections オプションを 0 以外の値に設定することはお勧めできません。このオプションが 0 以外の値に設定されており、指定された接続数を超えた場合は、追加のログインを試行すると上記のメッセージが表示されて失敗します。値が 1 に設定されていると、SQL Server インスタンスが起動しないことがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 物理ファイルを開くことができません**

SQL Server は物理ファイルを開くことができませんでした。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 共通言語ランタイム (CLR) を HRESULT で初期化できませんでした (6512)**

このルールは、アセンブリまたはアプリケーションの開始に失敗し HRESULT エラーがログに記録されるときにアラートをトリガーします。Windows アプリケーション ログに特定の HRESULT に関する情報が含まれることがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: OLE DB プロバイダーを使用してステートメント オブジェクトを作成できませんでした**

このルールは、リンク サーバーに接続された OLE DB プロバイダーで SQL Server がステートメント オブジェクトを作成できなかった場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインに失敗しました: アカウントのロックアウト**

ユーザーが、ロックアウトされているアカウントを使用してネットワークにログインしようとしました。Windows セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18486 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログインに失敗しました: パスワードが短すぎます**

ユーザーがパスワードを変更しようとしましたが、指定したパスワードが短すぎました。Windows セキュリティ ログの MSSQLSERVER イベント ID 18464 にユーザー名が示されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server の Service Broker またはデータベース ミラーリングは、FIPS 準拠モードで実行されています**

このルールは、SQL Server Service Broker またはデータベース ミラーリングが FIPS 準拠モードで実行されているときにアラートをトリガーします。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: エラー ログ ファイルを開くことができませんでした**

Microsoft SQL Server を NTFS パーティションにインストールする場合は、NTFS ファイル アクセス許可で、読み取り/書き込みアクセス権が許可されていることを確認します。そうでない場合、このエラー メッセージが、(インストールが試行されるたびに) Microsoft Windows NT のアプリケーション ログに記録されることがあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: アドレスが無効です**

アドレス ADDRESS の構造が 4 バイトで整列していません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XML: XML エラー**

このメッセージは、SQL Server 外で生成された XML エラーの後に発生します。"XML エラー:" に続くテキストは異なります。この原因は、発生した XML エラーによって異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 再試行後の I/O 操作は成功しました**

データベース ページまたはトランザクション ログ ブロックの読み取り操作は成功しましたが、操作の再試行が必要でした。 早急に対処する必要はありませんが、エラーの原因を調べてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: プロバイダーが予期しない重大なエラーをレポートしました**

プロバイダーが予期しない重大なエラーをレポートしました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ファイル グループ ID が、データベースの sys.Filegroups に見つかりませんでした**

テーブルのメタデータには、これまでテーブルで使用された最大の列 ID よりも大きい列 ID が含まれています。メタデータが壊れているとチェックを続行できないため、テーブルがシステム テーブルの場合、これは重大なエラーです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XML: サーバーのメモリが不足しているので、XML ドキュメントを作成できませんでした。sp\_xml\_removedocument を使用して、XML ドキュメントを解放してください**

sp\_xml\_preparedocument を実行すると、解析された XML ドキュメントが SQL Server 2000 の内部キャッシュに格納されます。MSXML パーサーでは、SQL Server で利用可能な総メモリの 8 分の 1 までが使用されます。キャッシュの中で MSXML に割り当てられた部分に、sp\_xml\_preparedocument ステートメントで指定されたドキュメントを開くための十分なメモリがありません。これは、指定されたドキュメントが大きすぎるか、またはそのメモリ領域に既にあるドキュメントによって新しいドキュメントに必要な領域が残されていないためである可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: IAM ページはオブジェクトの IAM チェーンにリンクされています**

インデックスのすべての IAM ページのインデックス ID が同じになっている必要があります。この場合、インデックス I\_ID2 の IAM チェーン内にリンクされた IAM ページのいずれかのインデックス ID が I\_ID1 になっています。このエラーの場合に考えられる 3 つの状態があります。それらはすべて同じことを意味しますが、検出が行われる場所が異なります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker の暗号化操作に失敗しました**

このルールは SQL Server Service Broker の暗号化操作が失敗したときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベースまたはトランザクション ログ ファイルを開けませんでした**

データベースのトランザクション ログ ファイルまたはセカンダリ データベース ファイルを開くときに、オペレーティング システム エラーが発生しました。エラー メッセージには、発生した具体的なオペレーティング システム エラーが記載されています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: サーバーの MSDTC は使用できません**

このルールは、サーバー上の MSDTC が使用できないときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: MSDTC トランザクションの登録に失敗しました**

このルールは、SQL Server が新規または既存の分散トランザクションを登録できなかった場合にアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: クエリ プロセッサは、クエリの並列実行に必要なスレッド リソースを開始できませんでした**

サーバーでスレッド リソースが不足しています。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: CREATE FILE でオペレーティング システム エラーが発生しました**

CREATE FILE でオペレーティング システム エラーが発生しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker プロシージャの出力結果**

SQL Server Service Broker が内部でアクティブ化したストアド プロシージャが結果を出力しました。内部プロシージャでは結果を出力しません。Windows アプリケーション ログのイベントに、プロシージャ名、キュー名、および出力結果が含まれます。イベントは MSSQLSERVER イベント ID 9724 として記録されます。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 0 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 0 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server Service Broker ダイアログがエラーを検出しました**

このルールは、SQL Server Service Broker ダイアログがエラーを検出したときにアラートをトリガーします。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 共通言語ランタイム (CLR) が正しくインストールされていません**

このインストール環境の共通言語ランタイム (CLR) が壊れています。CLR は Microsoft .NET Framework と共にインストールされます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブル エラー: オブジェクトがクロス リンクしています: オブジェクトの親ページが次に参照するページが同じオブジェクトにありません**

指定されたオブジェクトの B-tree 内のページ P\_ID2 の次のページを指すポインターとページ P\_ID1 の子ページを指すポインターが、別のオブジェクトのページ (P\_ID3) を指しています。さらに、ページ P\_ID1 および P\_ID2 自体が異なるオブジェクトにある可能性もあります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ページを読み取りまたはラッチできませんでした**

なんらかの理由でページの読み取りに失敗したか (同時に発生したエラーを参照)、またはラッチを取得できませんでした (エラー ログにラッチ タイムアウト メッセージが表示されることもあります)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XML: ストリームから要求されたデータ チャンクのサイズが、許可されている上限を超えています**

SQL Server が、制限値を超えている XML ドキュメントを受信しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ファイル ID への参照が無効です**

このエラーは、SQL Server が、なんらかの操作を実行中に無効なファイル ID を使用したときに発生します。このエラーは、複数の異なるシナリオで発生する可能性があります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 2 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL Server アサーション (17065)**

SQL Server でエラーが生成されました。正常な状況では、SQL Server からログ ディレクトリにポストされたダンプ ファイルを使用して、エラーの直前に実行されたアクションを特定できます。エラーの原因としては、データの破損、クライアント アプリケーションのエラー、SQL Server のエラー、不安定なネットワーク、またはハードウェア障害が考えられます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: MSSQLServer サービスが予期せず終了しました**

このエラーは、SQL Server エージェント サービスによって、SQL Server が自動再起動されたときに報告されます。SQL Server エージェントが SQL Server を自動再起動するのは、ユーザーまたはアプリケーションからの明示的な停止コマンド以外の理由で SQL Server が停止した場合と、SQL Server エージェントの詳細プロパティで [予期しない停止時に SQL Server を自動的に再起動する] オプションが選択されている場合のみです。SQL Server の再起動中、SQL Server エージェントは、SQL Server をホストしているコンピューターのアプリケーション イベント ログにこのメッセージを書き込みます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジン - ルール (アラート)**

**Windows 上の MSSQL: SQL Server DB エンジンの再起動**

SQL Server DB エンジンの再起動を検出します。注: このルールは既定では無効になっています。必要に応じて上書きを使用し、モニターを有効にしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | いいえ | | 警告の生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 使用できない時間 (秒) | ワークフローでは、イベント サービスの停止後、この時間内にサービス開始イベントをキャッチしようとします。 | 900 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジン - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O のバイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O のバイト数" (Receive I/O bytes/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P6 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P6 送信数" (Message Fragment P6 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 開いている接続の数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 開いている接続の数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Read (読み取り 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Read" (読み取り 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P1 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P1 送信数" (Message Fragment P1 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Messages Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Messages Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: 1 秒あたりの書き込み数**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: 1 秒あたりの書き込み数" (Writes per Second) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル ユニーク違反数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "Cursor unique violations/sec" (1 秒あたりのカーソル ユニーク違反数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Message Fragment Send Size Average (平均メッセージ フラグメント送信サイズ)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Message Fragment Send Size Average" (平均メッセージ フラグメント送信サイズ) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P9 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P9 メッセージ数" (Enqueued P9 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Write (書き込み 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Write" (書き込み 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに削除されたスウィープ期限切れの行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Sweep expired rows removed/sec" (1 秒あたりに削除されたスウィープ期限切れの行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりにユーザーにより中断されたトランザクションの数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Transactions aborted by user/sec" (1 秒あたりにユーザーにより中断されたトランザクションの数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに開始されたカーソル スキャンの数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "Cursor scans started/sec" (1 秒あたりに開始されたカーソル スキャンの数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P7 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P7 送信数" (Message Fragment P7 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのトランザクション中断数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Transactions aborted/sec" (1 秒あたりのトランザクション中断数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Bytes/Read (読み取りあたりの平均バイト数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Bytes/Read" (読み取りあたりの平均バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O 数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O 数" (Receive I/Os/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: クレジット スロットの不足数**

XTP IO レート ガバナーについて Windows の "Missed Credit Slots" (実行されなかったクレジット スロット数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたトランスポート メッセージ フラグメント数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたトランスポート メッセージ フラグメント数" (Enqueued Transport Msg Frags/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Write Comp (書き込み完了 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Write Comp" (書き込み完了 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたローカル メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたローカル メッセージ数" (Enqueued Local Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Dropped Messages Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Dropped Messages Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジンの CPU 使用率 (%)**

Windows 上の MSSQL DB エンジンの CPU 使用率 (%) のパフォーマンス収集ルール。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに開始されたファントム スキャン数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Windows の "Phantom scans started/sec" (1 秒あたりに開始されたファントム スキャン数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりの SQL SEND 数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりの SQL SEND 数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Messages per Second (1 秒あたりの転送メッセージ数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Message per Second" (1 秒あたりの転送メッセージ数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Transfers per Second (1 秒あたりの転送数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Transfers per Second" (1 秒あたりの転送数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数 (スウィープが不要なもの)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Rows processed/sec (no sweep needed)" (1 秒あたりの処理行数 (スウィープが不要なもの)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: バッファー キャッシュ ヒット率**

Windows 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Windows の "バッファー キャッシュ ヒット率" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Pending Message Count (転送済み保留メッセージ数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Pending Message Count" (転送済み保留メッセージ数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: エンキューされたローカル メッセージの合計数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: エンキューされたローカル メッセージの合計数" (Enqueued Local Messages Total) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのセーブ ポイント更新数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Save points refreshes/sec" (1 秒あたりのセーブ ポイント更新数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P1 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P1 メッセージ数" (Enqueued P1 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 閉じられたチェックポイント数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Windows の "Checkpoints Closed" (終了したチェックポイント数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (ファントムによる)**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Windows の "Dusty corner scan retries/sec (Phantom-issued)" (1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (ファントムによる)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Message Fragment Receive Size Average (平均メッセージ フラグメント受信サイズ)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Message Fragment Receive Size Average" (平均メッセージ フラグメント受信サイズ) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作された行数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "Rows touched/sec" (1 秒あたりに操作された行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 発行されたレート オブジェクトの合計数**

XTP IO レート ガバナーについて Windows の "Total Rate Objects Published" (公開されたオブジェクトの合計比率) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作されたスウィープ期限切れの行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Sweep expired rows touched/sec" (1 秒あたりに操作されたスウィープ期限切れの行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Read Bytes per Second (1 秒あたりの読み取りバイト数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Read Bytes per Second" (1 秒あたりの読み取りバイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: タスク制限到達**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: タスク制限到達" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの並列 GC 作業項目数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Parallel GC work item/sec" (1 秒あたりの並列 GC 作業項目数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P5 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P5 メッセージ数" (Enqueued P5 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P2 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P2 送信数" (Message Fragment P2 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P9 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P9 送信数" (Message Fragment P9 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作された期限切れの行数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "1 秒あたりに操作された期限切れの行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの発行された IO 数**

XTP IO レート ガバナーについて Windows の "Io Issued/sec" (1 秒あたりに発行された Io 数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作されたスウィープ行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Sweep rows touched/sec" (1 秒あたりに操作されたスウィープ行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: エンキューされたトランスポート メッセージの合計数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: エンキューされたトランスポート メッセージの合計数" (Enqueued Transport Msgs Total) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに準備された読み取り専用トランザクション数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Read-only transactions prepared/sec" (1 秒あたりに準備された読み取り専用トランザクション数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの取得されたコミット依存関係の数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Commit dependencies taken/sec" (1 秒あたりの取得されたコミット依存関係の数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Enqueued Messages Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Enqueued Messages Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジンの平均待機時間 (ミリ秒)**

Windows 上の SQL DB エンジンの平均待機時間のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのログ書き込みバイト数**

SQL Server の XTP トランザクション ロギングについて、Windows の "Log bytes written/sec" (1 秒あたりのログ書き込みバイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P2 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P2 メッセージ数" (Enqueued P2 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの送信 I/O 数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの送信 I/O 数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: HTTP Storage I/O Retry per Second (1 秒あたりの HTTP ストレージ I/O 再試行回数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: HTTP Storage I/O Retry per Second" (1 秒あたりの HTTP ストレージ I/O 再試行回数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Pending Bytes for Receive I/O (受信 I/O の保留中バイト数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Pending Bytes for Receive I/O" (受信 I/O の保留中バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数 (リンク解除のマークが付いたもの)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Rows processed/sec (marked for unlink)" (1 秒あたりの処理行数 (リンク解除のマークが付いたもの)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの送信 I/O のバイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの送信 I/O のバイト数" (Send I/O bytes/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P4 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P4 メッセージ数" (Enqueued P4 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P10 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P10 メッセージ数" (Enqueued P10 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Total Bytes per Second (1 秒あたりの合計バイト数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Total Bytes per Second" (1 秒あたりの合計バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたトランスポート メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Enqueued Transport Msgs/sec" (1 秒あたりのエンキューされたトランスポート メッセージ数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Pending Message Bytes (転送済み保留メッセージ バイト数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Pending Message Bytes" (転送済み保留メッセージ バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのクレジット不足による待機数**

XTP IO レート ガバナーについて Windows の "Insufficient Credits Waits/sec" (1 秒あたりの不十分なクレジット待機数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Message Byte Total (合計転送メッセージ バイト数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Message Byte Total" (合計転送メッセージ バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: HTTP Storage I/O Failed per Second (1 秒あたりの HTTP ストレージ I/O 失敗回数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: HTTP Storage I/O Failed per Second" (1 秒あたりの HTTP ストレージ I/O 失敗回数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 未解決のマージ要求数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Windows の "Merge Requests Outstanding" (未解決のマージ要求数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの検証に失敗したトランザクション数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Transaction validation failure/sec" (1 秒あたりに失敗したトランザクション検証の数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに返された行数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "1 秒あたりに返された行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのロック タイムアウト数**

Windows 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Windows の "1 秒あたりのロック タイムアウト数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル削除数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "Cursor deletes/sec" (1 秒あたりのカーソル削除数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのデッドロック数**

Windows 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Windows の "1 秒あたりのデッドロック数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのログ書き込みレコード数**

SQL Server の XTP トランザクション ロギングについて、Windows の "Log records written/sec" (1 秒あたりのログ書き込みレコード数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Current Message Fragments for Send I/O (送信 I/O の現在のメッセージ フラグメント数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Current Message Fragments for Send I/O" (送信 I/O の現在のメッセージ フラグメント数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント受信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント受信数" (Message Fragment Receives/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Rows processed/sec" (1 秒あたりの処理行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: エンキューされたトランスポート メッセージ フラグメント合計数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: エンキューされたトランスポート メッセージ フラグメント合計数" (Enqueued Transport Msg Frag Tot) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのメイン GC 作業項目数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Main GC work items/sec" (1 秒あたりのメイン GC 作業項目数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: SQL Receive Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: SQL Receive Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P6 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P6 メッセージ数" (Enqueued P6 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに作成されたセープ ポイント数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Save points created/sec" (1 秒あたりに作成されたセープ ポイント数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク制限到達回数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク制限到達回数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: 1 秒あたりの読み取り数**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: 1 秒あたりの読み取り数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Pending Bytes for Send I/O**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Pending Bytes for Send I/O" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル更新数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "Cursor updates/sec" (1 秒あたりのカーソル更新数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作された、スウィープ期限切れ間近の行数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Sweep expiring rows touched/sec" (1 秒あたりに操作された、スウィープ期限切れ間近の行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Bytes/Write (書き込みあたりの平均バイト数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Bytes/Write" (書き込みあたりの平均バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの SQL コンパイル数**

Windows 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Windows の "1 秒あたりの SQL コンパイル数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの削除されたファントム期限切れの行数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Windows の "Phantom expired rows removed/sec" (1 秒あたりに開始されたファントム期限切れの行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P8 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P8 メッセージ数" (Enqueued P8 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに削除された期限切れの行数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "1 秒あたりに削除された期限切れの行数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P7 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P7 メッセージ数" (Enqueued P7 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作されたファントム期限切れ間近の行数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Windows の "Phantom expiring rows touched/sec" (1 秒あたりに操作されたファントム期限切れ間近の行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのロック待機数**

Windows 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Windows の "1 秒あたりのロック待機数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの古いレート オブジェクトの待機数**

XTP IO レート ガバナーについて Windows の "Stale Rate Object Waits/sec" (1 秒あたりの古いレート オブジェクト待機数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P5 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P5 送信数" (Message Fragment P5 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに開始されたスウィープ スキャン数**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Sweep scans started/sec" (1 秒あたりに開始されたスウィープ スキャン数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O バッファー コピー バイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりの受信 I/O バッファー コピー バイト数" (Recv I/O Buffer Copies bytes/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Message Discarded Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Message Discarded Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント送信数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: 1 秒間に呼び出されたストアド プロシージャ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: 1 秒間に呼び出されたストアド プロシージャ数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりの SQL RECEIVE 数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりの SQL RECEIVE 数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル挿入数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "Cursor inserts/sec" (1 秒あたりのカーソル挿入数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: マージされたファイルの合計数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Windows の "Total Files Merged" (マージされたファイルの合計数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク中断回数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク中断回数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのセーブ ポイント ロールバック数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Save points rollbacks/sec" (1 秒あたりのセーブ ポイント ロールバック数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Dialog Timer Event Count**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Dialog Timer Event Count" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (ユーザーによる)**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "Dusty corner scan retries/sec (user-issued)" (1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (ユーザーによる)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Send I/O Len Average (平均送信 I/O 長)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Send I/O Len Average" (平均送信 I/O 長) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P3 メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた P3 メッセージ数" (Enqueued P3 Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P3 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P3 送信数" (Message Fragment P3 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのカーソル書き込み競合数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "Cursor write conflicts/sec" (1 秒あたりのカーソル書き込み競合数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた TransmissionQ メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされた TransmissionQ メッセージ数" (Enqueued TransmissionQ Msgs/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのログ ブロック数**

XTP IO レート ガバナーについて Windows の "Log Blocks/sec" (1 秒あたりのログ ブロック数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのロック要求数**

Windows 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Windows の "1 秒あたりのロック要求数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Message Bytes per Second (1 秒あたりの転送メッセージ バイト数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Message Bytes per Second" (1 秒あたりの転送メッセージ バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (GC による)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "1 秒あたりのダスティ コーナー スキャン再試行数 (GC による)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Read Comp (読み取り完了 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Read Comp" (読み取り完了 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジンのスレッド数**

SQL DB エンジンのスレッド数のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Write Bytes per Second (1 秒あたりの書き込みバイト数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Write Bytes per Second" (1 秒あたりの書き込みバイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: マージ ポリシー評価数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Windows の "Merge Policy Evaluations" (マージ ポリシー評価数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: インストールされたマージ数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Windows の "Merges Installed" (インストールされたマージ数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: SQL ユーザー接続**

SQL Server に現在接続しているユーザー数。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのログイン数**

開始されるログインの秒単位の総数。これには、プールされた接続は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: SQL Send Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: SQL Send Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの操作されたファントム行数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Windows の "Phantom rows touched/sec" (1 秒あたりに操作されたファントム行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 完了したチェックポイント数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Windows の "Checkpoints Completed" (完了したチェックポイント数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたメッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのエンキューされたメッセージ数" (Enqueued Messages/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのトランザクション数合計**

Windows 上の SQL DB エンジンの各インスタンスの、データベース パフォーマンス オブジェクトの \_Total インスタンスについて、Windows の "Transactions/sec" (1 秒あたりのトランザクション数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 完了したコア マージ数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Windows の "Core Merges Completed" (完了したコア マージ数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりに操作された仮削除行の数**

内部 XTP エンジン カーソルについて、Windows の "Tentatively-deleted rows touched/sec" (1 秒あたりに操作された仮削除行の数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Broker Transaction Rollbacks**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Broker Transaction Rollbacks" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのトランザクション作成数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Transactions created/sec" (1 秒あたりのトランザクション作成数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 破棄されたマージ数**

XTP エンジンのストレージ サブシステムについて、Windows の "Merges Abandoned" (破棄されたマージ数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Activation Errors Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Activation Errors Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク開始回数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: 1 秒あたりのタスク開始回数" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Bytes/Transfer (転送あたりの平均バイト数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Bytes/Transfer" (転送あたりの平均バイト数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P8 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P8 送信数" (Message Fragment P8 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P10 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P10 送信数" (Message Fragment P10 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数 (最初にバケットに存在し、削除されたもの)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Rows processed/sec (first in bucket and removed)" (1 秒あたりの処理行数 (最初にバケットに存在し、削除されたもの)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: 未解決 HTTP ストレージ I/O**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: 未解決 HTTP ストレージ I/O" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Forwarded Messages Discarded per Second (1 秒あたりの転送メッセージ破棄数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Forwarded Messages Discarded per Second" (1 秒あたりの転送メッセージ破棄数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 受信 I/O バッファー コピー回数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 受信 I/O バッファー コピー回数" (Recv I/O Buffer Copies Count) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの操作されたファントム期限切れの行数**

XTP エンジンのファントム処理サブシステムについて、Windows の "Phantom expired rows touched/sec" (1 秒あたりに操作されたファントム期限切れの行数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジンの流用されたサーバー メモリ (MB)**

Windows での SQL DB エンジンの流用されたサーバー メモリ (MB) のパフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジンのページの予測保持期間 (秒)**

Windows 上の SQL DB エンジンのページの予測保持期間 (秒) パフォーマンス収集ルール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: Corrupted Messages Total**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: Corrupted Messages Total" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの処理行数 (最初にバケットに存在したもの)**

XTP エンジンのガベージ コレクターについて、Windows の "Rows processed/sec (first in bucket)" (1 秒あたりの処理行数 (最初にバケットに存在したもの)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 受信 I/O の現在のバイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 受信 I/O の現在のバイト数" (Current Bytes for Recv I/O) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Pending Message Fragments for Send I/O (送信 I/O の保留メッセージ フラグメント数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Pending Message Fragments for Send I/O" (送信 I/O の保留メッセージ フラグメント数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker 統計: 1 秒あたりのデキューされた TransmissionQ メッセージ数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker 統計: 1 秒あたりのデキューされた TransmissionQ メッセージ数" (Broker Statistics: Dequeued TransmissionQ Messages per Second) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker のアクティブ化: Tasks Running**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker のアクティブ化: Tasks Running" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: Pending Message Fragments for Receive I/O (受信 I/O の保留メッセージ フラグメント数)**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Pending Message Fragments for Receive I/O" (受信 I/O の保留メッセージ フラグメント数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P4 送信数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 1 秒あたりのメッセージ フラグメント P4 送信数" (Message Fragment P4 Sends/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 送信 I/O の現在のバイト数**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: 送信 I/O の現在のバイト数" (Current Bytes for Send I/O) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: HTTP ストレージ: Average Microseconds/Transfer (転送 1 回あたりの平均マイクロ秒数)**

Microsoft Azure Storage アカウントを監視する SQL DB エンジンについて、"HTTP ストレージ: Average Microseconds/Transfer" (転送 1 回あたりの平均マイクロ秒数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりの SQL の再コンパイル数**

Windows 上の SQL DB エンジンの各インスタンスについて、Windows の "1 秒あたりの SQL の再コンパイル数" (SQL Recompiles/sec) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Broker/DBM トランスポート: 平均受信 I/O 長**

SQL DB エンジンの各インスタンスについて、"Broker/DBM トランスポート: Receive I/O Len Average" (平均受信 I/O 長) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 1 秒あたりのカスケード中断の数**

SQL Server の XTP エンジン トランザクションについて、Windows の "Cascading aborts/sec" (1 秒あたりのカスケード中断の数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジン - タスク**

**グローバル構成設定**

グローバル構成設定。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB エンジン - コンソール タスク**

**SQL Management Studio**

**SQL Profiler**

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル**

Windows 上の Microsoft SQL Server データベース ファイル。

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル - 検出**

**Windows 上の MSSQL: SQL Server DB ファイルの検出**

このルールは、Windows 上の各 SQL Server データベースのファイル情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル - ユニット モニター**

**DB ファイルの残り空き領域**

モニターは、空き領域 (割り当て済みの領域と、メディア上の空き領域の両方を含む) が警告しきい値の設定を下回った場合に警告を報告します。このしきい値は、データ サイズとディスクの空き領域の合計に対する割合で表されます。このモニターは、空き領域が重大しきい値を下回った場合に重大アラートを報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | モニターは、値がこのしきい値を下回ると状態を警告に変更します。 | 20 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: DB File Allocated Free Space (%) (DB ファイル割り当て済み空き領域 (%))**

ファイル内の残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ファイルの空き領域の合計 (%)**

ファイル内の残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ファイルの空き領域の合計 (MB)**

ファイル内の残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB File Allocated Free Space (MB) (DB ファイル割り当て済み空き領域 (MB))**

ファイル内の残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル グループ**

Windows 上の Microsoft SQL Server データベース ファイル グループ。

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: SQL Server DB ファイル グループの検出**

このルールは、Windows 上の各 SQL Server データベースのファイル グループ情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**DB ファイルのセキュリティ**

すべての DB ファイル セキュリティ モニターを DB ファイル グループにロールアップします。

**DB ファイルの可用性**

すべての DB ファイル可用性モニターを DB ファイル グループにロールアップします。

**DB ファイルの構成**

すべての DB ファイル構成モニターを DB ファイル グループにロールアップします。

**DB ファイルのパフォーマンス**

すべての DB ファイル パフォーマンス モニターを DB ファイル グループにロールアップします。

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル グループ - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL : DB ファイル グループ割り当て済み空き領域 (%)**

このファイル グループのすべてのファイルに対する、残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル グループの空き領域の合計 (MB)**

このファイル グループのすべてのファイルに対する、残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル グループ割り当て済み空き領域 (MB)**

このファイル グループのすべてのファイルに対する、残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ファイル グループの空き領域の合計 (%)**

データベースのファイル グループの空き領域を割合で収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB FILESTREAM ファイル グループ**

Windows 上の Microsoft SQL Server FILESTREAM ファイル グループ。

**Windows 上の MSSQL: DB FILESTREAM ファイル グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: FILESTREAM ファイル グループの検出**

このルールは、Windows 上の各 SQL Server データベースの DB FILESTREAM ファイル グループ情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB FILESTREAM ファイル グループ - ユニット モニター**

**DB FILESTREAM ファイル グループ空き領域**

モニターは、空き領域がデータ サイズの合計の割合 (%) で指定された警告しきい値設定を下回る場合に警告を報告します。このモニターは、空き領域が重大しきい値を下回った場合に重大アラートを報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | モニターは、値がこのしきい値を下回ると状態を警告に変更します。 | 20 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB FILESTREAM ファイル グループ - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: DB FILESTREAM ファイル グループの空き領域の合計 (%)**

FILESTREAM ファイル グループのデータ コンテナーの空き領域を割合で収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB FILESTREAM ファイル グループの空き領域の合計 (MB)**

FILESTREAM ファイル グループのデータ コンテナーの空き領域をメガバイト単位で収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ログ ファイル**

Windows 上の Microsoft SQL Server データベース トランザクション ログ ファイル。

**Windows 上の MSSQL: DB ログ ファイル - 検出**

**Windows 上の MSSQL: SQL Server トランザクション ログ ファイルの検出**

このルールは、Windows 上の各 SQL Server データベースのトランザクション ログ ファイルを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ログ ファイル - ユニット モニター**

**DB ログ ファイルの残り空き領域**

モニターは、空き領域 (割り当て済みの領域と、メディア上の空き領域の両方を含む) が警告しきい値の設定を下回った場合に警告を報告します。このしきい値は、データ サイズとディスクの空き領域の合計に対する割合で表されます。このモニターは、空き領域が重大しきい値を下回った場合に重大アラートを報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を重大に変更します。 このしきい値と警告しきい値の間 (両方のしきい値を含む) にあると、モニターが警告状態になります。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | モニターは、値がこのしきい値を下回ると状態を警告に変更します。 | 20 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ログ ファイル - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: DB Log File Allocated Free Space (%) (DB ログ ファイル割り当て済み空き領域 (%))**

このデータベースのすべてのログ ファイルに対する、残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ログ ファイルの空き領域の合計 (MB)**

このデータベースのすべてのログ ファイルに対する、残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB ログ ファイルの空き領域の合計 (%)**

このデータベースのすべてのログ ファイルに対する、残りの領域のサイズ (割合)。自動拡張が有効にされたファイルをホストしているメディア上の残りの領域も含まれます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB Log File Allocated Free Space (%) (DB ログ ファイル割り当て済み空き領域 (MB))**

このデータベースのすべてのログ ファイルに対する、残りの領域のサイズ (メガバイト単位)。自動拡張が有効にされた、ファイルをホストしているメディア上の残りの領域は含まれません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ コンテナー**

Windows 上の Microsoft SQL Server データベース メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナー。

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ コンテナー - 検出**

**Windows 上の MSSQL: メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーの検出**

このルールは、Windows 上の各 SQL Server データベースのコンテナー情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ コンテナー - ユニット モニター**

**メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーの空き領域**

このモニターは、メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーの使用可能なディスク領域が警告のしきい値設定 (メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーのサイズとディスクの空き領域の合計に対する割合で表される) を下回るときに、警告を出します。このモニターは、空き領域が重大しきい値を下回った場合に重大アラートを報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 重大しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を重大に変更します。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | | 警告しきい値 | 値がこのしきい値を下回る場合、モニターは状態を警告に変更します。 | 20 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ コンテナー - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナー空き領域 (MB)**

メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーで使用可能な空き領域の量を収集します (メガバイト単位)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナー空き領域 (%)**

メモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーの使用可能な空き領域の量を収集し、ディスクの空き領域とメモリ最適化データ ファイル グループ コンテナーに保存されるデータのサイズの合計に対する割合で表します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ**

Windows 上の Microsoft SQL Server データベース メモリ最適化データ ファイル グループ。

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: メモリ最適化データ ファイル グループの検出**

このルールは、Windows 上の各 SQL Server データベースのメモリ最適化データ ファイル グループ情報を検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ - ユニット モニター**

**ハッシュ インデックス内の空のバケットの割合**

このモニターは、SQL データベースのハッシュ インデックスの空のバケット数を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 表示インデックス数 | ベスト プラクティスに従って構成されていないインデックスの表示数。 | 5 | | 空のバケットの割合しきい値 | ハッシュ インデックス内の空のバケットの数を示す空のバケットの割合のしきい値です。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**メモリ最適化データの古いチェックポイント ファイル ペア率**

メモリ最適化データ ファイル グループの古いチェックポイント ファイル ペアの比率が指定されたしきい値を上回った場合、モニターは警告状態を報告し、アラートをトリガーします。  
アラートは、対応するデータベースがかなり大きい (合計で 300 以上のチェックポイント ファイル) 場合にのみ生成されますのでご注意ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | チェックポイント ファイル ペアのしきい値 | チェックポイント ファイル ペアの合計数がチェックポイント ファイル ペアのしきい値以上の場合、アラートが生成されます。 | 300 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された比率はこのパラメーターと比較されます。 | 60 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの、ワークフローの許容実行時間を指定します。 | 200 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**XTP 構成**

このモニターは、SQL データベース XTP 構成の状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**ハッシュ バケット内の行チェーンの平均の長さ**

このモニターは、SQL データベース内ハッシュ インデックスの空のバケット数と行チェーンの平均の長さを確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 平均チェーン長しきい値 | ハッシュ バケット内の行チェーンの平均の長さを示す平均チェーン長のしきい値。 | 100 | | 表示インデックス数 | ベスト プラクティスに従って構成されていないインデックスの表示数。 | 5 | | 空のバケットの割合しきい値 | ハッシュ インデックス内の空のバケットの数を示す空のバケットの割合のしきい値です。 | 10 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 43200 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**コンテナーの構成**

すべてのコンテナー構成モニターを DB メモリ最適化データ ファイル グループにロールアップします。

**コンテナーのパフォーマンス**

すべてのコンテナー パフォーマンス モニターを DB メモリ最適化データ ファイル グループにロールアップします。

**コンテナーのセキュリティ**

すべてのコンテナー セキュリティ モニターを DB メモリ最適化データ ファイル グループにロールアップします。

**コンテナーの可用性**

すべてのコンテナー可用性モニターを DB メモリ最適化データ ファイル グループにロールアップします。

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループ - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: インデックスによって使用されているメモリ (MB)**

Windows 上の指定された SQL Server データベースのメモリ最適化テーブルで定義されたインデックスに割り当てられたメモリ量を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループの空き領域の合計 (MB)**

メモリ最適化データ ファイル グループのすべてのコンテナーで使用可能な空き領域のサイズを収集します (メガバイト単位)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XTP コントローラーの DLC 待機時間/フェッチ**

メモリ最適化テーブルが含まれる SQL データベースについて、Windows の "XTP コントローラーの DLC 待機時間/フェッチ" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 作成中のチェックポイント ファイル ペア**

メモリ最適化データ ファイル グループの作成中のチェックポイント ファイル ペアの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: マージ ターゲット チェックポイント ファイル ペア**

メモリ最適化データ ファイル グループのマージ ターゲット チェックポイント ファイル ペアの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: DB メモリ最適化データ ファイル グループの空き領域の合計 (%)**

メモリ最適化データ ファイル グループのすべてのコンテナーで使用可能な空き領域の量を収集し、ディスクの空き領域とメモリ最適化データ ファイル グループに保存されるデータのサイズの合計に対する割合で表します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | Azure 最大ファイル サイズ (MB) | Azure Blob ストレージに格納されるデータ ファイルの最大サイズ。ワークフローでは、この値を各ファイルの最大ストレージ容量と見なします。 | 1048576 | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: テーブルによって使用されているメモリ (MB)**

Windows 上の指定された SQL Server データベースのメモリ最適化テーブルに割り当てられたメモリ量を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XTP コントローラーの DLC ピーク待機時間**

メモリ最適化テーブルが含まれる SQL データベースについて、Windows の "XTP コントローラーの DLC ピーク待機時間" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 使用された XTP メモリ (KB)**

メモリ最適化テーブルが含まれる SQL データベースについて、Windows の "使用された XTP メモリ (KB)" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: XTP コントローラーの処理ログ数/秒**

メモリ最適化テーブルが含まれる SQL データベースについて、Windows の "XTP コントローラーの処理ログ数/秒" パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 事前に作成されたチェックポイント ファイル**

メモリ最適化データ ファイル グループの事前作成されたチェックポイント ファイルの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ログの切り捨て処理を待機するチェックポイント ファイル ペア**

メモリ最適化データ ファイル グループのログの切り捨てを待機中のチェックポイント ファイルの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: アクティブ チェックポイント ファイル ペア**

メモリ最適化データ ファイル グループのアクティブ チェックポイント ファイル ペアの数を収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 既定のリソース プール**

Windows 上の Microsoft SQL Server の既定のリソース プール。

**Windows 上の MSSQL: 既定のリソース プール - 検出**

**Windows 上の MSSQL: モリ最適化データ リソースを管理するデータベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、対象の SQL Server データベースのメモリ最適化データ リソースおよびリソース プールとデータベースの間の関係を管理するリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、SQL Server DB エンジンの特定のインスタンスに対するすべてのリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | メモリ最適化データのないプールは無視します | "True" または "False" を指定する必要があります。このプロパティを true に設定すると、検出はバインドされたデータベースのあるプールのみを検出します。データベースは、sys.sp\_xtp\_bind\_db\_resource\_pool 関数を使ってプールにバインドできます。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: Windows 可用性レプリカのグループ**

Windows 可用性レプリカのグループ。

**Windows 上の MSSQL: Windows 可用性レプリカのグループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: Windows 可用性レプリカのグループの設定**

Windows 可用性レプリカのグループを設定します。

**Windows 上の MSSQL: Windows データベース レプリカのグループ**

Windows データベース レプリカのグループ。

**Windows 上の MSSQL: Windows データベース レプリカのグループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: Windows データベース レプリカのグループの設定**

Windows データベース レプリカのグループを設定します。

**Windows 上の MSSQL: 内部リソース プール**

Windows 上の Microsoft SQL Server の内部リソース プール。

**Windows 上の MSSQL: 内部リソース プール - 検出**

**Windows 上の MSSQL: データベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、SQL Server DB エンジンの特定のインスタンスに対するすべてのリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | メモリ最適化データのないプールは無視します | "True" または "False" を指定する必要があります。このプロパティを true に設定すると、検出はバインドされたデータベースのあるプールのみを検出します。データベースは、sys.sp\_xtp\_bind\_db\_resource\_pool 関数を使ってプールにバインドできます。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ローカル DB**

Windows 上の Microsoft SQL Server ローカル データベース。

**Windows 上の MSSQL: ローカル DB - ユニット モニター**

**Windows 上の MSSQL: SQL Server の Windows サービス**

このモニターは、ローカル SQL Server データベース エンジン サービスの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | False | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 60 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ローカル DB エンジン**

Windows 上のローカル MSSQL データベース エンジンのインストール。データベース エンジンはデータベースと他の SQL Server コンポーネントをホストします。

**Windows 上の MSSQL: ローカル DB エンジン - 検出**

**Windows 上の MSSQL: ローカル SQL Server データベース エンジンの検出**

このルールは、Windows 上のローカル SQL Server DB エンジンを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 混合監視 | 混合モードで監視する必要があるインスタンスの名前を指定します。インスタンス名を区切るにはコンマを使います。クラスター インスタンスは常に混合モードで監視されます。すべてのローカル DB エンジンを混合モードで監視するには、"\*" を使います |  | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ローカル DB エンジン - ユニット モニター**

**WMI ヘルス状態**

このモニターは、現在の管理パックで使われているすべての名前空間とクラスの WMI ヘルス状態を調べます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 300 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | |  |
|  |  |  |

**サービス プリンシパル名の構成の状態**

このモニターは、Microsoft SQL Server インスタンスのサービス プリンシパル名の構成の状態を確認します。  
ドメインに参加していないコンピューターの場合は常に "ヘルス" 状態になることに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 検索範囲 | 検索範囲がドメインまたは組織単位の場合は、LDAP 検索を使用します。 検索範囲がフォレストの場合は、グローバル カタログ (GC) 検索を使用して、クエリを任意のパーティション内で解決できます。 値の一覧: LDAP GC (GC) | LDAP | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**SQL Server の Windows サービス**

このモニターは、ローカル SQL Server データベース エンジン サービスの状態を確認します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | サービスのスタートアップの種類が [自動] の場合にのみ警告 | この値は、'true' または 'false' にのみ設定できます。このパラメーターが ‘false’ に設定されている場合、ワークフローは、サービスのスタートアップの種類に関する現在の設定を考慮に入れません。 既定値は 'true' です。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 60 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | 使用できない時間 (秒) | サービスが利用不可になってから異常であると判断されるまでの最小期間。 | 900 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ローカル DB エンジン - タスク**

**SQL Server サービスを停止します**

SQL Server サービスを停止します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**SQL フルテキスト フィルター デーモン ランチャー サービスの起動**

SQL フルテキスト フィルター デーモン ランチャー サービスを起動します。SQL フルテキスト検索機能は SQL Server Express with Advanced Services 以外の SQL Server Express エディションでは使用できないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**DB エンジンから SQL エージェント サービスを開始します**

DB エンジンから SQL エージェント サービスを開始します  
SQL Server エージェントの Windows サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**SQL Server サービスを開始します**

SQL Server サービスを開始します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**DB エンジンから SQL エージェント サービスを停止します**

DB エンジンから SQL エージェント サービスを停止します  
SQL Server エージェントの Windows サービスは、SQL Server Express のいずれのエディションでもサポートされていないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**SQL フルテキスト フィルター デーモン ランチャー サービスの停止**

SQL フルテキスト フィルター デーモン ランチャー サービスを停止します。SQL フルテキスト検索機能は SQL Server Express with Advanced Services 以外の SQL Server Express エディションでは使用できないことに注意してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ローカル DB エンジン - コンソール タスク**

**SQL 構成マネージャー**

**Windows 上の MSSQL: ローカル検出シード**

Windows 上の MSSQL インストールのシードです。このオブジェクトは、特定のサーバー コンピューターに Windows 上の MSSQL インストールが含まれていることを示します。

**Windows 上の MSSQL: ローカル検出シード - 検出**

**Windows 上の MSSQL: インストール ソース (シード) の検出**

このルールは、Windows 上の MSSQL インストールのシードを検出します。このオブジェクトは、特定のサーバー コンピューターに Windows 上の MSSQL インストールが含まれていることを示します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 秒単位による頻度 |  | 14400 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: メモリ最適化データ リソース プール グループ**

Windows 上の SQL Server メモリ最適化データ リソース プール グループには、Windows 上のメモリ最適化データ リソースを管理するすべての SQL Server リソース プールが含まれています。

**Windows 上の MSSQL: メモリ最適化データ リソース プール グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: SQL Server メモリ最適化データ リソース プール グループ検出**

SQL Server メモリ最適化データ リソース プール グループの検出。

**Windows 上の MSSQL: メモリ最適化データ スコープ グループ**

Windows 上の SQL Server メモリ最適化データ スコープ グループには、Windows 上のメモリ最適化データ ファイル グループ、コンテナー、リソース プールなどの、すべての SQL Server メモリ最適化データ オブジェクトが含まれます。

**Windows 上の MSSQL: メモリ最適化データ スコープ グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: メモリ最適化データ スコープ グループ検出**

Windows 上の SQL Server メモリ最適化データ スコープ グループの検出。

**Windows 上の MSSQL: 監視プール アラート コレクション**

Windows 上の Microsoft SQL Server 監視プール アラート コレクション。このオブジェクトは、SQL Server 監視プールのメンバーであるノードのイベント ログから Windows モジュールのエラーと警告を収集するために使用されます。

**Windows 上の MSSQL: 監視プール アラート コレクション - 検出**

**Windows 上の MSSQL: 監視プール アラート コレクションの検出**

このルールは、Windows 上の MSSQL の監視プール アラート コレクションを検出します。このオブジェクトは、SQL Server 監視プールのメンバーであるノードのイベント ログからモジュールのエラーと警告を収集するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ローカル アラート コレクションの検出**

このルールでは、Windows 上の MSSQL のローカル アラート コレクションを検出します。このオブジェクトは、ローカル SQL Server DB エンジン インスタンスを監視する SCOM エージェントのイベント ログからモジュールのエラーと警告を収集するために使用されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 監視プール アラート コレクション - ルール (アラート)**

**Windows 上の MSSQL: 監視エラー**

このルールでは監視ワークフローのエラーを追跡し、エラー アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 検出の警告**

このルールでは検出ワークフローの警告を追跡し、警告アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 検出のエラー**

このルールでは検出ワークフローのエラーを追跡し、エラー アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 2 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 監視の警告**

このルールでは監視ワークフローの警告を追跡し、警告アラートを生成します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | 可 | | [Priority] | アラートの優先度を定義します。 | 1 | | Severity | アラートの重要度を定義します。 | 1 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: リソース プール**

Windows 上の Microsoft SQL Server リソース プール抽象クラス。

**Windows 上の MSSQL: リソースプール - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: 設定とサーバーの状態に基づいて、リソース プールに設定できる最大メモリ量 (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Max memory (KB)" (最大メモリ (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: リソース プールで許可されたメモリの合計数 (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Active memory grants count" (アクティブ メモリ許可の数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: クエリ実行メモリ許可の現在のメモリ ターゲット (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Query exec memory target (KB)" (クエリ実行メモリ ターゲット (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: リソース プールでのクエリ メモリ許可の数**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Active Memory grant amount (KB)" (アクティブ メモリ許可の数 (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: キャッシュ メモリの現在のメモリ ターゲット (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Cache memory target (KB)" (キャッシュ メモリ ターゲット (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: リソース プールでメモリ許可を待機しているクエリの数。**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Pending memory grants count" (保留中のメモリ許可数) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: 設定とサーバーの状態に基づいてリソース プールで取得しようとしている目標メモリ量 (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Target memory (KB)" (ターゲット メモリ (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: リソース プールで使用されているメモリ量 (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Used memory (KB)" (使用されているメモリ (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: リソース プールで発生している 1 秒あたりのクエリ メモリ許可タイムアウトの数**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Memory grant timeouts/sec" (メモリ許可タイムアウト/秒) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: リソース プールで発生している 1 秒あたりのクエリ メモリ許可の数**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Memory grants/sec" (メモリ許可/秒) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: クエリ コンパイルの現在のメモリ ターゲット (KB)**

SQL DB エンジンの各リソース プールについて、Windows の "Compile Memory Target (KB)" (コンパイル メモリ ターゲット (KB)) パフォーマンス カウンターを収集します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ユーザー リソース プール**

Windows 上の Microsoft SQL Server ユーザー リソース プールの抽象クラス。

**Windows 上の MSSQL: ユーザー リソース プール - ユニット モニター**

**リソース プールのメモリ消費量**

このモニターは、リソース プールによって使用されるメモリ量がしきい値の設定を上回る場合、重大な状態を報告し、アラートを生成します。しきい値は、指定されたリソース プールのメモリ最適化データ テーブルで使用可能なメモリの割合で表されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | True | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | サンプル数 | 測定値が何回しきい値に違反すると状態変更が生じるかを示します。 | 6 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | しきい値 | 収集された値はこのパラメーターと比較されます。 | 90 | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ユーザー リソースプール - ルール (非アラート)**

**Windows 上の MSSQL: ユーザー リソース プールのメモリ消費量 (MB)**

リソース プールで使用されるメモリ量を収集します (メガバイト単位)。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ユーザー リソース プールのメモリ消費量 (%)**

リソース プールで使用されるメモリ量を収集します。これは、指定されたリソース プールのメモリ最適化データ テーブルで使用可能なメモリの割合で表されます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | 可 | | アラートの生成 | ワークフローがアラートを生成するかどうかを定義します。 | いいえ | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 900 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: ユーザー定義のリソース プール**

Windows 上の Microsoft SQL Server ユーザー定義のリソース プール。

**Windows 上の MSSQL: ユーザー定義のリソース プール - 検出**

**Windows 上の MSSQL: モリ最適化データ リソースを管理するデータベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、対象の SQL Server データベースのメモリ最適化データ リソースおよびリソース プールとデータベースの間の関係を管理するリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**Windows 上の MSSQL: データベース エンジン リソース プールの検出**

このルールは、SQL Server DB エンジンの特定のインスタンスに対するすべてのリソース プールを検出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | メモリ最適化データのないプールは無視します | "True" または "False" を指定する必要があります。このプロパティを true に設定すると、検出はバインドされたデータベースのあるプールのみを検出します。データベースは、sys.sp\_xtp\_bind\_db\_resource\_pool 関数を使ってプールにバインドできます。 | true | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | |  |
|  |  |  |

**SQL Server 可用性グループ**

このオブジェクトは、可用性グループ SMO オブジェクトを表しており、識別と監視に必要なすべてのプロパティを含みます。

**SQL Server 可用性グループ - 検出**

**Windows 上の MSSQL: 汎用 Always On 検出**

この検出を使用する目的は、どのインスタンスで Always On を有効にするかを定義することです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  | |  |  |  | | --- | --- | --- | | **名前** | **説明** | **既定値** | | 有効 | ワークフローを有効または無効にします。 | はい | | 間隔 (秒) | ワークフローを実行する定期的な間隔 (秒)。 | 14400 | | 同期時刻 | 24 時間形式で指定した同期時刻。省略可能です。 |  | | タイムアウト (秒) | ワークフローが終了して失敗とマークされるまでの許容実行時間を指定します。 | 300 | | データベース接続のタイムアウト (秒) | ワークフローは、指定された期間中にデータベースにアクセスできなかった場合に失敗し、イベントが登録されます。 | 15 | |  |
|  |  |  |

**SQL Server 可用性グループ - 依存関係 (ロールアップ) モニター**

**可用性レプリカ接続 (Windows ロールアップ)**

このモニターは、すべての可用性レプリカの接続状態をロールアップし、DISCONNECTED の可用性レプリカがあるかどうかを調べます。モニターが異常となるのは、DISCONNECTED の可用性レプリカが 1 つ以上あるときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**可用性グループ拡張ヘルス状態 (Windows ロールアップ)**

これは、すべての拡張ヘルス モニターに対するロールアップ モニターです。拡張ヘルス モニターは、Windows 上の SQL サーバー インスタンス内の既存のヘルス ポリシーを検出することによって自動的に生成されます。

**可用性レプリカ データ同期 (Windows ロールアップ)**

このモニターは、すべての可用性レプリカのデータ同期状態をロールアップし、期待される同期状態にない可用性レプリカがあるかどうかを調べます。モニターが異常になるのは、SYNCHRONIZING 状態ではない非同期レプリカが 1 つ以上あり、SYNCHRONIZED 状態ではない同期レプリカが 1 つ以上あるときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**可用性グループ自動フェールオーバー (Windows ロールアップ)**

このモニターは、可用性グループの中にフェールオーバーの準備ができたセカンダリ レプリカが 1 つ以上あるかどうかを調べます。モニターが異常となってアラートが登録されるのは、プライマリ レプリカのフェールオーバー モードが自動であるにもかかわらず、可用性グループのセカンダリ レプリカがいずれも自動フェールオーバーの準備ができていないときです。モニターが正常になるのは、自動フェールオーバーの準備ができているセカンダリ レプリカが 1 つ以上あるときです。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**可用性レプリカ ロール (Windows ロールアップ)**

このモニターは、すべての可用性レプリカのロールの状態をロールアップし、正常ロールではない可用性レプリカがあるかどうかを調べます。モニターが異常となるのは、プライマリでもセカンダリでもない可用性レプリカが 1 つ以上あるときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**同期レプリカ データ同期 (Windows ロールアップ)**

このモニターは、すべての可用性レプリカのデータ同期状態をロールアップし、期待される同期状態にない可用性レプリカがあるかどうかを調べます。モニターが異常になるのは、SYNCHRONIZING 状態ではない非同期レプリカが 1 つ以上あり、SYNCHRONIZED 状態ではない同期レプリカが 1 つ以上あるときです。それ以外の場合は、モニターは正常状態となります。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。

**可用性グループ オンライン (Windows ロールアップ)**

このモニターは、可用性グループの状態がオンラインかオフラインかを調べます。モニターが異常状態となってアラートが生成されるのは、可用性グループのクラスター リソースがオフラインであるか、可用性グループにプライマリ レプリカがない場合です。モニター状態が正常となるのは、可用性グループのクラスター リソースがオンラインであり、かつ可用性グループにプライマリ レプリカがある場合です。このモニターは、依存関係 (ロールアップ) モニターです。